

藤沢白門会創立25周年記念

薰風のなか〈ろくに立つ〉 《1995～2020》

藤沢白門会25年のあゆみ



 **中央大学**

中央大学学員会藤沢白門会

『藤沢白門会』小冊子目次（2020年度）

〈会長挨拶〉 創立 25 周年に際して 中央大学学員会藤沢白門会 会長 片岡 久興 ……………	1
〈祝 辞〉 藤沢白門会創立 25 周年を迎えて 中央大学学員会 会長 久野 修慈 ……………	2
〈祝 辞〉 藤沢白門会創立 25 周年への祝辞 中央大学 理事長 大村 雅彦 ……………	3
〈祝 辞〉 藤沢白門会の四半世紀を祝う 中央大学 総長 酒井正三郎 ……………	4
〈祝 辞〉 藤沢白門会創立 25 周年記念誌祝辞 中央大学 学長 福原 紀彦 ……………	5
〈祝 辞〉 中央大学学員会藤沢支部藤沢白門会創立 25 周年祝辞 藤沢市長 鈴木 恒夫 ……………	6
〈祝 辞〉 創立 25 周年おめでとうございます 長野県中信支部 支部長 小林 治雄 ……………	7
□神奈川県下白門会、姉妹支部長野県中信支部からの祝意 ……………	10
□会員感想「藤沢白門会創立 25 周年に思う」 ……………	11
□感染症予防によく手を洗いましょう（高島良太郎） ……………	26
□第 97 回箱根駅伝について（城崎 芳彦） ……………	28
□思い出に残る講演会 ……………	29
□藤沢市白門会活動 1995～2020 年 ……………	32
□「会報」総目次（創刊号～第 24 号） （行事活動、随想、サークル同好会活動、SUC 活動、母校・会員動向） ……………	57
□活動組織図（平成 7 年次、16 年次、22 年次、27 年次、令和 2 年次） ……………	68
□会報紙面から見る歴代会長の挨拶（橋本篤治会長・加藤武会長） ……………	73
□藤沢市社会福祉協議会から表彰される ……………	74
□令和 2 年度の活動状況について ……………	75
□藤沢白門会前史の一齣 ……………	78
□藤沢白門会讃歌 ……………	79
□中央大学校歌 あゝ中央の若き日に 惜別の歌 ……………	82

創立 25 周年に際して

藤沢白門会
会長 片岡 久興



平成 7 年（1995 年）12 月に創立した藤沢白門会は令和 2 年（2020 年）で 25 年を迎えることになりました。しかしながら昨冬から始まった新型コロナウイルスの感染が拡がり、4 月には緊急事態宣言が発せられる事態となり、社会全体の動きが止まることになってしまいました。

その為準備をしておいた 4 月の定期総会は開催出来ず、「書面審議」による総会にせざるを得ませんでした。その後 5 月末に緊急事態は解除されましたが、感染が完全に収まった訳ではなく、予定していた当年度の行事計画については当面中止ということにいたしました。

特にビッグイベントである 8 月の地引綱大会については一旦は 11 月に延期としましたが、8 月頃からの第二波となる感染が拡大したことで結局は中止にいたしました。更に、11 月に予定していた 25 周年記念の式典・懇親会も中止となりました。

寒くなってから感染は益々拡大し箱根駅伝も応援の自粛ということで幟、小旗は勿論沿道での観戦もできない中で選手は頑張ったのですが、大会前の予想ではシード権は大丈夫という期待には応えてはくれませんでした。神奈川県白門会にとっては誠に寂しい限りで、選手、関係者の大いなる奮起を望む所です。

令和 2 年度のその他の行事もこのコロナ禍により殆ど出来ませんでした。その中でこの 25 周年の記念誌は会員のご協力により発行することができました。もう一つ平成 12 年度から継続している「車椅子」も 2 台藤沢市へ寄贈することができました。

令和 3 年度はウイズコロナとなるのか定かではありませんが一日も早くこの感染が収まり、藤沢白門会の活動が存分に出来ることを願いつつ、これからの発展に向けてここ数年の課題（会員の増強、サークルの活性化）をクリアする為に新たな気持ちで前をむいて全員で取り組んで行かなければと考えております。そして、藤沢白門会が益々充実した素晴らしい会となるように精一杯努めてまいり所存ですので、各位のご理解とご協力をお願いする次第です。

令和 3 年（2021 年）1 月

藤沢白門会 創立 25 周年を迎えて

中央大学学員会 会長
久野 修慈



藤沢白門会に於かれましては創立 25 周年をお迎えになりました事、心からお祝い申し上げます。

1996 年 3 月に橋本篤治支部長のもとに創立されて以来、加藤武支部長を経て現片岡支部長のもと 25 周年をお迎えになりましたこと、これ偏に藤沢支部学員の方々の真の心の結集と母校愛への結集に他ならないと存じます。

この 25 年間の結びつきは白門藤沢魂、広くは横浜、川崎、平塚、相模原、大和、小田原、神奈川支部学員全ての方々の強い連帯感と学員の皆様の絆に他ありません。

神奈川県所在の学員の皆様と藤沢白門人万歳を申し上げ、お祝い申し上げる次第です。

不幸にも今年は百年に一回の新型コロナウイルス現象の中で全ての国民皆様のご苦勞されて居りますが白門学員としてこれに負けず頑張り抜いて居られます。

お互い信頼と心を合わせこの困難を突破し、白門神奈川支部学員が健康を守り抜き大きく飛躍することをご祈念申し上げますと共にその困難な時期での藤沢白門会 25 周年を大きく盛り上げ白門人の意気軒昂と幸を白門魂で生み出したく存じます。

藤沢支部は神奈川を中心支部としてその役割を果たされると共に片岡支部長の強い信念、和の人格のもと神奈川学員の結集に全力を注がれると共に多面的に藤沢支部学員の交流と真の相互信頼、発展にお互い心を砕いて来られましたこと、心から深く敬意を申し上げます。

この 25 周年を機に一層その輪を広げられると共に一層のご発展をご祈念申し上げます、お祝いの言葉と致します。

藤沢支部学員の皆様、お亡くなりになられた方々も含め、この 25 年間本当にご苦勞様でした。

新年は箱根駅伝で母校も復路 3 位と、コロナ禍で神奈川学員の期待に応じて激走しました。藤沢白門会 25 周年を祝い、来年は優勝し喜びたく存じます。

藤沢白門会創立 25周年への祝辞



中央大学 理事長
大村 雅彦

藤沢白門会が創立25周年の節目をお迎えになったとのこと、心からお祝い申し上げます。貴会のご発展は、片岡会長をはじめ会員の皆様が長年にわたり充実した懇親活動や社会福祉活動を展開されてこられた賜物と拝察致します。

とりわけ、箱根駅伝への並々ならぬご支援には、心から感謝申し上げます。

さて、中長期事業計画 CHUO VISION 2025 は、6年目を迎えます。すでに、2019年に待望の新学部が誕生しました。国際経営学部（多摩キャンパス）と国際情報学部（市谷田町キャンパス）がそれです。いずれも時代のニーズに対応し、高い注目を集めました。

法学部の都心移転は2023年に予定しています。茗荷谷駅のすぐそばですから、後樂園キャンパスと有機的な連携を図ることができます。都心でOBとの交流も容易になります。駿河台記念館を建て替えて学生会組織とともにロースクールとビジネススクールを収容する計画も、2023年春の完成を予定しています。

残念ながら箱根駅伝は今年もシード権を逃しましたが、復活の機運は徐々に出てきています。母校に対する皆様の熱い思いにお応えして、中央プライドを育んで参ります。コロナ禍の中、皆様のご健勝を祈念致しますと共に、母校へのますますのご支援を心からお願い申し上げます。

藤沢白門会の 四半世紀を祝う

中央大学 総長
酒井正三郎



中央大学学員会藤沢白門会創立 25 周年、まことにおめでとうございます。

25 年前、1995 年といいますと、日本では阪神・淡路大震災が発生し、地下鉄サリン事件があった年であり、世界的には Windows95 が発売されパソコンの普及が爆発的に進んだ年、わが中央大学では長年の伝統を有する 2 部（夜間部）の改組に向けた全学的議論が開始された年です。その意味では、1995 年は、21 世紀の今日ある国内外・学内外の激動の出発点になった年であると言っても過言ではありません。その年に呱呱の声をあげ、爾来四半世紀の時を閲し、会としての発展の礎を築いてこられた片岡久興現会長をはじめ歴代執行部、ならびに会員みなさまに衷心より敬意と祝意を表する次第です。

藤沢といえば湘南、湘南といえば中央大学の関係者には箱根駅伝の主要舞台ということになります。テレビ画面に映る藤沢支部のみなさんの力走する選手諸君に向けられた力強い、惜しみのない応援は、それ自体お正月の風物詩として全ての中大関係者に感動を与えています。ご案内のとおり、コロナ禍による応援自粛のもとで開催された今年は、復路 3 位と健闘したものの往路の遅れが響き総合 12 位でした。藤沢支部の次の四半世紀は、常勝軍団中央大学の復活の時代となりますようみなさんとともに心より祈念したいと思います。

学内では、2016 年より開始された「中央大学中長期事業計画《Chuo Vision 2025》」が本年折り返し点を迎え、学部新設や法学部都心展開の決定等につづく「計画」の後半期と《2025 and Beyond》の諸施策を今全学をあげて検討中です。

みなさまのますますのご発展をお祈り申し上げますとともに、本学の意のあるところご賢察を賜り、倍旧のご協力、ご支援を賜りますようお願いを申し上げます。学員会藤沢白門会創立 25 周年のお祝いのご挨拶といたします。

藤沢白門会 創立 25 周年記念誌 祝辞

中央大学 学長
福原 紀彦



白門の新年は、箱根駅伝と、そのテレビ中継画面に藤沢白門会の皆さんの沿道での応援風景が映ることから始まります。その藤沢白門会が結成25周年の記念すべき時期をお迎えになりましたことを、お祝い申し上げ、ご挨拶申し上げます。新型コロナウイルスの世界的蔓延の収束を見通せず、さまざまな困難と不自由のなかでお過ごしのことと拝察し、心からお見舞い申し上げます。中央大学では、教職員一丸となって、学生の学びと成長の機会を堅持し、皆さんが築いていただいた伝統の維持・発展に努めております。貴会におかれましては、結成以来、さまざまな活動を通じて本学に温かな御支援をお寄せいただいておりますことに、本学関係者一同、心から感謝致しております。

中央大学では、今、未来指向かつ世界基準の大学を目指して全学的な改革を押し進めています。2021年度にスタートする「中長期事業計画 Chuo Vision 2025」の第2期計画においては、デジタル・トランスフォーメーション（DX）とともに、教育・研究・社会連携・国際交流を一層加速させて参ります。AI・データサイエンス教育を全学的に展開するのも、その一環です。

多摩キャンパスでは、世界基準の教育研究拠点に相応しい次世代型キャンパス・デザインを構想して、教育研究の新棟がオープンします。また、新法曹養成制度をリードするために、法学部・大学院法学研究科・法科大学院・専門職大学院の連携を強化し、茗荷谷および駿河台に新棟を建設して、構想の実現を図ります。

伝統と実績があつてこそ、語ることができ、拓かれる未来があります。SDGsを共有して持続可能な社会の構築に貢献し、「時代とともに社会とともに、愛され存在感のある中央大学」の新たな伝統を築き、新時代にふさわしい大学のあり方を追求し実践して参ります。

今後とも、中央大学との強く熱い連携をお願い申し上げますとともに、皆様の親睦と連携がいつそう強固なものとなりますよう、そして、皆様の益々のご健勝を心より祈念申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

中央大学学員会藤沢支部 藤沢白門会 創立 25 周年祝辞

藤沢市長
鈴木 恒夫



このたびは、藤沢白門会が発足され、創立 25 周年を迎えられましたことを心よりお喜び申し上げます。皆様におかれましては、市政全般にわたり多大なるご協力を賜り御礼申し上げますとともに、長きにわたり市内の地域福祉活動にご貢献されておりますこと改めて心より感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う新しい生活様式の実践は、私たちの暮らし方や働き方、学び方にまで大きな変化をもたらしました。地域社会における人間関係の希薄化も見られるなか、後輩の学生たちが、未来に不安を感じ誰かに頼りたい時には、さまざまな分野の先頭でご活躍されておられる皆様方に、後輩たちの新たな未来への躍進のため、特段のご支援をしていただきたいと期待しております。

皆様にとりまして藤沢白門会での交流は、仲間と呼べる友や先輩・後輩とお互いに心の絆を紡ぎ、日々の日常を離れ、昔の夢を語り合う大切な時間であると思います。今後も、その繋がりを大事にされ、藤沢のまちの発展に更なるお力添えをいただきますようお願いいたします。

結びに、この創立 25 周年を契機として貴会のますますご発展と会員皆様のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

創立 25 周年 おめでとうございます

長野県中信支部 支部長
小林 治雄



藤沢支部創立 25 周年おめでとうございます。

日ごろは姉妹支部として、親しくお付き合いを賜り心より祝意と御礼を申し上げます。

私ども支部は平成 17 年から今日に至る 16 年間、貴支部から心温まるご厚誼を賜ってまいりました。

私は平成 25 年から足掛け 7 年、片岡支部長をはじめとした素晴らしい方々と親しくお付き合いをいただき、多くの場面で教えをいただき重ねて御礼を申し上げます。

貴支部の凄いところは、優れた組織が隆として確立されており、各委員会メンバーが年間を通じて自然体で、しかも嬉々として活動を展開しているところです。

またサークル同好会の楽しそうな活動はまさしく同窓生の絆づくりそのものです。これらの多岐にわたる活動が毎年「会報で集大成」され、「見える化」が当たり前を実現されていることは、私どもにとっては真似ることのできないことで羨ましい限りです。

これらの活動は地域支部が多々ある中で、秀逸さを感じるのは私だけではありません。

創立 25 年でこれほどまでに充実した支部活動は、関わってこられた先人たちの努力の積み重ねと思われませんが、そのながれを大切に守りながら、先輩を称え敬愛し、伝統を守って行こうとする現会員の皆さんの努力の賜物でもあるとお会いする度に感じているところです。

高齢と思われる顧問の皆さんが総会に出席し、楽しく語らいながら過ごされる様子を拝見しながら、自らもそうありたいものと心に誓う私です。

母校のブランド力アップ事業に積極的に参加・貢献する活動は、大学・学員会本部・神奈川県合同白門会などを通じ、光り輝く存在感を示しています。

そんな貴支部の活動に触れ、刺激を受けながら私どもも少しずつではあるが成長してきました。

吹奏楽部員を招聘しての三度目の公演は、県内最優秀校の中学・高校の吹奏楽部員とのコラボ演奏を行うこともできました。また近隣市町村への車いす寄贈、県立こども病院や日赤乳児院への寄贈・寄付もできるようになりました。

去年は台風 19 号被災地長野で、災害復興を支援するボランティア活動を延べ人員 200 名で実行できたのも、貴支部の社会福祉活動がきっかけでした。ありがとうございます。

コロナ騒ぎでお互いに支部活動自粛が続く残念な昨今ではありますが、母校は 2025 年に向けての大事業を着々と展開しており大変嬉しいことです。

新年の箱根駅伝では惜しくもシード入りを逃しましたが、古豪中大の復活を予見する後輩たちの走りでした。来春こそシード入りを果たし美酒をいただく夢を実現させてほしいものです。

湘南は海なし県の我々にとっては憧れの地です、もろもろの出会いに感謝しつつ貴支部がますます発展されることを祈っています。

支部創立 25 周年まことにおめでとうございました。

学生ボランティアチームと農業支援（長野市）



[姉妹提携時の思い出]

姉妹提携の仲立ちをしてくれた森山功さんの話し（川崎支部・長野県中信支部在籍）

※ 前提として藤沢市と松本市の姉妹都市提携があった

昭和 36 年 7 月 29 日（1961 年）に姉妹都市提携

山がない藤沢市と海がない松本市で「海と山との市民交歓会」が始まる

その後多くの交流事業が行われている

藤沢市民美ヶ原休暇村の開設（三城）現在は民間経営

40 周年記念・50 周年記念・60 周年記念は令和 2 年コロナ過で中止、

江の島姉妹都市広場にソバ道場・藤沢市民祭りへの参加などなど

2004 年 11 月 6 日（平成 16 年）

※ 姉妹支部提携合意；於いてブエナビスタ深志楼

両支部から 4 名出席し姉妹提携合意された・・・森山氏仲介者として出席

藤沢支部；故加藤武会長・石原昭憲副会長・片岡事務局長・故高見沢さん

中信支部；故飯田隆夫支部長・瀧澤徹・故津久井光男・藤森康友

[調印後の宴会でのエピソード]

石原・片岡・瀧澤・津久井 4 氏は 41 年卒で盛り上がり、石原昭憲さんと飯田支部長は焼酎談義に花が咲き、加藤会長の風貌は魯迅に似ている・いや毛沢東だと大変盛り上がっていたそうです。

高見沢さんは長野出身で松電の瀧澤さんとは経済人同士で意気投合されていたそうです。

2005 年 11 月 26 日（平成 17 年）

※ 「藤沢支部 10 周年記念式典」に 5 名が出席し交流が本格的に始まりました

中信支部参加者；飯田支部長ほか、瀧澤・藤沢・津久井・藤森

（文中敬称を省略させていただきました）



松本・安曇野からの
北アルプス（春）

祝

中央大学学員会
藤沢白門会 創立25周年

中央大学学員会

長野県中信支部

支部長 小林 治雄

中央大学学員会

横浜白門会

会長 小田原 真人

中央大学学員会

川崎白門会

会長 松木 茂夫

中央大学学員会

相模原白門会

会長 村上 博由

中央大学学員会

大和白門会

会長 岡田 孝子

中央大学学員会

逗葉白門会

会長 荒井 金次

中央大学学員会

小田原白門会

会長 中村 恭博

中央大学学員会

平塚白門会

会長 山田 喜一

中央大学学員会

茅ヶ崎白門会

会長 藁品 孝久

|| 会員感想「藤沢白門会創立 25 周年に思う」 ||

高 島 良太郎 昭和 29 年 経済学部卒

箱根駅伝の思い出

私が在学していた時期の昭和 25 年、26 年、28 年優勝でした。第 28 回の昭和 27 年は 1 月 6 日～7 日でした。箱根の下り 6 区は雪で伴走車が走れず選手たちは 1 人で雪道を下って行きました。中央は 2 位で、早稲田優勝。また箱根の登り下りには選手の他に伴走者（車ではありません）が付いた時期もありました。この後伝説の 6 連覇を達成。最後の優勝平成 8 年生まれの中大生も優勝を知らずに卒業してしまいました。復活は何時か？

杉 森 淳 昭和 33 年 経済学部卒

藤沢白門会の発展を願って

平成七年十二月六日藤沢白門会創立総会から二十五年を迎えた令和二年は、未曾有のコロナ危機により、日常生活も種々の制限が出され会の活動（サークル活動も含む）も出来ず残念な年となりました。

この記念号が発行される時は実質二十六年目となる訳ですが、一日も早くコロナ現象が終息し平穏な日常が戻ってくるのを願うばかりです。

この二十五年間の活動は、既刊のサークル活動により十二分に把握しています。又、社会福祉活動の一環として、毎年新春の集いに於て車椅子を藤沢市に寄付している事も、地元に着した白門会と云う事を示しています。

只一点、例年の重要課題として、新入会員の進捗が鈍い事。会としては時々委員会から名簿を取り寄せ勧誘をしている様ですが、仲々増えないのが悩みの種ですね。

白門会には、卒業年次、ゼミナール、学部、等々あり私共の会員の中でもほかの白門会に所属している人は何人もいます。

然し、私は自分の住む藤沢市の白門会にも是非入会してほしいのです。会の公式集会は、一般会員なら年二回位ですから、現役で就業中の方にも負担にはならないと思います。

それよりも、多くの人との絆が生まれ、就業中の方にとってもプラスになる点が多々生ずるのでと愚考しています。

どうか未だ入会されていない方達も、藤沢白門会会報を一読して下さい。そして入会して下さいなら、地域の白門の輪が広がり益々親しさ楽しさにつながると思います。

鈴 木 康 洋 昭和 34 年 法学部卒

片岡会長を始め、役員の方には大変ご苦勞をおかけ致しており、心より感謝申し上げます。

後にも先にも一人しかいない「本学常任監事」を務めた後、ある学校法人の理事長として微力を傾注しております。86 になりますので弁護士の方の仕事は程々にしておりますが、国選弁護は弁護士の証（あかし）としていまだに続けています。ご発展を心よりお祈り申し上げます。

服 部 治 昭和 35 年 法学部卒

藤沢白門会創立 25 周年の記念すべき時期を迎えた。歲月めぐりて 4 半世紀、感慨深い。創立の新たな意気載せて平成 8 年の新春の箱根大学駅伝では、見事に 32 年ぶりの総合優勝となった。大きな感動をメンバー諸氏と味わったのは、今も鮮明、〈おお中央〉であった。

藤沢白門会の多彩な活動は、歴代の会長の卓越したリーダーシップのもと、会員・母校・地域の連携においても活発な展開となって、今日まで続いている。

これからも変化の多い情勢の中で、1 歩 1 歩と前進して、集まりが、楽しい、快適な時間となる多彩な活動（音楽、旅行、スポーツ、文化・芸能など）の開催、われらの藤沢白門会のさらなる盛況を期していきたいと願うところである。

大 森 靖 朗 昭和 35 年 法学部卒

藤沢白門会創立 25 周年にあたって

藤沢白門会が誕生してから 25 年が経った。年月の流れの早さに改めて驚かされる。

会発足以来、初代橋本会長、二代目加藤会長、そして現片岡会長はじめ、その時々に関運営のため尽力された数多くの役員の皆様、そして様々なサークルの活発な活動を通じて親睦を深め、会を支えて来た会員諸兄に心から感謝の気持ちを捧げたい。

「現役生活が終わった時、それまでに培われた人脈とは関係のない友達が三十人は必要だ」という話に接したことがある。私の場合この問題を一挙に解決してくれたのが藤沢白門会であった。

そもそも本会は、複雑な人間関係やそのしがらみと言ったものとは全く無縁で、あるのは数十年も昔に同じ学舎で学んだ先輩、後輩の関係だけである。

また会には創立以来の運営指針がある。つまり、会は仲良しクラブであって、その活動を通じて地元の文化・福祉に貢献し、併せて母校への寄与、また地元他大学同窓会との親睦を深めよう、との理念である。これは会のすべての活動の中で生かされ脈々と今日まで受け継がれている。それがまた藤沢白門会が全国百数十ある支部の中でその評価が高い理由の根拠にもなっていると思う。

25 年の時の経過の中にあって旅立った友も数多い。また加齢による体力の衰えや齢を重ねたことによる様々な事情で、会への参加が困難にならざるを得ない会員が増えるのは必然で、われら藤沢白門会が未永く存続するためにも、若い会員がどんどん入会し、会の理念を新しい世代へと受け継がれてゆくことを願うばかりである。

長谷川 政 彦 昭和 36 年 法学部卒

四世紀半前の発足時が思い出される。橋本先輩（初代会長）、佐藤先輩（初代副会長）からお話を頂き参加。以来、お役に立つ活動はできませんでしたが、囲碁サークルは、発足時から、それも今はメンバーは 4 人になり、しかも、このコロナ禍では、一度も開催できていません。一日も早く再会できることを願うばかりです。片岡会長を先頭に役員、会員みなさん、そして友人の 36 白門会の吉岡会長の活躍に母校との絆と元気を頂いています。ありがとうございます。

中 谷 哲 夫 昭 和 38 年 商 学 部 卒

「藤沢市有難う」

私は鎌倉市の住民です。

とは言っても、鎌倉市の最北端の自宅を出て二、三百メートルも歩くと其処はもう藤沢市になります。

箱根駅伝で母校中央大学の応援の為訪れた遊行寺坂で藤沢白門会の応援団に出会い、応援用小旗を借りた事が縁で会員に加えて貰い、早や二十年が過ぎようとしています。

藤沢白門会では「囲碁サークル」メンバーに入れて戴き先輩諸氏の指導を受けながら毎月楽しい交流を続けて居ます。

其の上サークルの先輩の紹介で藤沢市謡曲協会の会員に加わることが出来、今や私の最大の社会活動となって居ます。

藤沢白門会を通じて私の生活拠点は今や鎌倉を離れて藤沢となりました。

今後とも宜しくお願い致します。

大 木 樹 雄 昭 和 39 年 法 学 部 卒

全国で96番目の地域支部として発足した「藤沢白門会」が創立25周年を迎えた。4半世紀にわたる歴史を刻みつつ同窓会組織を今日まで築き上げて来られた関係各位に衷心より敬意を表したい。私は初代、橋本篤治会長の時代に入会、以降20年来本会と歩みを共にしている。この間幹事役を勉めさせて頂いた「緑と歴史散歩サークル同好会」の会員・講師関係者との出会い、交流を通して得難い貴重な経験と意義深い時間を共有出来たことを深く感謝している。

さて、今年は本会にとって歴史に残る節目の年、恒例の諸行事に加えて「創立25周年記念行事」も予定されていたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で計画の全てが中止を余儀なくされた。春の定期総会は規約にない特例措置として、郵送による書面表決方式となるなど会員一同生活のリズムをすっかり狂わされてしまった感がある。コロナ禍が世界的に鎮静化するには相当の時間を要するとの報道もあるが、来る7月には東京オリンピック開催を控えていることを思うと一刻でも早い終息が望まれる。

若 林 貞 行 昭 和 40 年 商 学 部 卒

藤沢白門会と私

私が藤沢白門会に入会したのは、設立から2年経った時でした。都議会議員の某先生から、藤沢に藤沢白門会があるので橋本会長のところに伺ったらとお誘いをうけ、会長宅に伺ったのが最初でした。それまで藤沢白門会なるもの存在すらわからなかったが、お話を聞き、その場で入会をお願いした次第です。

以来、旅行サークルに入り、色々参加しましたが、静岡駿府城、長野木曾路、房総、上高地、大内宿～会津若松城、台湾等々、いろいろと同行させてもらい楽しい事ばかりでした。

これからも機会があれば参加しますので、企画の程、宜しく申し上げます。

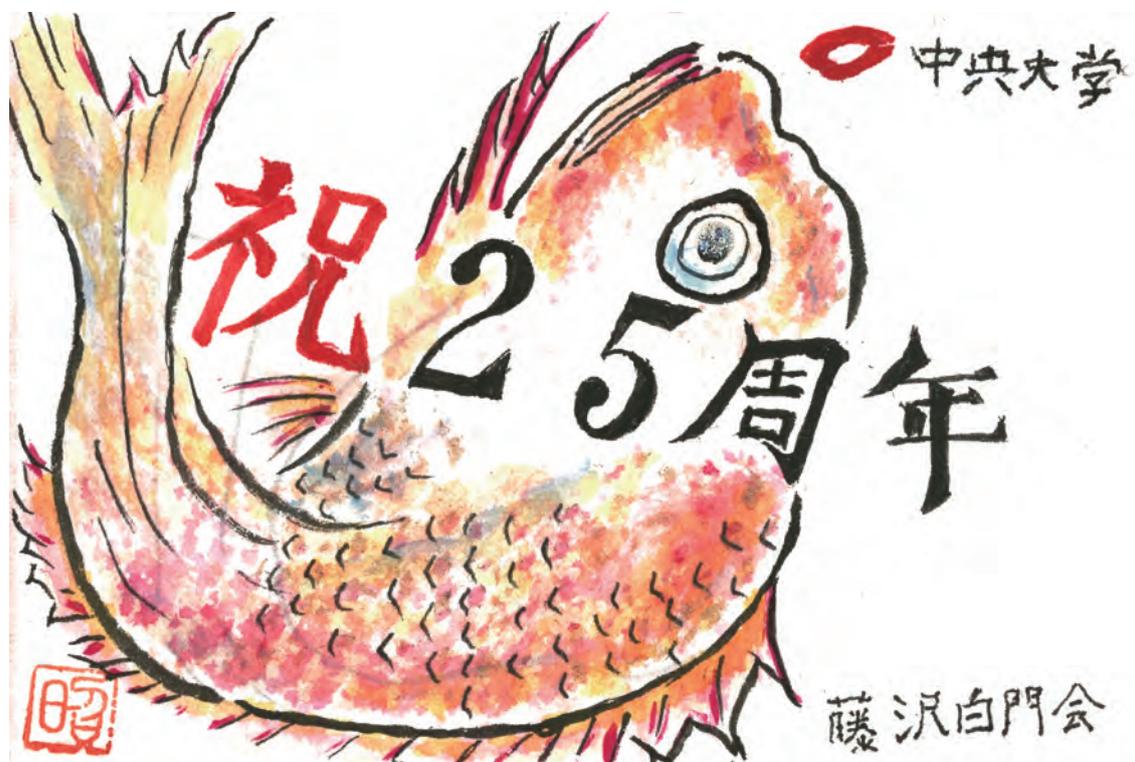
石原昭憲

昭和41年

経済学部卒

箱根駅伝最後の砦と思っていた“繰り上げ一斉スタート”を見るハメになるとは夢にも思っていなかった。大学をお願いします。思い切った意識改革を断行して、何とか生きている内（現在79歳）に、せめてシード権は奪回してもらいたい。

藤沢白門会 25周年に際してのメッセージがこれだ…！ホント情けない…（涙）



高校まで生活していた岡山（瀬戸内地方）では、入学・卒業・婚礼・還暦・米寿等の祝いの席では「桜鯛の浜焼」という目出度い名産が食事に上ります。25周年を祝い岡山より取り寄せ、祝杯の前に筆を執ってみました。

大谷隼夫

昭和43年

法学部卒

創立25周年を迎えご同慶の至りです。橋本篤治初代会長から片岡久興現会長まで、卓越した指導者を柱とする役員の方々の熱意と努力が藤沢白門会の今日の隆盛を築いてきたことは間違いありません。

令和元年夏の地引き網大会に、当時小学1年生の孫を連れて参加したら、孫は大喜びでした。是非また参加したいと思っています。

若い学员仲間がもっと大勢加入して、会が益々活発になることを期待しています。

鉢 蠟 博 昭和 43 年 商学部卒

近々片々

山の仕事（藤沢エビネ園）には昨日も行きました。植栽や木道、四ツ目垣の修理などです。シャンソン教室は人数を半分にし、月に 2 回を 1 回に減らしています。その他大学混声合唱や公民館のギターサークルは休止です。ダンスは 30 年続けてきましたがやめることにしました。

藤沢白門会の皆様はいかがお過ごしでしょうか。世の中益々不透明、コロナは全世界で感染者が 1 億人となり、未だ先行きがみえません。経済は世界的な金融緩和でバブル状態、3～5 年後が心配といわれています。中国の進出で日本の安全保障がどうなるのかなど、心配の種は尽きません。

その中で、我が家は二人で小さな幸せを感じています。何とか衣食住足りて犬とインコとの楽しい生活、申し訳ない。自分自身についていえば、来し方を振り返り自省の念しきり苦しいかぎりです。さて、今年はギターに専念、仲間に笑われないようになろう。

城 崎 芳 彦 昭和 44 年 経済学部卒

創立 25 周年を迎えて一番記憶に残るのは下記のことです。

創立 10 周年記念として平成 18 年 2 月 19 日～22 日の 3 泊 4 日の台湾周遊の旅を実施しました。参加者は総勢 32 名で午前成田空港発の中華航空で台北経由高雄空港に入り、市内の澄清湖、寿山公園等を見学し、夕食は海鮮料理を嗜みました。2 日目は高雄より、空路花蓮に入り、タロコ渓谷を見学し、夕食は台湾東部の田舎料理を頂きました。3 日目花蓮駅 9 時過ぎの特急列車に（ビール 1 ケース）を持ち込み、車中で盛り上がり、台北駅にお昼過ぎに到着し、昼食は小籠包で有名な「縣泰豊」で昼食をとり、午後、かの有名な故宮博物院、忠烈祠を回り、最後に前年中央大学 OB により桜の植樹された中正記念堂を見学し、夕食は台湾料理を嗜みました。4 日目、午前中、竜山寺等見学して桃園空港より、帰国となりました。天候に恵まれ、全員元気で、無事帰国出来たのは皆様の協力のお陰と思いました。

深 澤 宗 一 昭和 45 年 文学部卒

藤沢白門会の 25 年を振り返って

私が藤沢白門会に関わり始めたのは、平成 7 年 1 月に茅ヶ崎白門会新年会の会場で、後の藤沢白門会の初代会長になられる橋本さんにお会いしたからです。当時、私は茅ヶ崎白門会の会員でしたが自宅は藤沢でしたので、帰路の JR 車中で、橋本さんから「今年、藤沢白門会を作るので、「設立準備委員会」に入り役員（会計）をやってもらえないか」とたのまれました。橋本さんの熱意に応じて即座にお引き受け致しました。何回かの準備委員会での打ち合わせで役員の組織体制が決まり、平成 7 年 12 月に藤沢白門会が発足したのです。

明けて平成 8 年正月の「箱根駅伝」では藤沢白門会の門出を祝うように中大は 32 年ぶり、14 回目の総合優勝に輝きました。

藤沢白門会の誇れる事は委員会、事務局がしっかり出来ており、役員的人数が多数いる事と親睦行事や同好会が多く多彩な活動が頻繁に行われている事でしょう。

藤沢白門会の 25 年の伝統は初代橋本会長、2 代加藤会長、現片岡会長の強いリーダーシップと役員熱心さ、会員の積極的参加が今に繋がっている事かと思えます。

川 島 清 憲 昭 和 46 年 法 学 部 卒

「藤沢白門会創立 25 周年に思う」

未だに新型コロナウイルス禍により、あらゆる行事が延期や中止になっているとはいえ、ここに創立 25 周年を迎えられたことを、会員の皆様とともに祝したいと思います。

藤沢白門会発足当初より会報委員として会の活動に参加させていただき、牛越先輩、服部先生、下條先輩の後を受け、会員各位のご支援・ご協力の許、数年間 4 代目会報委員長として 20 周年記念号の発行に携わり、様々な体験をさせていただき、無事、吉田委員長にバトンを引き継ぐことができました。「随想」をはじめとするさまざまな原稿依頼に対し、お忙しい中、快く投稿していただきました会員諸兄姉に、改めて謝意を表したいと思います。

私事ではありますが、昨年、古希という人生にひとつの節目を迎えましたが、まだまだ未経験のことも多く、これからも、できる限り先輩・後輩と接する機会を持ち、更なる研鑽を積んでいきたいと思う今日この頃です。

新型コロナウイルスの一日も早い終息を願いつつ、藤沢白門会の更なる発展と後輩諸氏の活躍を心より祈念いたします。

千 葉 景 子 昭 和 46 年 法 学 部 卒

藤沢白門会入会のきっかけは、会員として活動していたクラスメートの誘い。その誘い文句がよかった。「藤沢白門会はサークル活動が活発で、その一つが「サロン会」。酒を飲み、美味しい物を食べてりゃいいのだから君にもできるだろう」とのこと。まさに私にピッタリ。これが会員としての第一歩。そのまま現在へ。念のため「サロン会」以外にも様々なサークルがあり活発に活動しており、社会福祉活動に力を入れていることも忘れてはならない。

会員としてはお世話になるばかりで、大した役割も果たせてはいないが、政治の場にあったことからエピソードもある。

国会や最高裁の見学の労をとらせていただいた際、最高裁の裁判官席に座らせていただきご満悦だった方がいましたっけ。

法務大臣をつとめていた折、役員新年会が開催された居酒屋に SP 付きで参加し、店や役員のみなさんをビックリさせたり。etc.

これからも藤沢白門会の礎を築かれた諸先輩に感謝し、仲間の絆を大切に会の更なる発展に向けて末席を汚させていただきます。

林 孝 靖 昭 和 46 年 法 学 部 卒

初代幹事の中川隆さんが長く世話役を務められた後、二代目幹事を引き継いで既に 15～6 年が経ちました。第 1 回サロン会は 1997 年（平成 9 年）7 月 29 日、中華料理の銀座アスター藤沢店でメンバー四名（飯島東助さん（昭和 29 年卒）、故片岡邦彦さん（昭和 40 年卒）、中川隆さん（昭和 54 年卒）、林孝靖（昭和 46 年卒）が集まって懇親したのが最初でした。当日は、雨のため延期されて実施された江の島花火大会が開かれており、飲食した部屋の外からは打ち上げられた花火の音が聞こえてきたことを思い出します。

サロン会は単なる飲み会と思われているようですが、これまで千葉景子会員のご協力もあり、参議院副議長公邸での会食、国会議事堂及び最高裁判所大法廷の見学、参議院議長公邸での江田五月議長（当時）との面談、法務省法務資料展示室の見学、迎賓館赤坂離宮の見学、千葉法務大臣（当時）執務室での表敬訪問等多くの

貴重な活動、体験をさせていただきました。

2020年(令和2年)2月24日藤沢駅南口の「ビストロハンバーグ」店で第60回サロン会が催されて以降、コロナ禍で延期を余儀なくされておりますが、コロナが早く収束されて又楽しいひと時が過ごせることを祈っています。

吉原和義 昭和48年 経済学部卒

私は、生まれも育ちも横浜です。縁あって中央大学を卒業しました。

川崎に勤務している時、先輩から誘われ川崎白門会に入りました。

平成9年藤沢に勤務がかわり、藤沢白門会に入会し活発な活動に驚きました。

藤沢白門会の活動は、他に類を見ないほど活動が活発で様々な会議・イベントに参加させて頂いており現在は、川崎・横浜・藤沢白門会にお世話になっています。

母校のスポーツで特に応援しているのが、箱根駅伝です。白地に赤いCのマークと赤いタスキは、一番テレビ映りもよく長時間テレビに映る(優勝争いをするチーム)事によって、受験生に対するアピールにもなると思います。

又、数年前から中央大学に合格した全国の高校一覧等を作成しています。

準進学校の受験生が増加の中、まだ地方の進学校の受験生が、中央大学を受験している実態を受験生等に様々な方法でお伝え出来ればと思います。

澤田英樹 昭和49年 法学部卒

コロナ禍に リモートで交わす 分かち合い

2020年は、世界を恐怖に巻き込むコロナウィルスにより、私たちの生活や政治・経済などの社会活動がおびやかされています。白門会活動もすべて中止を余儀なくされました。仕事や打合せなどはリモートという新しい生活様式も生み出されています。そして、なおこの状態は当分続きそうです。これは、私たちに何を教えてくれているのでしょうか。ヴィヴィアン・リーチの「コロナ・ウィルスから人類への手紙」の一部を紹介し、ご一緒に考えてみたいと思います。

あなたには 自分の人生で大切なものは何かを考える時間ができました
もう一度言います、

私はあなたを罰しているのではありません…

私はあなたを 目覚めさせるためにここにいるのです

これがすべて終わったら私は去ります…

どうか、

これらの瞬間を覚えておいてください

地球の声を聞いてください

あなたの魂の声を聞いてください

地球を汚さないでください

争うことをやめてください

物質的なことに気をとられないでください

そして、

あなたの隣人を愛し始めてください
地球とその生き物たちを
大切に始めてください
何故なら、この次、
私はもっと強力になって帰ってくるかもしれないから…

コロナ・ウィルスより

小 山 勝 男 昭和 51 年 経済学部卒

藤沢白門会創立 25 周年おめでとうございます。私は藤沢白門会の創立にあたり、橋本初代会長から直接お電話を頂き、何らかの委員会に所属し藤沢白門会の活動に協力するよう要請を受けました。

そこで「会報委員会」に所属し会報発行のお手伝いをさせて頂くことになりました。その後藤沢白門会の活性化のため、若手会員の活動を支援する「若手会」のお手伝い、藤沢白門会の会計や事務局業務のお手伝い等を経て現在に至ります。創立当時はまだ 40 代前半の年齢でしたが現在は 68 才となり、25 年間の年の重さをひしひしと感じております。

会員の皆様が互いに協力し合い、現在の藤沢白門会が中央大学学会の中でも、多彩な活動により全国に知られる支部に育ちました。これからも更に充実した藤沢白門会となることを心より祈念申し上げます。

遠 藤 主 計 昭和 53 年 理工学部卒

～思い出せば～

「箱根駅伝で母校と一緒に応援しよう！」との呼びかけに入会したのですが、そもそもその背景には職場で平成 3 年に立ち上げた学科同窓会の会長から、設立準備会に代理出席するよう指示されたことがきっかけでした。

設立準備会でお会いした発起人の方々は初代橋本会長をはじめ各界で活躍されていた大物ぞろいでしたが、面識のない若年者の意見にもきちっと耳を傾けていただいたことは、後年になってより先輩方の懐の深さと同窓会への思いを感じるようになりました。

平成 7 年暮れの設立総会、そして翌平成 8 年 1 月 2 日、3 日の 2 日間、総会后初めての箱根駅伝を中央大学の幟旗のもと、遊行寺坂上で西島先輩とともに応援、総合優勝の歓喜を味わうことができました。

箱根駅伝の優勝は同窓の連帯感と結束に直結し、当会の活動活性化の原動力になったと思います。

平成 8 年の優勝を最後に優勝から遠ざかり、苦難の道を歩んでいますが、近年中の返り咲きを祈念し、これからも応援を続けていきたいと思っています。

永 井 譲 昭和 57 年 法学部卒

藤沢白門会の創立 25 周年おめでとうございます。新型コロナウイルス感染症が早期に収束し、再び、交流活動が活発に行われ、藤沢白門会が、今後ますます発展することを願っております。

杉 山 洋 昭和 58 年 法学部卒

2020 年の白門会行事は、コロナの影響で全て見合わせる事となりました。

2021 年も引き続き、緊急事態宣言という強い自粛要請が出ております。しかし、この状況を残念と思うのではなく、藤沢白門会の新たな活動チャンスと捉え、会員一同一丸となり力強い藤沢白門会にしていきましょう。箱根駅伝も復路の頑張りで来年への期待、光明が見えた気がします。がんばろう！中大！

本 間 徳 也 昭和 58 年 法学部卒

箱根駅伝 8 区藤沢小前を、茶髪の川波選手が激走し、区間賞、そのまま総合優勝したのが、1996 年(25 年前)。このとき 4 区で榎木選手(現創価大監督)も区間賞でした。(区間賞 3 人)

以後、根気よく応援を続けている。これが藤沢白門会 25 年の「軌跡」です。「奇跡」ではない。優勝は近い！！

端 山 幸 雄 昭和 59 年 文学部卒

創立 25 周年おめでとうございます。25 年前の藤沢白門会発足当時から会の運営に携わらせていただき初代会長の橋本様をはじめ、多くの方々にお世話になりました。お陰様で、息子(庸祐)も中央大学を卒業することができ、夫婦一親子として会員になっております。今後とも、ご厚情を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

藤 本 恵 祐 昭和 59 年 法学部卒

現在茅ヶ崎市に居住していますが、以前藤沢市に住んでいたこと、主宰する空手道場が市内に 2 カ所あるご縁で、茅ヶ崎白門会に加え、藤沢白門会にも籍を置かせて頂いております。人生の第 4 コーナーを地域と人の為に生きてみたいと思い、会社を早期退職して、2019 年 4 月の統一地方選挙で茅ヶ崎市議会議員となりました。郷里熊本から進学してちょうど 40 年が過ぎましたが、母校で学んだこと、そして培った人脈は、卒業以来、人生のあらゆる局面で私の支えとなっており、心から感謝しています。藤沢白門会のエネルギッシュな活動と強い結束には只々感心するばかりですが、湘南の中心に根を張る藤沢・茅ヶ崎両白門会が相互に緊密な関係を保ち、会員のみならず地域社会の発展にも寄与できるよう、一会員として微力ながら尽力したいと思います。最後になりましたが、「藤沢白門会 万歳！」。今後ともご指導よろしくお願ひ致します。

西 川 康 成 昭和 60 年 経済学部卒

創立 25 周年おめでとうございます。夫婦生活で言えば銀婚式となります。今はコロナ禍という先の見えない状態が続いておりますが、アフターコロナを見据え、金婚式・プラチナ婚式を目指して活動していくことを期待しております。

高橋 茂 昭和 60 年 理工学部卒

民間企業から公僕となり最初の勤務地が藤沢土木事務所でした。知り合いもほとんどいない中、“藤沢白門会”を紹介されたのが丁度 5 年前、当初から会員の皆様には親しくして頂き、公私共に楽しく過ごすことが出来本当に感謝するばかりです。今更ながら中大出身というだけで、迎え入れて頂けるこの会には感謝の気持ちで一杯です。

現在は音楽鑑賞サークルの幹事をやらせて頂いておりますが、今年度は、コロナウィルスの影響で全く活動ができていません。今後はコロナウィルスとの共存を意識し、白門会での活動を有意義に進められるよう考えている今日この頃です。

これからも、藤沢白門会の活動を皆様で盛上げて頂けるよう、ご協力をお願い致します。

土屋 恭之 平成 4 年 商学部卒
平成 11 年 大学院総合政策研究科修了

中大藤沢家族

この度は中大藤沢白門会創立 25 周年、大変おめでとうございます！

私が藤沢白門会に参加するようになったのは、やはり箱根駅伝の応援がきっかけだと思います。そして、何よりも私にとっての財産は、片岡会長、城崎芳彦先輩、遠藤主計先輩、川俣誠先輩等の多くの良き先輩と良き友に出会えた事だと思います。

人生はやはり上手く行くことばかりではありません。自分に納得のいかない事や自分を見失う事もたびたびありますが、藤沢白門会は人間関係に年次や仕事の役職等で線を引くことなく、お互い家族のように接してくれることは本当に有難く思っています。「善き友は、心の花の添え木かな」という句がありますが、善き仲間と湘南の海で酒を飲み交わし、馬鹿話ができることは誰からも羨ましがられる最高の白門会だと思います。

これからも皆さんと共に変わらず、箱根駅伝を応援し続けられたら幸いです。今後とも宜しく願い致します。

原田 芳一 平成 4 年 法学部卒

このたび、25 周年を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。

入会して以来、諸先輩方のご指導ご鞭撻を頂戴してまいりました。そのひとつひとつが、私にとってかけがえのない財産です。

近年は、私のワークバランスのこともあって、なかなか参加できないままコロナ禍に突入してしまいましたが、事態が収束しましたら、また以前のように皆様とお顔を合わせたいです。

益々のご繁栄を祈念いたしております。

西 尾 雄一郎

平成 6 年

理工学部卒

若手会会長の西尾です。若手会としては主に懇親の行事を行っておりますが 2020 年度はボーリング大会、地引網、バーベキュー等全て中止となってしまい非常に残念に思っております。

若手会の活動の他、ワイン会やゴルフのサークル活動も楽しみにしておりましたが同様に活動出来ない状況です。

少しでも早くこの状況が収束し、また皆様といろいろな行事でお会い出来る事を楽しみにしております。

長 田 誠

平成 14 年

法学部卒

希望に満ちた年

藤沢白門会創立 25 周年おめでとうございます。私は、創立の翌年（平成 8）に入学しましたが、いまだに中央大学と関わりを持つことができることを嬉しく思うとともに後輩の活躍を誇らしく思っています。

さて、私が生まれ育った藤沢に法律事務所を開設したのは、平成 27 年 12 月のことでした。藤沢白門会にはその数年前に入会しておりましたので、開設に当たっては白門会の皆様に多大なるご支援を頂きました。弁護士法人の支店としてのスタートだったとはいえ独立採算制となっておりますので、皆様にお仕事のご紹介を頂くなどしたことは本当に有り難かったです。この場をお借りして御礼申し上げます。

その後、事務所拡大を志向する代表者と対立したことから、令和 2 年 1 月 1 日、既存の事務所を買い取る形で独立しました。場所も事務所名も電話番号も何から何までそのままです。恵まれた独立だと思っています（2 名いた事務員は法人で雇用していましたが、引き抜くと色々問題があるので法人に戻しました）。独立を決めてから 4 か月ほどしか時間がなかったため、事務員の雇用までは手が回らなかったのですが、法律事務の経験を有する妻が喜々として事務員に立候補してくれました。週 3 回、当時 2 歳だった長女も「パパの会社に行ってお手伝いする！」と言って妻と一緒に出勤（？）していました。ところが、1 月の中旬に妻が骨折してしまい早くも休職に。事務所は急に静かになりました。4 月に復帰してもらおうと思っていたところにコロナ騒動。心配なので在宅勤務してもらい、7 月からはどうかと思っていたところに妊娠と悪阻。12 月に二女が誕生し、しばらく復帰はなさそうです…。

令和 2 年 4 月、5 月と全ての裁判がストップしてしまいました。本来であれば終了して報酬が入ってくるはずだったものも先延ばしとなり、独立早々キツイ時期を過ごしましたが、白門会の皆様、友人、そして何よりも家族に助けられて乗り切ることができました。仲間や家族の絆の大切さを改めて感じる事ができたという意味で、良い一年だったと思います。

目標を立てるのが苦手な私は「今後の目標は？」と聞かれると困ってしまうのですが、より多くの方を幸せにしたい、ずるいことはしない、相手方にも尊敬されるような仕事をしたい、と思いながら日々仕事をしています。「いつまでにこうする」というような明確な目標を設定していないだけで、やりたいことや考えていることはあるのですが、上記のような思いで日々仕事をしていると、自然に実現しているように思います。

これからも地域に根ざして日々研鑽してまいりますので、ご指導の程宜しくお願い申し上げます。お近くにお越しの際にはお立ち寄り下さい！

崔 洋 誠 平成 19 年 法学部卒

創立 25 周年おめでとうございます。そして迎え入れて下さった先輩方々に感謝申し上げます。

会からのお知らせが届くたび、昔参加したイベントのことを思い出すのですが、新型コロナウイルスにより、皆様とお話しする機会がなく寂しいばかりです。各種イベントや、ワイン会、二次会の北海道、花鳥風月など楽しい宴席に参加できる日を心待ちにしております。

早乙女 彰 洋 平成 20 年 理工学部卒
平成 22 年 大学院理工学研究科修了

藤沢白門会 25 周年おめでとうございます。25 年を継続するということは本当に素晴らしいです。

25 年前、自分はまだ小学生でした。その頃、パソコンの OS である Windows 95 の登場によりインターネットが身近なものとなり、IT 社会の幕開けの前夜でした。それが今ではあらゆる社会で IT が必要不可欠となり、アメリカの GAFA や中国の BATH といった IT 企業が世界をリードし、我々の社会を左右しています。25 年前にこれらの企業が世界をリードするとは誰が想像していたのでしょうか？

この変化の激しい時代の中だからこそ、25 周年は本当に素晴らしいことです。私の好きな考えが 1 つあります。それは「この地球上で唯一変わらないことは、変化し続けること」です。変化するなか、次の 30 周年、50 周年を迎えられるよう私も先輩方々のように貢献できればと思います。あらためて 25 周年おめでとうございます。

白 石 桃 子 平成 28 年 総合政策学部卒

創立 25 周年おめでとうございます！この歴史ある同窓会の一員になれたことをとても嬉しく思います。会員の皆様は私のような若輩者にも温かく接して下さるので、この懐の深さこそが藤沢白門会の魅力であり、25 周年という長く続いてきた理由なのだと思います。

もちろん藤沢白門会はこれから 30 年、50 年と続いていくことと思いますが、私もその歴史を少しでも支えられるよう精進して参ります。まだまだ若輩者ではございますが、これからもよろしく願いいたします。

コロナが落ち着いたら、是非藤沢白門会の皆様とビールで盛り上がりたいです！またお会いできる日を心待ちにしております！



来し方行く末

平成 7 年 12 月に結成されて早 25 年、会員の皆さんに愛され、親しまれて、これまで多くの交流が生まれてきました。

発足当初から本会の組織、活動、財政は実に見事に機能しており、今日の隆盛と発展はその土台の上に成り立っています。その礎を築かれた初代橋本会長を中心としたブレインの功績は非常に偉大であり、輝かしい足跡を残されたと思います。定期総会をはじめ各種機関会議の設置、会員相互の交流を深める新春のつどい、地引網大会の開催、多種多様なサークル活動の展開、会費及び役員協力金による財政基盤の確立、若手育成のための若手会の設立、県内白門会や湘南地域他大学 OB 会との親睦交流会の開催など、枚挙にいとまがありません。会の活動はもちろん、会員の紀行文、随筆、文芸などを掲載し、毎年内容の濃い会報を発行していることも忘れてはなりません。

創立 10 周年を迎えた平成 17 年度には、藤沢、松本両市の姉妹都市提携に倣って、長野中信支部と姉妹支部提携を結び、現在まで深い交流が続いています。詳細ないきさつは会報に記載されていますが、当時の加藤会長と幹部諸氏の斬新かつ独創的な発案によって成し遂げられた画期的な事業だと思えます。同様に会歌となる「藤沢白門会讃歌～いま湘南に～」ができあがり、会の活性化に大いに役立ったことは誰もが認めるところです。

会員相互の親睦のみならず、福祉ボランティア活動や藤沢市への車椅子寄贈など、社会福祉活動にも積極的に取り組んできました。この活動が善行として評価され、藤沢市と藤沢市社会福祉協議会から表彰を受けたことは誇りであり、嬉しい限りです。

会員相互の強固な結束を生んでいる一番大きな源は、何と言っても箱根駅伝の応援でしょう。平成 8 年 1 月、母校は箱根駅伝で 32 年ぶりの優勝を果たし、生まれたての藤沢白門会に明るく勢いのある話題を提供してくれました。その後は上位に食い込むも優勝できず、最近ではじり貧が続いており、平成 28 年の予選会では応援むなしく、ついに連続出場を逃してしまいました。その後も予選会まわりの苦境が続いていますが、我々の心の拠り所である箱根駅伝で今一度母校が優勝する日がくることを夢みて全力で応援したいと思えます。

令和 2 年 2 月頃から全世界にコロナウイルスが蔓延し、人類はこの見えない敵と向き合い、必死に戦っています。本会の活動も休止を余儀なくされていますが、1 年経った今、ワクチン開発と接種開始により、ようやく少し将来に光が見えるようになりました。会の活動も徐々に復活するものと思えます。

会員の高齢化が進むなかではありますが、片岡会長が強く訴えてこられた会員の増強により一定の成果があがっており、若い会員も増えつつあります。諸先輩方が築き上げてきた歴史と伝統を継承するためには、より多くの若手に参加してもらい、主体的にかかわってもらうことが肝要です。将来を見据えながら、自分も役員の一人として会の発展に貢献できるよう頑張っていく所存です。

川崎隆之 昭和62年 理工学部卒 事務局次長

創立25周年おめでとうございます。5年前の20周年の際には記念号の作成に携わらせて頂きました。その時、改めて本会の歴史と諸先輩方の熱心な活動に驚き、しっかりと引き継いでいかなくてはならないと感じました。若い頃は愛校心などひとかけらもありませんでしたが、本会に入会し異業種の先輩、後輩達と出会い、公私ともに人生の糧となっており、本当に入会して良かったと思っています。現在、私は事務局次長という立場で川俣事務局長を補佐すると共に、若手委員会の西尾会長、大橋副会長を補佐する役割を担っております。一番の課題は、高齢化に伴う会員の減です。新規会員獲得に向けては、魅力あるイベントやサークル活動を企画立案することが急務だと考えます。コロナ禍ではありますが30周年に向け努力してまいり所存です。会員の皆様のご協力をお願いします。最後になりますが、本会の益々の発展と会員の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



吉田弘明 昭和54年 文学部卒 会報委員長

創立25周年おめでとうございます。入会したきっかけは、定年に近づいた頃、漠然とこみ上げてくる寂さの中で、何かの絆を求めたからでした。若い頃は、白門会のような大学の同窓会の存在を気にも留めていませんでした。老いの成せるわざですかね？そして今では、私の生活の中に、白門会の存在がなくてはならないものになっています。

3年前に会報委員会の責任者の仕事を、川島先輩から引き継ぎました。お陰様で2回の会報を発行することができました。今後とも職務を全うすべくがんばりたいと思います。よろしくお願い致します。

坂口秀之 平成7年 文学部卒 会報委員会副委員長

只今皆様がお手にとってご覧いただいております、25周年記念誌の編集も佳境に入ってきている中、この文章を誌面のデータに直接打ち込んでおります。

自分の中の表現になるのですが、制作担当の私も普段は、「データを練る」という作業、つまりは一回限りで完結せず、次の制作物への参考となり、また運用と応用の出来るデータの制作に努めております。

ですが今現在はコロナ禍の中。私も福祉施設の中にあつて、医療・福祉従事者向けの感謝の品を、という事で「クッキーの生地を練る」作業に従事しております。世の中には色々な「練る」仕事があるものですね。

さて、この鬱屈とした時代ですが会員の皆様方も、コロナ禍が過ぎ去った後、憂いなくまたお会いして、盃など酌み交わす日や、集まってイベントを楽しむなど、色々な計画を「練って」おられることと存じます。

その時には喜んでお手伝いをさせていただくことを楽しみにしております。

砂川 知明 平成4年 法学部卒 会報委員

藤沢白門会創立25周年、誠におめでとうございます。

藤沢白門会の行事にはあまり参加することができず申し訳ありません。幽霊会員のような存在の私ですが、白門つながりのありがたさを感じるが多々ありました。

私は、平成25年に茅ヶ崎市に司法書士事務所を開業しました。妻の実家が茅ヶ崎にある関係で開業の地を選んだのですが、私自身に地元での人脈があるわけではなく、開業当初はまさに閑古鳥が鳴く状態でした。縁あって平成26年1月に藤沢白門会に入会しましたところ、案件をご紹介いただいたり、人をご紹介いただいたりと会員の方にお気遣いいただくことがあり本当にありがたかったです。

自営業者は孤独であり、組織に頼ることもできません。そのような中、白門つながりということで私を気にかけてくれる人たちがいるということは私にとってとても心強かったです。

そして、お陰様で開業8年目を無事迎えることができました。この場をお借りしましてお気遣い頂きました皆様に御礼申し上げます。

最後になりましたが、藤沢白門会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念して私からのメッセージとさせていただきます。

大橋 賢也 平成6年 法学部卒 会報委員

創立25周年、誠におめでとうございます。諸先輩方の母校に対する思いや愛が、このような成果をあげられたものと思われまます。

我々現役会員も、諸先輩方に負けないくらいの中大愛をもって、藤沢白門会の活動を盛り上げていきたいとの思いを強くしています。

今後ともよろしくお願い致します。

相原 妙美 平成17年 法学部卒 会報委員

合格の知らせを聞いたのは放課後の教室でした。周りにいた友達は、私以上にはしゃいで大喜びしてくれたものです。温室のようだった高校から飛び出して入学した中央大学は、私の世界を大きく広げてくれました。出会った人、学んだ事、感じた想い、全てが宝物です。

大学を卒業してから時を経て藤沢に住むようになった私ですが、まだ馴染みの浅い地で、あたたかく迎え入れてくれたのが藤沢白門会でした。出会った方々は魅力的な方ばかりで、お話する度に再び私の世界は広がっていく感覚を覚えます。藤沢白門会創立25周年という節目に立ち会えた事、お祝い出来る事がとても嬉しいです。

人類史に残るこのコロナ禍で迎えたという事を、いつか皆様とグラスを傾けながら語り合える日を楽しみにしております。

感染症予防によく手を洗いましょう

昭和 29 年経済学部卒 高島良太郎

手洗いと医療の歴史 医師たちは無知だった ゼンメルワイスの悲劇

19 世紀の半ばまで医師たちは患者の手術や死体解剖に使ったメスなどは付着した血や膿を自分の衣服でただ拭くだけで、そのまままた使用していた。また手洗い等一切していなかった。当時、細菌はまだ発見されていなかった。17 世紀後半顕微鏡が発明され、肉眼では見えないなにか微生物がいる、と言われていたが、細菌という概念は無かった。

黒死病ペスト、コレラ、恐ろしい風邪（インフルエンザ）など解決できない恐怖に、妖怪狐のしわざ、神の罰、星の巡り合わせが悪い、腐った空気などをその原因と考えた。

瘴気（しょうき）説古代から 19 世紀まで、ある種の病気（現在の感染症）は「悪い空気」によると考えられていた。感染症の一つマラリアは古いイタリア語で mal aria 「悪い空気、毒気」

19 世紀半ばの 1846 年、28 歳のハンガリー人イグナック・ゼンメルワイスはウイーン大学病院の第 1 産科の助手になった。1840 年代ウイーン総合病院の分娩室は産褥熱の温床であった。ゼンメルワイスが就任した月には、208 人中 36 人以上の母親が死亡した。

ウイーン総合病院の産科は、二つの科に分かれていた。ゼンメルワイスが勤務した第一産科は医師と医学生。第二産科は助産婦が患者を診ていた。第一産科では患者の 10% 以上が産褥熱で死亡するのに対して、第二産科では 1% 以下であった。このことに、ゼンメルワイスは気がついた。この二つの科は、同じ建物の中に隣接している。もし産褥熱が伝染病だったら、罹病患者の数は両科とも等しくなければならぬはずだ、なぜ近代医学の医師が担当する第一産科の方が助産婦たちの第二産科より死亡率が高いのか、ゼンメルワイスは考えた。二つの病棟の気温や湿度、食べ物、飲み物を比較したが、大きな差は見られなかった。両病棟は隣接しているため「瘴気」が原因なら同じはず。第一産科の医師たちは死亡した患者を解剖している、死亡患者の解剖が産褥熱に関係するのか？医師たちが解剖する際に死体についている「死体粒子」とでもいう物質が彼らの手に付着したのではないか？その手で妊婦を診察する際に産道に付着して病気を起こすのではないかと考えた。

ゼンメルワイスは独断で、自分の診療室のドアに注意書きを張った。「今日、1847 年 5 月 15 日以降、解剖室から出てきたものはすべて、医師、医学生を問わず、産科の病室に入る前に、入口に置かれてある塩素水で十二分に手を洗うこと。この指令は何人にも適用される。例外は許されない。I・P・ゼンメルワイス」。

産褥熱やその他手術による発熱が、微生物（細菌）によるものと言うことはゼンメルワイスにはまだ分かっていなかった。この原理が発見されるのは、30 年先の事であった。（1876 年コッホ炭疽菌培養に成功）。ゼンメルワイスは病原体が医師の手や医療機器から媒介されるということ洞察していた。

この「手洗い注意書き」から、彼に荊棘の道、悲劇が待ち受けていた。医師や医学生の大半はこの「無意味な消毒」を、非常に面倒がった。

ゼンメルワイスの手洗い効果は翌年現れた。第一産科の産褥熱死亡が 1% 台になり第 2 産科の 1.33% に近づいた。ゼンメルワイスは実験結果を王立ウイーン医師会会報に発表した。然し、表立った反響は皆無に近かった。ゼンメルワイスの理論はヨーロッパの産科医や外科医にとってあまりにも高尚過ぎ、従来、彼らが踏襲してきた観念を侵害するものだった。医師や医師会の権威は黙殺と嘲笑によって

応じたのである。その結果何千という患者が各種の感染症で死んでいった。そしてついには、ゼンメル
ワイスは失望と苦痛に打ちひしがれ、自ら精神に異常をきたした。将来の外科手術の基礎を発見した
その男は、1865年精神錯乱のあげく、わずか47歳で死亡した。手洗いは19世紀半ばまで医療現場
では実践されなかった。

彼の発見が証明されたのは、1882年ロベルト・コッホの根細菌の観察、炭疽菌の発見によって
ようやく証明された。

(注) 産褥熱：分娩後の10日以内の2日以上にわたる38度以上の高熱が続く症状。感染症の一種。

スペイン風邪とサンフランシスコのマスク条例

1918年秋、サンフランシスコでインフルエンザが発生すると、市政府はマスク着用義務化条例を
出した。市民の99%が着用した。その結果11月には感染者は激減、11月21日サンフランシスコは
インフルエンザ終焉を宣言、マスク条例を解除した。学校や娯楽場も再開された。ときあたかも
11月11日第一次世界大戦休戦。市民は大喜びで集まって休戦を祝った。11月第四木曜日は感謝祭、
更にクリスマスが近づき、その結果あつと言う間に第二次感染が起こり、多くの死者が出た。

第一次世界大戦でスペイン風邪が世界に蔓延、そして戦争どころでなくなり、スペイン風邪で休戦と
いう皮肉さである。

新型コロナウイルスは、政府の緊急事態解除、東京都の東京アラートの解除、Go Toトラベル政策が
始まると、それ以前より感染者が全国に広まり増加している。100年前のスペイン風邪の教訓は
生かされていない。

「うがい」について

手洗い、マスク着用と共に「うがい」は風邪の三大予防法。うがいには「ぶくぶく」式の口中洗浄と
「がらがら」式の咽喉洗浄、殺菌が有る。日本では古来より風邪の予防に効果があるとして、推奨
されている。

ところが「うがい」は効果が無いとも言われている。欧米では風邪の予防法としての「うがい」は
科学的根拠が明らかでないと言われ、うがいの習慣がないとのこと。少なくともインフルエンザの
ウイルスには効果が明らかでないとされている。また殺菌力の強いうがい薬は善玉菌まで潰して
しまうとも言われている。

でもしないよりした方がよいのでは？

参考・「外科の夜明け」ユルゲン・トールワルド（独）著、塩月正雄訳、講談社ほか



第 97 回箱根駅伝について

今年もシード権獲得ならず

今回は新型コロナ渦の件で、沿道での応援は自粛となりました。往路のメンバー表は私の予想通り 4 区以外は当たっており、全体で 5 位くらいと思い、1 区千守選手はメンバー中、1 万メートルでは 4 位で期待されている中、8 時に 21 校がスタートし、最初の 1 キロは 3 分 30 秒と超スローでいつもと違うスタートで一団は大森まで進みますが、このあたりから千守選手が脇腹を押さえ、六郷橋のあたりから遅れはじめ、鶴見の第 2 中継所では法政大の鎌田選手がトップで入り、千守選手はトップと 1 分 17 秒差の 17 位で 2 区森選手にタスキを渡しましたが、区間 16 位で 3 区の期待の新人吉居選手にタスキを渡し、明治と法政の選手との 3 校並び、一時は 2 人をおいて出ましたが、平塚の第 3 中継所では 2 人共に抜かれ、1 時間 5 分 2 秒で 18 位落ち、4 区三須選手も変わらず、5 区は去年も走っています敵選手に託しましたが調子上がりせず、最後は山梨学院大にも抜かれ、芦ノ湖のゴールでは 19 位で入りました。藤原監督予想では往路 5 位くらいで復路でもそのままで行くと思われて居ましたがやはり 1 区の千守選手の予想外の出遅れで 2 区、3 区、4 区、5 区と調子が上がりせず、終わってしまいました。ちなみに往路 1 位になった創価大の監督は中大 OB で 2 年目の榎木和貴監督でした。

翌日復路は 10 分遅れで 4 校スタートし、6 区若林選手は去年も走っており、区間 5 位で 7 区の中沢選手にタスキを渡し、8 区の三浦選手もそれなりの走りをし、9 区の手島選手に繋ぎ、10 区アンカーの川崎選手も安定した走りを見せ、区間 5 位でゴールし、復路では 3 位で、総合では 11 位の明治大、我が母校は 12 位となりました。10 位のシード権獲得の東京国際大との差は 2 分 7 秒でした。総合優勝は駒沢大でアンカーが 3 分 19 秒差をあと 2 キロで創価大をかわし、逆転優勝しました。

中央大はやはり 1 区の出遅れが、後々まで響き、今後選手の起用法が課題となり、来年は絶対シード権を獲得する意気込みで練習に励んで頂きたいと思います。

(箱根駅伝を応援する会 城崎芳彦)



思い出に残る講演会

◆◇ 野村修也氏（当時中央大学法科大学院教授） ◇◆

学術講演会（藤沢白門会創立 20 周年記念行事）

平成 27 年（2015）11 月 14 日 藤沢市民会館にて



演題 GRIF 改革の行方～年金積立金の管理・運用の在り方を考える

様子 講演は、アベノミクスの経済政策から始まり、年金積立金管理運用独立法人の沿革、143 兆円になる年金積立金とその基本ポートフォリオ（運用資産の構成）の見直し、将来の年金給付への影響についてのお話がありました。従来の国債を中心にした運用から、株式での運用を含めた基本ポートフォリオの見直しを進めている状況が説明され、将来世代の年金給付への影響が大きいだけに、私たちも政府の施策やその発表、マスコミの記事など注意深く読むことで日頃から施策の中身を良く吟味する目を持つことが要求されるとの内容でした。

会場からは質問も数多く出され、また終了後からのアンケートからも講演に対する高い満足、講師に対する関心の深さが示されました。（会報 20 号より）

◆◆ 蓮池 薫氏（当時新潟産業大学特任講師） ◆◆

記念特別講演（藤沢白門会創立 15 周年記念）

平成 23 年（2011）1 月 29 日グランドホテル湘南にて



感動を呼んだ特別講演・蓮池薫氏の「絆と夢」

記念特別講演 「新春のつどい」 盛大に開催

◇創立十五周年記念◇

▽平成二十三年一月二十九日（土）グランドホテル湘南

一段と寒さ厳しい一月二十九日、「創立十五周年記念新春のつどい」が来賓・会員・会員家族・物故者家族等々一三〇余名の出席のもと盛大に開催された。第一部の特別講演・講師に蓮池薫氏（新潟産業大学特任講師）をお招きし、演題「絆と夢」と題する講演をお願いした。

講演に際して、蓮池氏が三十二年の歳月をかけて母校を卒業（二〇〇八年）、この卒業に尽力された長内了先生（現常任理事）より、柏崎の実家での特別授業、蓮池氏の帰国から卒業、そして今日までのエピソードの紹介があり、四時三十分満場の拍手に迎えられ、蓮池氏は演壇に上った。（講演要旨）

私が一九七八年七月三日に拉致され、絶たれたものは絆と夢、家族や友人との絆と生きるための夢でした。しかし、北朝鮮でも生きていかなければなりません。そのためには絆と夢を求めなければなりません。どんな状況であれ、絆と夢のまったく無い生活など考えられないからです。

そんななか、私は結婚し、子どもを授かり、新たな絆が生まれました。それが拉致によって絶たれた絆を全て埋め合わせるものではありませんでしたが、絶望的な孤独から抜け出し、辛い時にすがりつける心の支えを得ることはできました。また、かの地で生きていく子どもの将来のために、親の責任を果たそうと決意、それが私の人生の目的、人生の夢となりました。それは悲壮感に満ちた「夢」でした。

二〇〇二年の一時帰国は、かつて拉致によって絶たれた絆と夢をすぐさま驚いでくれるものではありませんでした。その過程には大きな決断、人生の賭けが伴いました。日本に留まって北朝鮮からの子どもの帰国を待つことにしたのです。今となつては当然のことのように思えますが、当時はとても辛い苦渋の決断でもありました。

二〇〇四年子どもの帰国によって初めて私は昔の絆を取り戻し、自分の夢を叶える大きな可能性を得ました。そして今、日本に戻れたことの幸せを日々噛みしめ新たなチャレンジをしています。

帰国の喜びを感じれば感じるほど、日本政府に対してほかの拉致被害者の帰国を一日も早く実現させ、普失った夢と絆を取り戻せるようにしてあげて欲しいという思いが募ります。拉致問題へ更なる関心とご声援をお願いいたします。（了）講演を終え会場を後にする講師に参加者から大きな拍手が沸いた。

蓮池さんは、北の工作人員らに拉致された状況・招待所に閉じ込められ、運命の不安と恐怖の中で過ごした二十四年間の北朝鮮での厳しい生活を赤裸々に語り、今は生活・自立のための武器として因縁の韓国語を駆使しているという。それが未だ帰国を果たせないでいる拉致被害者に伝わり勇気づけることができるなら、と胸中を明かされた。拉致問題が全面解決する日まで蓮池さんの活躍に声援をおくり続けたいと思う。

第二部は恒例の新春のつどい。定刻五時五十分石原昭憲副会長の開会の宣言でスタート。平成七年十二月、本会発足以来この十五年の間に集約に入られた四十四名の物故者に燃焼を捧げた後、片岡久興会長より新年のお祝いの挨拶。藤沢白門会創立十五周年を回想、創立当初の第七十二回箱根駅伝で我が母校が三十二年ぶり十四回目の総合優勝を果たし、その快挙を目の当たりにした感激・感動は今でも忘れられない（周囲より同感の声）。そして我が藤沢白門会の更なる発展を期して今後とも努力したいとの抱負を述べ、挨拶を結ばれた。

続いて、来賓の紹介。母校より辻本京朗常任理事、学生会副会長、長内了常任理事、地元から海老根靖典藤沢市長、SUC（湘南ユニバーシティクラブ）から三大学各校代表の出席。そして五年前姉妹支部提携した長野県中信支部から代表幹部四名の出席、また県下からは横濱・川崎両支部、茅ヶ崎・平塚・神奈川県庁白門が出席。

演題 絆と夢

様子 講演に際して、蓮池氏が 32 年の歳月をかけて母校を卒業（2008）、この卒業に尽力された長内了先生（現常任理事）より、柏崎市の実家での特別授業、蓮池氏の帰国から卒業、今日までのエピソードの紹介があり、蓮池氏は演壇に上った。

蓮池さんは、北の工作人員らに拉致された状況、招待所に閉じ込められ、運命の不安と恐怖の中で過ごした 24 年間の北朝鮮での厳しい生活を赤裸々に語り、今は生活・自立のための武器として因縁の韓国語を駆使しているという。それが未だ帰国を果たせないでいる拉致被害者に伝わり勇気づけることができるなら、と胸中を明かされた。拉致問題が全面解決する日まで蓮池さんの活躍に声援を送り続けたいと思う。（会報 15 号より）

◆◇ 高橋善正氏（当時硬式野球部監督） ◇◆

講演（第 11 回合同白門会）

平成 23 年（2011）11 月 29 日グランドホテル湘南にて



第 11 回神奈川県合同白門会で硬式野球部選手を紹介する高橋善正監督
（平成 23 年 11 月 19 日・グランドホテル湘南）



母校硬式野球部の高橋善正監督の講演

演題 チームプレイと組織力

様子 東部リーグ入れ替え戦の苦労話や最近の学生の指導法など、ユーモアを交えながらの興味深い話であった。（会報 16 号より）

◆◇ 渥美東洋氏（当時中央大学教授） ◇◆

学術講演会（創立 5 周年記念行事）

平成 13 年（2001）2 月 18 日藤沢グランドホテルにて



5 周年記念講演会「現代社会の不安とそれへの対応」
で感銘を与えた中央大学教授・渥美東洋先生

演題 現代社会の不安とそれへの対応

様子 ポスターやチラシなどの PR 効果により、現役学生や多くの一般市民の方々の参加を得ることができました。

平成7・8年

〔藤沢白門会が平成7年12月に発足〕

“広がれ、白門の輪” 会長に橋本篤治氏が就任

設立への期待の声を結集して中央大学学員会「藤沢白門会」は、平成7年12月6日に藤沢産業センターにおいて設立総会を開催する運びとなった。全国で96番目の新生・地域支部として正式に発足した。設立総会には、95名が出席、来賓として中央大学常任理事・水上虎馬雄氏も臨席された。まず、発起人である西島一光氏が開会の挨拶、次いで同じく発起人の橋本篤治氏設立経過を報告。来賓の紹介と中央大学・内海英男理事長、高木友之助総長の祝電披露の後、議事進行。満場一致で原案通り可決・承認された。役員については、会長・橋本篤治氏、副会長に加藤武氏、(親睦行事担当)西島一光氏(顧問担当)、佐藤洋司氏、田島豊氏(大学窓口担当)、牛越弘氏(会報担当)、田中義和(入会担当)、幡場正宏氏(総務担当)、時枝誠氏(箱根駅伝応援担当)、事務局長には片岡久興氏が選出された。橋本会長は、「会員の皆さんとともに、藤沢白門会をすばらしい会に育てていく所存ですので、今後ともご支援、ご協力をお願いいたします。」と挨拶、設立総会を力強く締めくくった。



藤沢白門会の設立総会で挨拶する橋本篤治会長

<感動の嵐!! 藤沢白門会の門出を祝福>

箱根大学駅伝、32年ぶり総合優勝なる

門出を祝福して大きなお年玉―藤沢白門会の発足直後の平成8年1月2・3日に行われた第72回東京箱根間往復大学駅伝競走は、母校中央大学の32年ぶり、14回目の総合優勝となった。純白の胸に赤いCマークのユニフォームが躍動、ともに味わう感激の美酒、(ああ中央)これに尽きるものはない。藤沢白門会では、箱根駅伝応援委員会が中心となり両日、多数の旗幟と小旗で沿道から大声援を送った。往路第3位で期待を高め、翌日の復路6区で逆転し第1位に。わが8区では、白門会会員らの大声援を受けてトップを走る川波選手の韋駄天ぶりは、ひたすらゴールへ、優勝を目指す意気を横溢させた快走ぶりであった。10区、見える、見える、大成選手が手を挙げて堂々優勝のゴールイン。歓声、歓喜の波の中。

- * 「藤沢白門会」発足。初代会長に橋本篤治氏が就任。(平成7年12月)
- * 第72回箱根駅伝、32年ぶり感激の14回目総合優勝。(平成8年1月)
- * 中央大学学員会〔支部旗〕を駿河台記念会館で授与される。(平成8年5月)

- 米国、欧州、アジアの3極を軸にした動きが進む中で、日本の立ち遅れが目立つ。
- ASEAN(東アジア諸国連合)にミャンマー、カンボジア、ラオスを加盟させた体制発足の動きが台頭。

「定期総会」講演・佐土一正氏の豊富な話題を楽しむ

春爛漫、会員来賓ら出席して盛大に

春爛漫の好季、さわやかな湘南の風を浴びながら、定期総会は4月19日、多くの会員の参加を得て盛大に開催。来賓として中央大学の水上虎馬雄常任理事、地元から山本捷雄藤沢市長、櫻井郁三衆議院議員をお迎えした。定期総会は、第1部総会、第2部後援会、第3部懇談会の順で進行。第2部の講演会では、母校出身の佐土一正氏（日本テレビアナウンサーOB）が豊富な話題をもとに、開局時のプロレス中継や箱根駅伝の中央大学6連覇時代の逸話などを披露。出席者はそれぞれに興味尽きない講演内容を楽しんだ。



定期総会における佐土一正氏の講演

[藤沢（湘南）地区内の大学同窓会が大集合]

8大学による親睦交流会が発足する



藤沢（湘南）地区大学同窓会親睦交流会の情景

現したものであり、全国的に見ても、例のないものである。こんごの広がりが期待されている。

第1回の藤沢（湘南）地区大学同窓会親睦交流会が9月6日に藤沢グランドホテルで開催された。藤沢を中心に組織され活動している同窓会のなかで、8つの大学同窓会が一堂に会した。慶應義塾大学藤沢三田会、明治学院大学同窓会湘南中央支部、神奈川大学校友会藤沢支部、立教大学湘南立教会、早稲田大学藤沢稲門会、日本大学校友会神奈川支部湘南桜門会、青山学院大学校友会湘南支部、中央大学学委員会藤沢白門会がメンバーとなる。

同親睦交流会は、中央大学藤沢白門会（親睦実行委員会）などが呼びかけてはじめて実

- * サークル同好会の活動が活況。（ゴルフ、旅行、囲碁、音楽鑑賞、テニス、釣り、写真、ドライブ、園芸、麻雀、書道、ヨット、白門会サロン）
- * 第1回「藤沢（湘南）地区大学同窓会親睦交流会」の発足・開催。（9月）

- 地球温暖化防止京都会議で、約160カ国が地球環境保全問題に取り組む。（12月）
- 金融改革「日本版ビックバン」の本格化を控え、証券業界では、外資系の攻勢が目立つ。
- 好調な健全発展を続けてきたアジア諸国が1997年夏以降、相次いで、通貨下落。

【活発なサークル同好会、開催回数 40 回に】

参加メンバーの増加でますます活況

会員相互の親睦と交流を目指したサークル同好会の活動は、年々盛んになってきている。13 のサークル同好会への参加と積極的な活動は、藤沢白門会活動の中軸を形成している。ここで、サークル同好会名と今年の参加延べ人数を紹介する。

・ゴルフ（述べ参加人数 31 人）、・旅行（述べ参加人数 31 人）、・囲碁（12 回の開催）、・音楽鑑賞（述べ参加人数 33 人）、・テニス（述べ参加人数 25 人）、・釣り（登録人数 10 人）、・園芸（述べ参加人数 23 人）、・写真（述べ参加人数 15 人）、・ドライブ（登録人数 3 人）、・麻雀（述べ参加人数 21 人）、書道（登録人数 3 人）、ヨット（登録人数 8 人）、白門サロン（登録人数 25 人）。10 年度は、開催回数 40 回、参加人数は述べ 193 人となっている。参加人数の増加は、サークル同好会の活況を示している。

〔第 3 回会員親睦バス旅行〕

第 9 回中央大学ホームカミングデーに参加

秋晴れの平成 10 年 10 月 4 日、第 3 回の親睦バス旅行を実施。第 9 回の中央大学ホームカミングデーの懇親会にも参加した。同日の朝、午前 8 時 30 分に藤沢駅南口の小田急デパート前に会員ら 29 名が集合し、貸切り観光バスで目的地である町田の薬師池公園と中央大学多摩校舎に向かって出発。薬師池公園は花の見所で、春は梅、桜、藤、花菖蒲。夏は大賀蓮、秋は椿と紅葉のすばらしいところ。母校での懇親パーティーでは、記念撮影など楽しい時を過ごした。午後 3 時、記念品と箱根駅伝の応援に使える帽子をお土産にして、再度、貸切観光バスでにて帰路藤沢へ。



ホームカミングデーに参加した藤沢白門会の面々

- * レディース委員会の活動スタートなる。(4 月)
- * 会員親睦バス旅行で、中央大学ホームカミングデーに参加。(10 月)
- * 囲碁サークル同好会、毎月の例会開催で活発な交流と親睦。

- 金融監督庁の発足により、内外の金融市場から信認の確立をめざす。(6 月)
- 日本版ビッグバン（金融制度の抜本改革）がスタートする。

「新春のつどい」にぎやかに開催

会員、家族、来賓、友好団体代表が多数参加

新しき年、1999年（平成11年）を祝うとともに、会員相互の親睦と相互理解をいっそう深めるために1月30日午後6時から恒例の会場となった藤沢グランドホテルで130名の会員と配偶者、並びに来賓、友好団体の役員の方々の出席のもと、盛大に開催された。親睦行事委員会の石原昭憲理事の司会で進められ、橋本篤治会長の挨拶、次いで来賓の中央大学水上虎馬雄常任理事より最近の大学近況の近況について、昨年12月に韓国ソウル市で特別卒業証明贈呈式を挙げたこと、中央大学音楽研究会管弦楽部が米国ニューヨークのカーネギーホールで〔第九コンサート〕に出演したことなど、が説明された。同日は、来賓として山本捷雄藤沢市長、櫻井郁三衆議院議員、千葉景子（藤沢白門会顧問）・葉山峻・石渡清元・斉藤勁の各参議院議員、番場定孝神奈川県議会議員（藤沢白門会顧問）、さらに県下白門会・支部の役員、湘南藤沢地区の各大学OB・OG会の役員の方々が多数出席された。

〔定例総会〕講演 荻原益三氏（藤沢白門会顧問）

「出会いのすばらしさ」に感動を呼ぶ

定例総会は、平成11年5月8日午後6時から藤沢産業センターで100名の出席を得て開催された。総会では、第1部・議題審議、第2部・講演会、第3部・懇親会と進んだ。第2部の講演会では、荻原益三氏が若き日の『出会いのすばらしさ』を語り、感動のひとときをつくった。同紙は中央大学法学部卒業後、米国のスタンフォード大学大学院に留学。その間、防府市で出会った米国人のバーク・ハードナ博士から大学進学のための奨学金をいただいたこと、またヘルシンキ・オリンピックで栄光の金メダリスト（レスリング）となった石井庄八さん（中央大学出身）との出会い、電通時代の思い出話など披露された。電通常務取締役を経て、(株)ビデオリサーチ取締役社長であり、エッセイストとしても活躍されている。講演は大好評であった。



感動を呼んだ荻原益三氏の講演

- * 社会福祉活動委員会がスタートする。(4月)
- * 若手会「地引網のつどい」で盛り上がる。(7月)
- * 音楽鑑賞サークル同好会、多彩な活動展開。(5、9、12月)

- 国内、海外ともに大型合併、連携が相次ぐ。
- バブル経済崩壊後の経済危機からようやく脱出する。
- 3つの課題（雇用・設備・責務）の本格的な解消に乗り出す。

「緑と歴史散歩」サークルに参加者ふえる

足元の歴史から楽しく追いかけていく

平成 12 年 3 月より「園芸サークル」から「緑と歴史散歩」の会に改称、正式に登録された。(緑の鑑賞と小さな歴史を知ろう)、これが緑と歴史サークルのモットーとなった。平成 11 年からの活動を見ると、10 月〔藤沢宿をたずねてⅠ〕、12 月〔藤沢宿をたずねてⅡ〕続いて 12 年 3 月には〔江の島の歴史散歩〕を実施。当初 4 名の「園芸サークル」からスタートして、〔江ノ島〕では、29 名と参加者が増えている。「日本の現状そして将来を見つめるためには、まず歴史を勉強せよなどと大袈裟なものではありませんが、足元の歴史から、これを楽しみ追いかけて、長く続けていこうと思っています。」(緑と歴史散歩サークル幹事・大森重男)の意図は、広がりを見せて、楽しい機会をつくっている。

【第 76 回箱根駅伝】往路・復路を力走する

戦前の予想を覆して総合 3 位の健闘

駅伝ファンにとっては、正月の楽しみより箱根駅伝観戦のほうがもっと楽しみだという方がたくさんおられる。今年の箱根駅伝の戦前の予想では、本命・駒沢、対抗・順天堂、神奈川、山梨学院、そして中央が挙げられていた。どんなドラマが繰り広げられるか、わくわくするところである。1 区は、中央の板山選手は堅実な走りで 4 位。2 区の池田選手(1 年)は繋ぐも、9 位



8 区を力走する中央大学の選手と沿道の声援

となり、ようやく 3 区、4 区で 7 位を確保する。5 区は、注目される中央の藤原選手(1 年)。グイグイ飛ばして、4 位まで押し上げ見事に区間賞を獲得。翌日の復路は 6 区永井選手(区間賞)、7 区野村選手(1 年)が健闘して 2 位をキープ。8 区花田選手もよく走り、トップに迫る。9 区で 3 位(中川選手)となり、10 区の宇野選手は 3 位でゴールとなった。「今回は、戦前の予想を見事に覆した健闘で、総合 3 位に堂々と入賞した力走は大いに讃えてあげたい」(箱根駅伝応援担当副会長・時枝誠)と賛辞を惜しまなかった。

- * 「創立 5 周年」記念行事プログラムによる行事の始動。
(日帰り親睦バス旅行、海外旅行、記念式典、活動展、レセプション、会報記念号発刊など)
- * 第 1 回神奈川県合同白門会発足。(11 月)

- 沖縄サミット(主要 8 カ国首脳会議)で IT 革命が最重要課題となる。(7 月)
- 主要企業、3 期ぶりの増収増益(2000 年 9 月中間連結決算)で業績回復へ
- IT 戦略会議において、IT 国家基本戦略を策定。(11 月)

〔創立 5 周年記念〕（あいさつ・橋本篤治会長）

湘南の風土の中で生き甲斐に繋がる活動を

活き活きとして、楽しく多彩な活動を進め、375名の会員の皆様と親睦・交流の輪を広げ、母校の発展と地元文化への貢献をめざし中央大学学会藤沢支部「藤沢白門会」は、大きく前進してまいりました。藤沢白門会は、このきびしい経済環境の中で、これまで多彩な活動をすすめて、数々の立派な実績をつくってまいりました。活動回数は実に年間 130 回となりました。この湘南の風土の中で、白門の、のびのびとした気持ちでよき生き甲斐に繋がる活動を今後も進めてまいります。



創立 5 周年記念祝賀レセプションに出席した会員・家族

〔創立 5 周年記念〕

盛大な記念式典・行事で成果を表示

創立 5 周年行事の年として、日帰り親睦バス旅行（12 年 5 月）、海外旅行（12 年 10 月）、1泊旅行（12 年 11 月）、記念式典等（2 月 18 日、藤沢グランドホテル、4 部構成）が実施された。



車椅子贈呈の目録を渡す橋本会長と山本藤沢市長

記念式典（第 1 部）では、橋本篤治会長の挨拶にはじまり、多くの来賓の方々のご出席とご祝辞をいただいた。その際、車椅子 3 台を藤沢市社会福祉協議会に贈呈。一般公開学術講演会（第 2 部）では、渥美東洋・中央大学教授による『現代社会の不安とそれへの対応』。サークル同好会、委員会活動展（第 3 部）を紹介。（第 4 部）祝賀レセプションでは、ウエルカムドリンクではじまり、半蔵灘子のアトラクションで盛り上げた。最後に加藤武記念行事実行委員長による宣言と謝辞でイベントの幕を閉じた。

- * 「創立 5 周年」記念式典・一般公開学術講演会・祝賀レセプションを挙げる。（2 月）
- * 社会福祉活動委員会の募金活動（会員延べ 982 人）により、藤沢市に車椅子 3 台贈呈。
- * ホームページ「藤沢白門会HP」開設（10 月）

- 経済のグローバル化に伴い製造業の空洞化が進行する。
- 国内産業の競争力回復を目指し施策検討の産業競争力会議がスタート。（11 月）
- 「改革なくして成長なし」「経済財政白書」を公表する。（12 月）

〔第 8 回定例総会〕で円滑にバトンタッチ

名誉会長には橋本篤治氏、新会長に加藤武氏が就任

湘南の風がそよぐ中、第 8 回の定例総会は、藤沢産業センターで幡場正宏副会長の司会により始められた。橋本議長の進行で議事に入り、議案はそれぞれ可決・承認された。同総会において、橋本篤治会長を名誉会長に、加藤武副会長を新会長に、就任が満場一致で円滑に決定された。また中央大学 125 周年の募金についても、対応方針が了承された。懇親会は、石原昭憲理事の司会でスタート。来賓の中央大学常任理事の浜田惟道氏から「創立 125 周年の募金へのご協力をお願いしたい。藤沢支部の活発な活動は、大いに評価している。特に地域への貢献、他大学との交流はほかにないものである。」とのご挨拶をいただいた。また学会副会長の佐藤光信氏からは、箱根駅伝で中央の黄金時代に 3 区、8 区で区間賞を獲ったエピソードが披露され、改めて感激のひとつときとなった。

〔積極的な社会福祉活動の成果に注目〕

共生フィールドを創るために

藤沢白門会が地域の社会福祉にささやかでも貢献するために、障害者や高齢者貸し出しの車椅子を藤沢市に贈呈しようと会員同士が役員会、総会、新年会またサークル同好会の集いなどで募金活動を始めた。その結果、平成 13 年の創立 5 周年記念行事で車椅子 3 台、そして今年の 1 月「新春の集い」で車椅子 3 台を贈呈することができた。

活動内容を見ると、〔福祉施設関係のもの〕としては、傾聴ボランティア、囲碁、将棋の相手をするボランティア、陶芸のボランティア、催事への参加が挙げられる。また、〔障害者スポーツ（ローリングバレーほか）のもの〕としては、毎月の定例練習会、各種大会へのサポーターとして参加している。これからの活動が注目される。



社会福祉活動・ローリングバレーボール大会で交流する

- * 定期総会で名誉会長に橋本篤治氏、新会長に加藤武氏が就任。(4 月) * ゴルフサークル同好会、第 10 回コンペを開催。(6 月)
- * 緑と歴史散歩サークル同好会、回を重ねて盛況。(6 月)

- 史上初の首脳会談、日朝交渉により拉致の 5 人帰国。(9 月)
- 総合デフレ対策〔改革加速のための総合対応策〕(政府) を決定、新たな産業再生機構の創設を盛り込む。(10 月)

追悼：輝ける活動の日々よ

橋本篤治名誉会長逝く

平成 15 年 8 月 5 日早朝、橋本篤治名誉会長は、不帰の人となられた。藤沢白門会の設立、そして初代会長として多大の貢献をされた。謹んで哀悼の意をささげる。斎場祭壇は、遺影とともに真ん中にバレーボールと V (Victory) 字型をかたどった菊の花で埋め尽くされており、在りし日の活躍が偲ばれた。かつて中央大学バレーボールの主将、監督、総監督として黄金時代を築き挙げた、この間、全日本選手権 5 連覇、全日本大学選手権 (男子) 最多優勝 12 回という偉業を達成。また、地元では、藤沢バレー協会会長、藤沢スポーツ財団理事など要職を通じて貢献された。(藤沢白門会『会報・第 8 号』では、「追悼：橋本篤治名誉会長」として特集した。)

〔音楽鑑賞サークル同好会の活動〕

多彩な音楽プログラム、ビッグバンドの迫力に興奮

◇年が明けて 2003 年の音楽鑑賞会は、2 月 23 日のヤクルトホールの「中央大学音楽研究会スウィング・クリスタル・オーケストラ第 45 回演奏会」から始まった。普段、なかなか耳にすることができないジャズナンバーを楽しむことができ、ビッグ・バンドの迫力に圧倒された。興奮さめやらぬ会場を後に、参加者有志が銀座の一隅で軽食を取りながら、懇親を深め懇親を期して散会した。

◇梅雨入り間近の 5 月 31 日、折りしも 5 月には珍しい台風の到来で大荒れの天候。第 2 回目の中央大学音楽研究会の OB 男声合唱団「白門グリークラブ」〔ジョリー・フェローズ・ジャズ・オーケストラ〕のジョイント・コンサートを開催。

◇長引く梅雨の 7 月 19 日には、新宿でライブを始めてから今年で第 10 回の節目を記念して、〔南啓一とモレナ・エコーズ新宿ノアノア・ライブ第 10 回記念コンサート〕を開催した。お世話になったモレナ・エコーズの末永い演奏を期待しつつ、ライブ会場を後に参加者ともども来年を楽しみに家路に着いた。(音楽鑑賞サークル幹事・座間毅：『会報・第 8 号』より)



迫力ある演奏に満足した面々の表情

- * 藤沢白門会初代会長・名誉会長 橋本篤治氏逝去される (8 月)
- * 藤沢市議会選挙で藤沢白門会顧問の保谷秀樹氏、原輝雄氏が見事当選。(4 月)
- * 中央大学創立 125 周年記念事業募金への協力体制。

- 「経済財政報告」(03 年度) は、高齢化と人口減少の急速な進展とそれに伴う国民負担の増加への抜本的な改革を求める。
- イラク復興支援国会議で、日本は無償資金協力の拠出を表明。(8 月)

〔創立 10 周年へ向けて始動〕 加藤武会長の表明

実行委員会の発足と事業計画の実行態勢づくり

藤沢白門会は、来年 12 月で創立 10 周年を迎えるため、実行委員会を発足した。藤沢市と姉妹都市である松本市を中心に活動している中信支部との姉妹支部連携を目玉事業とし、5 月に神奈川県下支部・白門会の合同ゴルフコンペ、6 月に親睦バス旅行、8 月に地引綱大会、11 月 26 日には公開講演会・コンサート・記念式典・活動展・祝賀レセプション、平成 18 年 2 月に海外旅行と記念誌の発行など決定し、準備を進めている。

9 年間を総括すると、①仲良しクラブ、②活発な活動、③母校に寄与、④地元文化・福祉に寄与、⑤他大学同窓会との親睦交流、の 5 点に特色がある。

(1) 現在の会員数は、371 名であるが、あらゆる行事を通じて、会員相互の親睦を図るとともに、楽しい仲良しの会となっている。(2) 7 つの運営委員会と 9 つのサークル同好会があり、それぞれ活発な活動を展開している。昨年度は延べ 176 回の活動を行い、近年は百数十回で推移している。(3) 母校の創立 125 周年募金に対し、5 カ年計画を立てて協力し、観桜会、ホームカミングデーなどの諸行事に積極的に参加している。(4) 5 周年時に発足した社会福祉活動委員会が中心となり、あらゆる機会に募金を行い、4 年前から社会福祉協議会に高齢者・身障者への貸し出し用車椅子を 10 台贈呈している。また、社会福祉施設を訪問し、囲碁などを通じて入所者との交流を図るボランティア活動を定期的実施している。(5) 藤沢・湘南地域の大学同窓会に呼びかけて、平成 9 年から親睦交流を開催している。当初は 8 大学であったが、現在では 14 大学に拡大し、湘南ユニバースティッククラブ (SUC) として、年に 1 回の交流会を行っている。また、神奈川県下には、藤沢白門会のほか、横浜、川崎、茅ヶ崎、小田原、逗葉の 6 つの地域支部・白門会があり、年 1 回の連絡協議会と県下合同白門会が開催されており、積極的に参加し、交流を深めている。



ゴルフを楽しむサークル同好会の和やかな雰囲気

創立 10 周年を迎えるにあたり、過去に築き上げてきた 5 大特色を再認識して、それぞれの項目をより一層充実させ、さらに羽ばたいていきたいと考えている。

- * 定期総会において、10 周年プロジェクト活動方針確定。(4 月)
- * 参議院選挙で千葉景子氏 (藤沢白門会顧問) が堂々 4 回目の当選。(7 月)
- * 中央大学学生会中信支部 (長野県松本市) との姉妹支部連携なる。(11 月)

- 自由貿易協定 (FTA) の交渉により、「東アジア共同体」への形成態勢がすすむ。
- 企業の持続的発展を図る観点から「企業の社会的責任」(CSR) が新たな経営課題として台頭する。

〈創立 10 周年記念・国内日帰りバス旅行〉

好天気 of 三浦半島・岬めぐり

藤沢白門会創立記念行事として、国内日帰りバス旅行を 6 月 4 日（土）三浦半島・岬めぐりを挙行政した。数日前の天気予報から傘マークが付き始め、梅雨のはしりかと心配されたが、なんの、なんの好天気に恵まれ、持参した傘が日傘になるような絶好の行楽日和のなか、総勢 34 名、トイレ付デラックスバスにて藤沢を出発した。コースは、百年前の明治 38 年 5 月、ロシアバルチック艦隊を撃沈した「三笠」記念艦、房総半島がすぐ近くに見える観音崎、百万本のポピーが咲き乱れていた「くりはま花の園」。マグロで有名な三崎港ララミューでの奥様へのお土産購入。城ヶ島県立公園での酔い覚ましのハイキングなど楽しい一日を過ごすことができた。



戦艦三笠公園
うしろに東郷平八郎元帥の立像

「特に車中懇親会、また油壺海岸などでのシーフード・バーベキューでは、お店の酒類はすべて飲みきっての大宴会でした。」（旅行サークル幹事・若林貞行）と楽しい旅行の様子を語る表情は和やか。夕方、6 時、無事藤沢に到着し、来年 2 月の海外旅行「台湾 4 日間の旅」での再会を期して散会となった。

〈創立 10 周年記念・若手会主催の地引網大会〉

浜辺の大祝賀パーティーとなる

藤沢白門会の若手会主催による恒例の地引網大会は、創立 10 周年記念行事として 9 月 3 日に例年よりパワーアップし鵜沼海岸の堀川網で開催された。今年は、会員・家族はじめ県下白門会、慶応義塾大学藤沢三田会、早稲田大学藤沢校友会、また社会福祉法人光友会・神奈川ワークショップの方々参加を頂き、103 名という大盛況となった。ただ心残りだったのは、当日はるか南にあった台風の影響で波が高く、網を引くことができなかつたこと。

そこで、急遽変更して青天の下〔浜辺の大祝賀パーティー〕となった。参加の方々からの各種お酒、葡萄などが寄せられて豊富なメニューの数々。おいに食べ、飲み、語り、またスイカ割りに興じるなど盛り上がった。お土産に「釜揚げしらす」を持ち帰りいただくなど、楽しい 1 日を過ごすことができた。「来年こそは、台風が邪魔されず皆様に網を引いていただき、大漁といきたいもの」（若手委員会委員長・小山勝男）とスタッフの意気は高い。



浜辺で食べ、飲み、語る賑わい

- * 「新春のつどい」会員、家族、各層の参加で賑やかに開催。（1 月）
- * 「創立 10 周年」記念学術講演会・祝賀レセプション・記念コンサート（一般公開）・記念式典・活動展・祝賀レセプション・藤沢白門会讃歌発表—グランドホテル湘南。（11 月）

- 日本企業の海外投資への積極的対応、業績上昇の動きが目立つ。
- 衆議院解散・総選挙で小泉旋風のもと、自民党が大幅に議席（296 議席）を増やす。（9 月）

[錦秋の信州へ]

中信松本支部と感動の旅

藤沢白門会創立 10 周年を記念して、藤沢市と姉妹都市である長野県松本市を中心に、半世紀以上の活動歴のある学会《松本支部》との姉妹支部連携がなされた。平成 17 年 11 月、われわれの創立記念レセプションに参加いただいた中信支部の藤沢会長はじめ主要役員の方々との「松本での交流会を」という夢の企画が実現した。

18 年 10 月 13 日午前 7 時、藤沢駅南口・小田急デパートを出発。神奈中バスの参加者は、7 組のカップルを含めて 41 名。シートはほぼ満席状態。1 日目は、中央道、大王わさび園へ。戻ってよいよ松本城。午後 4 時には、日本書紀にも登場する筑摩の湯「美ヶ原温泉」の豪華ホテル「翔峰」へ。6 時半から中信支部の方々を加えて総勢 73 人の大宴会となった。白門会の伝統力、団結力の強さ、粋の良さ、楽しさを示した時間であった。

明けて 14 日。松本電鉄の社長である中信支部副支部長・滝沢徹氏が、自らマイクを握ってガイド役を担当いただいた。アルプスの散策を楽しんだ後は、中信支部・藤沢会長の経営する「五千尺ホテル」でご自慢のフランクのランチ。藤沢に戻ってきた時は、午後 8 時半、感動と感激の 1 泊りバス旅行は、終了した。



中信支部との盛り上がった交流場面

大満足の第 9 回地引き網大会

平成 18 年 10 月 7 日、三浦半島、富士山、伊豆半島、さらには伊豆大島間で望める、まれにみる秋晴れの下、藤沢白門会若手委員会主催の慣例行事「地引き網大会」が総勢 59 名の参加を得て、盛大に開催された。かます、しらす、えぼだい、あじ、いさき等、期待に十分こたえる収穫でした。会員相互の懇親も大いに深まりました。

- * 藤沢白門会の姉妹支部である中信松本支部との連携と交流（11 月）〈成功と感激の 1 泊りのバス旅行〉
- * 地域社会の貢献。車いす 14 台贈呈により藤沢市社会福祉協議会より感謝状を受ける。

- 基本地価、16 年ぶりに上昇。国土交通省の発表によると、東京、大阪、名古屋の 3 大都市圏で上昇した。
- 猛威をふるうノロウイルス。ノロウイルスが原因とみられる感染性胃腸炎が最大の流行になっていることが判明。

〈第 18 回母校ホームカミングデー〉センチメンタルジャーニー

〈駿河台〉から（多摩キャンパス）へ

平成 19 年 10 月 28 日、からりと晴れあがった藤沢の空、東西にそびえる富士山は、われわれ会員の青春の日を思い出させてくれる絶好の条件が整った。午前 7 時、藤沢小田急デパート前から京急バスに乗車、同 15 分発車、横浜勢とドッキングして、8 時過ぎに「ここはお江戸か、神田の街か、神田の街なら大学は中央、の駿河台に向かった。変貌した駿河台から理工学部の後楽園校舎へ。

バスは、【司法の白門】の首位奪還を果たした法科大学院の市ヶ谷キャンパスの前を通り、多摩キャンパスへ。昼前に到着。陸上競技部を表敬訪問。ヒルトップで懇親会。後は行事を楽しみながら、それぞれの中央大学を堪能した。特に感激したのは、大学史企画展「駿河台の記憶」。さすがに会場は還暦過ぎの各員会員でいっぱいであった。



母校ホームカミングデーに参加した面々

〈第 11 回 SUC で大学間の盛んな交流〉

明大の名演出によった SUC 親睦交流会

第 11 回を迎えた SUC(湘南ユニバスティクラブ)。記録的な猛暑がやっと治まった 9 月 22 日、会場は定番となったグランドホテル湘南。当番校は明治大学校友会藤沢地域支部、総勢 163 名が出席した。テーブルには、大学別、年次別とは異なりお隣さん感覚の席、意外な出会いに歓声上がる。明大といえば、マンドリン演奏。「甲斐靖文とシェルプロローレンス」の登場。おいしい料理、楽しいおしゃべり、しゃれた音楽と 3 拍子そろって会は、最高潮に達した。

- * 「緑と歴史散歩サークル同好会」は 10 周年の多彩な活動を展開した。31 回にわたる講演と歴史散歩の実績。
- * 〈素晴らしきかな藤沢白門会〉(会長・加藤武氏) が活動の 10 年間を省みる。

- 日本の月探査衛星「かぐや」が打ち上げに成功 (9 月)
- 新しい国民の祝日が増える。「昭和の日」(4 月)
- 企業の海外進出において、アジア諸国の仕事が伸びる

新体制の「新春のつどい」盛大に

雨風強かった朝の天候から一転し、「新春のつどい」が開催される数時間前には、冬晴れのいい天候になった。

杉浦嘉昌副会長のリードによる藤沢白門会讃歌の斉唱でスタート。片岡久興会長による挨拶「3つの柱として会員間の親睦・母校への貢献・地元文化発展への貢献を大切にしていきたい」と力強く表明。続いて石原昭憲副会長より15名の新入会の報告、来賓の紹介があった。母校の辻本京朔常任理事、学員会佐藤光信副会長をはじめ、SUCからは慶応大学三田会、早稲田大学藤沢稲門会、また県下の白門会から横浜、川崎、茅ヶ崎、平塚、小田原から出席いただいた。

乾杯の労をとったのは、昭和16年経済学部首席卒業、92歳の長尾英市大先輩、当時の卒業証書を持参されご披露。しっかりとした口調で述べられると、会場からは驚きと敬意の声、拍手が沸きあがった。母校の歴史と藤沢白門会の深みを感じ、乾杯は祝賀の雰囲気でも盛り上がった。



河口湖旅行の楽しい表情（旅行サークル）

白門サロン会 楽しい語らいの場で盛り上がる

白門サロン会は（食し・飲み・語る）を課題のメインにして、1997年（平成9年）7月29日の第1回会合以来、すでに34回の催しが開かれた。2008年には、7月23日（水）に千葉景子会員に協力をいただき、参議院議長公邸訪問の機会を得た。その後法務省談話室に移動、皇居前の景色を眼下に望みながら、冷たい飲み物で疲れを癒した。

- * 藤沢白門会の第3代会長に片岡久興氏が就任。（4月）
- * 贈呈（藤沢白門会）の車いす（藤沢市スポーツ振興財団）で中学生が卓球を体験。

- 1ドルが100円を突破。東京外国為替市場で1995年11月以来の12年4か月ぶりの100円突破。（3月）
- ノーベル物理学賞、化学賞として日本の4人の学者（物理学賞—南部陽一郎氏、小林誠氏、益川俊英氏、化学賞—下村脩氏）が受賞した。日本が誇る快挙。（10月）

〈ゴルフサークル同好会〉

雄大な富士山のふもとでプレー

第 22 回ゴルフコンペは平成 21 年 7 月 30 日（木）、まじかに富士山を仰ぎ見ながらラウンドできる「富士山ゴルフクラブ」で開催された。このコースは、白門グリークラブOBである宮本康幸先輩が専務取締役として活躍されており、友人である藤沢白門会の座間先輩より紹介いただいたもの。会場して 46 年を迎えるだけに、落ち着いた雰囲気があり、各ホールは自然の地形を生かしゆったりとしたレイアウトされていた。さすが日本ゴルフ界の草分け的な存在、中村寅吉プロの設計したことをうなずかせる魅力溢れるコースであった。

わが藤沢白門会から 12 名がチャレンジしたが、11 名が 100 オーバー。いかに難しいかお分かりいただけると思う。プレーを楽しんだ夜の表彰式は、《北海道》で開催。同店長の川越さん（委員会）がコンペに初めて参加されたことで、夜の部ではたいへんお世話になった。

第 2 回若手懇親会ボウリングパーティー

若手委員会の会員を対象にした「第 2 回若手懇親会ボウリングパーティー」を平成 21 年 11 月 14 日の江の島ボウルにて開催。今回 6 名が新たに参加して、懇親の輪がさらに広がった。ゲーム終了後、江の島ボウル 1 階の C I Z A B A R でパーティーと表彰式を行った。大沼若手委員長の音頭で乾杯、歓談が弾んだ会となった。



新しいメンバーが加わったボウリングパーティー

- * レディース・サークル（前年発足）がいよいよ活動を展開。
- * 待望の「SUC」（湘南ユニバースディ・クラブ）の内規が定まる。

- 戦後最悪のマイナス成長、日本銀行が 2009 年度の実績成長率はマイナス 2%と予測。マイナス 2%は戦後最悪の数字となった。（1月）
- 総選挙で民主党が圧勝。第 45 回衆議院選挙が行なわれ、〈政権交代〉を掲げた民主党が 308 議席を獲得し圧勝した。（8月）

〈第 14 回 S U C 親睦交流会〉

盛況のなか天女の舞に魅了

秋晴れの好天に恵まれた平成 22 年 9 月 18 日（土）、第 14 回 S U C 親睦交流会がグランドホテルで盛会裡に開催された。今年は、東海大学同窓会神奈川ブロック湘南支部が幹事校で、湘南・藤沢地区の 17 大学から合わせて 150 名もの参加があり、わが中央大学藤沢白門会からは、加藤名誉会長、片岡会長、石原副会長等 15 名が参加し S U C の中核同窓会としての威容を遠慮なく発揮することができた。

アトラクションでは、藤沢で有名な「オリラニ フラ スタジオ」のみなさん、ハワイアンダンスでは、20 名を超す美しいダンサーの踊り。会場は天女の舞いに酔いしれた。



S U C の華麗なハワイアンダンスの妙技

〈緑と歴史散歩サークル同好会・第 40 回例会〉

秋の里山を楽しむ

第 40 回を記念した例会は、11 月 3 日の文化の日に、茅ヶ崎の香川から堤にかけての街中の歴史と秋の里山を楽しむ散策を実施しました。秋のさわやかな風が吹き抜ける 1 日、平野先生のガイドにより、相模線の香川駅を起点に、諏訪神社、地元の名刹「玄珊寺」、江戸期の名手が苦勞して開削した勘重郎堀～大岡越前守の菩提寺でもある浄見寺をめぐるコースを歩きました。まだ紅葉には早いものの江戸期の風情がそのまま残る佇まいは都会の中の一服の清涼剤。文化の日にふさわしく会員のみなさんの文化度も格段に向上した 1 日でした。

- * 「白門サロン」活動が加わり、母校創立 125 周年記念の（中央大学 vs 早稲田大学）交流試合を神宮球場で観戦、声援止むところ知らずの熱戦を楽しんだ（8 月）。
- * 好天に恵まれた「地引網大会」は、会員、S U C、子供らでにぎわい、懇談、交流で盛り上がった（9 月）。

- 円高 80 円台の攻防をめぐって産業界の必死の対応、海外日系企業の経営展開へのマイナス影響が深刻になる。（9 月）。
- 本年のノーベル化学賞に、北海道大学の鈴木章名誉教授（80 歳）とアメリカ・バドュー大学の根岸英一特別教授（75 歳）が選出された。この快挙に日本列島が沸いた。（10 月）

第15回 SUC 交流・親睦会

第1部・記念講演会 第2部・「がんばろう～東北」

藤沢市を中心とする湘南地域の15大学で結成するSUC（湘南ユニバーシティクラブ）の第15回交流・親睦会が平成23年9月24日、中央大学学生会藤沢支部が幹事校となり、15大学—148名の参加で華やかに開催された。まず、東日本大震災の被害者の方々への黙とう、そして第1部・記念講演「時局を読む」と題して、元法務大臣・千葉景子氏（藤沢支部顧問）が講演。第1部終了後、「がんばろう～東北」をテーマに親睦会へと移り、幹事校を代表して学生会藤沢支部・片岡会長より東北復興への熱い思いを込めた挨拶で、第2部がスタート。親睦を深める談笑の場となった。



音楽鑑賞サークル同好会

白門グリークラブ創団50周年記念演奏会

—ヴェテランの円熟した熱き名唱、中央大学マンドリン倶楽部100回記念演奏会・歴史と伝統を継承、名曲そして名演奏



クラブ「創団50周年記念第17回演奏会」（東京・北とぴあ）を鑑賞した。

2001（平成13）年に入ってから始めた中央大学音楽研究会スウィング・クリスタル・オーケストラ定期演奏会も第53回となりました。例年のとおり、今年も音楽鑑賞会がスウィング・クリスタル・オーケストラ第53回定期演奏会からスタートしました。第1ステージとラストステージにレギュラ・バンド（スウィング・クリスタル・オーケストラ）が登場。平成23年度最初の音楽鑑賞会は、男声合唱団（OB）白門グリークラブ

- * 母校創立125周年記念募金に際して目標額を上回り580万円となる。
- * 「絆」を深めて、さらなる前進の意気高く、平成24年新春の集い（1月）
- * 第15回 SUC 交流・懇親会で「がんばろう～東北」の輪広がる。

- 東北地方太平洋沖でM9.0の大地震が発生（東日本大地震）し、大津波・福島第1原子力発電所（東京電力）の放射性物質が拡散により、甚大な被害を蒙る。（3月）
- 大阪市長・大阪府知事の同日選挙において、いずれも大阪維新の会の候補者が当選（11月）

第 21 回ホーム・カミングデー

「中大の絆」宣言で東日本震災被災地の復興を



第 21 回を迎えたホーム・カミングデーが、平成 24 年 10 月 28 日（日）中央大学多摩キャンパスで 3 年ぶりに開催された。イベント「親子対談」では、ロンドン五輪フェンシング男子団体・銀メダリスト・千田健太氏と父上の千田健一氏（中大卒）により、「被災地に勇気、亡き友に贈るメダル」のもとに、トークが行なわれた。

「中大の絆」として、企画に参加した 35 支部の代表者が支部の幟や旗を持って、メイン・ステージに上がった後、全支部を代表して、い

わき支部長が「絆宣言」を行った。全員が絆を深め、東日本大震災被災地の早期復興を祈念した。

写真サークル同好会

撮影会と作品品評会の活動

撮影会は、10月13日（土）、11月9日（金）の2回開催。

10月13日には、3サークル合同の「西湘古民家めぐり」にサークルメンバーの4名が参加。大雄山、最乗寺、瀬戸屋敷見学など旅行を楽しみ、学びながら、各所で撮影する。

11月9日には、「紅葉と富士」をテーマに5名が参加。クラブツーリズム撮影バスツアーにて、富士五湖をめぐる。第1ポイントは、河口湖の大石公園、紅葉が真っ盛りで富士山もよく見えた。第2ポイントは、精進湖でコメント富士。第三ポイントは、山中湖のダイヤモンド富士を狙うが、夕方から雲が出て、富士山がご機嫌ななめ、残念。次回に期待。

作品の品評会は、11月21日（水）産業センター会議室にて開催。メンバーが一堂に会し、日ごろ、頑張って撮った写真の評価と「新春のつどい」に出展する作品を選定した。



- * ホーム・カミングデーで、「中大の絆宣言」に参加（10月）
- * レディース会が新入会員を加えて開催。（駿河台時代、多摩時代に話題が広がる）（11月）

- レスリングの吉田沙保理選手が世界選手権で優勝。史上最多となる世界大会 13 連覇を達成（9月）
- 19 人目の日本人ノーベル賞受賞者として、京都大学山中伸弥教授がノーベル生理学・医学賞を受賞し、日本中が沸いた。（10月）

追悼多彩なご活動とご貢献

加藤武名誉会長逝去さる



加藤武名誉会長は去る平成25年11月6日逝去された（享年75歳）。葬儀は平成25年11月10日にカルチャー BONDS 藤沢において、多くの会葬者のもとに、しめやかに執り行われた。

多彩なご活動は、職域、地域を越えて人々に深い感銘を与えて来られた。なかでも、藤沢白門会への多大な貢献は特筆される所である。かつての活動分野における社会教育功労者文部

大臣表彰受賞、ボーイスカウト韓国連盟国際親善有功章受章などにも社会的貢献への大きさが表明されている。

緑と歴史散歩サークル同好会

講座・散策・食事を満喫する

第47回例会（講演会・八重の桜とその背景）は、平成25年2月19日に開催。文芸評論家の尾島政雄氏による新春講演会からスタートした。講演会では、NHKの大河ドラマ「八重の桜」にちなみ、八重の出身地である会津藩の歴史や〈ならぬものはならぬ〉という会津士魂の藩風が、まず紹介された。該博な知識と愛情あふれる尾島先生の講演。参加者一同大きな感動に浸ったひとときであった。

第48回例会は、平成25年7月5日、二宮の川匂神社を訪ねる。延喜式で相模第2位（第1位は寒川神社）の格式を誇る川匂神社の境内を散策した。



- * 第16回地引き網大会、快晴のもとに100名を超える参加者で賑わう（8月）
- * 加藤武名誉会長逝去される（11月）。『会報・第18号』において、在りし日のご活躍を偲び哀悼の意を表す。

- 長嶋茂雄氏と松井秀喜氏に対し、国民栄誉賞の同時授与を正式決定。（4月）
- 参議院議員通常選挙が行なわれ、自由民主党が圧勝し、自公連立与党が優位となり、衆参両院のねじれ状態が解消された。（7月）

第20回定期総会

好評を得た岡本弘史先生の医療講演

第20回定期総会は、平成26年4月26日（土）午後3時より藤沢市民会館にて開催された。中央大学学員会副会長・関正氏ら来賓はじめ80名近い会員が参加。第1部・医療講演、第2部・定期総会、第3部・懇親会が進行した。

医療講演では、湘南藤沢徳州会病院脊椎センター・脊柱側湾症センター部長・岡本弘史先生から「腰痛について、腰部脊柱狭窄症とすべり症の脊椎手続き」のもとに、腰痛の原因と治療方法について講演いただいた。

定期総会では、創立20周年記念行事計画などが報告され、議案承認。懇親会では、藤沢白門会讃歌の斉唱のあと新入会員の紹介などがあり、盛り上がりを見せた。



〈白門サロン会〉

開催50回と回を重ねて好評

第49回のサロン会は、平成26年6月22日（日）に「デニース・タルタル藤沢店」に19名が集まり、石窯焼きマルゲリータピццаなど特製料理を楽しんだ。第50回サロン会は、平成26年11月23日（日）に中華料理店「清香園本店」で開催、17名の会員が参加した。



白門サロン会は、平成9年7月29日に「銀座アスター藤沢店」で第1回を催して以来、実に50回を迎えることになった。

- * 藤沢市社会福祉協議会より、藤沢白門会は車椅子寄贈に対して表彰される。
- * 第7回若手懇親会ボウリング大会&パーティで懇親さらに深まる。(11月)

- 消費税が5%から8%に。17年ぶりの増税、公共料金等も値上がりする(4月)
- 「富岡製糸場と絹産業遺産群」がユネスコの世界遺産に登録。(6月)

〈新春の集い〉

さらなる発展をめざし決意新たに



平成27年「新春のつどい」は、平成27年1月30日（土）に午後4時より藤沢市民会館において、来賓、会員など含め100名を上回る参加で賑やかに開催された。はじめに藤沢白門会讃歌を斉唱。片岡久興会長は、挨拶のなかで「藤沢白門会創立20周年を成功させたい」と力強く言及された。来賓の中央大学・林勘市常任理事、学会会の大木田守副会長から祝辞をいただいた。恒例となった藤沢市への車椅子贈呈では、車椅子2台が目録とともに鈴木恒夫藤沢市長に手渡された。

賑やかな懇親会、アトラクションへと移り、ジャズシンガー西村協さんによるコンサート、お楽しみ福引会で大いに盛り上がった。名残尽きないなか、校歌、応援歌の熱唱の後、澤田英樹親睦行事担当副会長からお礼と閉会の辞があり、めでたくお開きとなった。

〈旅行サークル〉

好天に恵まれた信州・松本の旅

信州・松本の旅は、初夏を思わせる好天のなか6月6日（土）、7日（日）の両日にわたり開催。姉妹支部として交流をもつ長野県中信支部総会への出席、市内観光・散策を織り込んで、それぞれ快適な機会となった。小田急、JR（往復）による車中の旅も一興。車窓からの情景に眼をやりながら、メンバーの交流場面が見られた。

総会では、中信支部の小林治雄支部長の挨拶、学術講演として中央大学経済学部教授の佐々木信夫先生による「人口減少時代の地方創生」。懇親会では、中信支部の躍進を示して盛り上がりを見せた。学会会副会長の高嶋民雄氏から挨拶があり、藤沢白門会片岡会長からは中信支部と藤沢白門会の姉妹支部交流のエピソードが紹介され、両支部の強いきずなが披露された。

松本市内は、城下町の雰囲気を変えた街づくりの時代バランスが印象的であった。中信支部の方々のお世話に感謝して帰路に着く旅となった。

- * 中央大学学会の第1回「支部会報コンテスト」において、藤沢白門会『会報』が優秀賞に選ばれ、賞状と副賞を授与された。（5月）
- * 藤沢白門会創立20周年記念式典・学術講演会・懇親会を藤沢市民会館にて盛大に開催（11月14日）

- 北陸新幹線が開業。東京・金沢間が最短2時間28分で結ばれ、北陸の新時代が幕を開けた。（3月）
- 2015年のノーベル医学・生理学賞として大村智氏（北里大学特別荣誉教授）、ノーベル物理学賞として梶田隆章氏（東京大学宇宙線研究所教授）に受賞されることが決定。（10月）

第 22 回定期総会開催

25 周年を見据えて新たな発展へ

4月24日(日)、藤沢市民会館第2展示ホールにおいて、第1部総会、第2部懇親会の通算で68名の参加で開催された。総会では校歌斉唱しその後、片岡会長のあいさつの中で、今年度は、医療講演会が日程の都合でできなかったと、昨年度はすべて20周年という冠のついた行事を行ったが、会員のみなさんの協力で成功することができたことに感謝したい、と表明。懇親会では、片岡会長の「今年を25周年のスタートとしていきたい」という力強いあいさつの後、来賓の林勘一中央大学常任理事、大木田守中央大学学員会副会長があいさつされた。石原昭憲相談役の発声で、宴が始まった。和気あいあいとした懇談の後、新入会員や初参加者の紹介が行われた。最後に、小山副会長のリードで、応援歌を全員で斉唱し、エールで締めた後、散会となった。



〈緑と歴史散歩サークル〉

平成28年度の緑と歴史散歩サークルは、恒例の例会を2回(第54回、55回)実施したほか、第54回例会では、川崎白門会主催の行事にも積極的に参加し、近年にない活動を展開した年であった。第54回例会(6月11日)では、一般公開された迎賓館赤坂離宮を見学し、第55回例会(10月30日)は日本の開国を担った横浜の開港史跡を散策した。

* 会長含め10名が長野県中信支部創立65周年記念式典出席する。(11月)

- G7伊勢志摩サミット開催(5月)
- 米国オバマ大統領が現職として初めて原爆被災地広島を訪問(5月)
- 小池百合子氏が東京都知事に当選(7月)
- 第31回オリンピック競技大会(リオデジャネイロ)開催(8月)
- 東京工業大学の犬飼良典教授がノーベル医学・生理学賞を受賞(12月)

第 20 回地引き網大会

8月19日（土）に、鶴沼海岸の堀川網で開催された。総勢で129名の参加者で大いに盛り上がった。片岡会長の乾杯でスタート。空模様を考慮してやや早めに地引き網を行った。結果は大漁とまではいかなかったが、まずまずの量で、参加者はとても楽しんでいた様子がうかがえた。地引き網以外にも宝探しゲームやスイカ割りの企画も織り込まれて、参加した子供たちは大喜び。バーベキューの方でも、天ぷらや焼きそばが振る舞われた。そして楽しい時間はすぐに過ぎてしまい、最後は小山副会長と横浜支部の菊田氏のエールで締めくくった。



〈第 21 回 SUC 親睦交流会〉

人間が他の人間に贈ることのできる最大の贈り物とはなんですか

10月7日（土）に、藤沢市民会館にて開催された。記念講演会は、湘南高校の校長と湘南学園の学園長を歴任された川井陽一氏の「二つの湘南から考える一明日の教育への展望」という演題で、川井氏の誠実な人柄と教育への情熱の溢れた印象深い講演であった。懇親会では、幹事校である早稲田大学藤沢稲門会の足立勲一郎会長のあいさつの、来賓の鈴木恒夫藤沢市長のあいさつと続き、湘南立教会の清水誠会長の乾杯の発声で宴がスタートした。催し物は、平成流し組合・パリなかやまさんによる昭和情緒あふれる流しであった。各テーブルを回りながらリクエストを受けたり、またみんなで歌ったりする場面があり盛り上がった。

- * 諏訪問幸平会員（リングネーム：諏訪魔）がプロレスラーとして藤沢に凱旋する。
- * 釣りサークル発足する。

- ドナルド・トランプ氏が第45代米国大統領に就任する。（1月）
- 第48回衆議院議員総選挙が行われ、自民党・公明党が議席の3分の2を超えて大勝する。（10月）

〈平成30年新春の集い〉

湘南の地から明るくいこう

1月27日(土)午後2時より、藤沢市民会館第2展示ホールにおいて、約100名の参加のもと開催された。川俣事務局長の開会の言葉に続き、藤沢白門会賛歌斉唱で幕を開けた。片岡会長のあいさつでは、箱根駅伝についての思いが述べられた。そして来賓の松原誠学会副会長、久野修慈学会会長のあいさつが続いた。石原昭憲相談役の乾杯の発声から懇親会へと進んでいった。恒例になっている藤沢市への車椅子贈



呈が行われた。今回で29台目となることが説明された。懇談会に花を添えたのは仲里悦子トリオの演奏だった。陽気なスタンダードナンバーのパフォーマンスで会場を大いに盛り上げた。最後に鉢蟬博顧問のリードによる校歌・応援歌を斉唱し、小山勝男副会長の辞により閉会した。

〈第27回ホームカミングデー〉

母校中央大学の力と誇りを語る



10月7日(日)、中央大学多摩キャンパスで開催された。今年は、昨年台風の影響で中止された白門駅伝も実施され、藤沢白門会から駅伝の参加者5名を含めた13名が参加した。

イベントの例としては、ビッグ座談会、はくもん寄席、評論家として活躍の「上念司氏」の講演会、白門駅伝などがある。

- * 役員の改選により新役員が誕生する。(4月)
- * ワインサークルが発足する。(9月)

- 第23回オリンピック冬季競技大会(平昌)開催。(2月)
- 将棋棋士の藤井聡太氏が、史上最年少15歳9ヶ月で七段に昇段した。(5月)
- 北海道胆振東部地震によって、液状化現象や土砂崩れが等の被害をもたらした。(9月)
- 京都大学の本庶佑特別教授がノーベル生理学・医学賞を受賞した。(12月)

新歓 BBQ 大会

6月22日(土)、若手会主催による新入会員歓迎 BBQ 大会が、片岡会長宅で開催された。新入会員6名を含む21名と子供2名の参加となった。西尾若手会会長のあいさつの後、片岡会長の乾杯の発声で BBQ 大会が始まった。当日は雨が降っていたので、室内でのスタートとなった。しだいに天気が回復したので、そのあと大きな庭に出てみんなで BBQ を楽しむひとときとなった。



〈第19回神奈川県下合同白門開催〉

神奈川ブロック旗のもとに



11月2日(土)、藤沢白門会が当番幹事となり、第19回神奈川県合同白門会を藤沢市民会館第一展示集会ホールにて開催した。2019年に学員会から寄贈を受けた「神奈川ブロック旗」を掲げての初会合となった。

第1部は経済学部教授の松丸和夫先生による「働き方改革と社会保障」と題した学術講演会、そして第2部は懇親会であるが、その最初に本学出身の田辺凌鶴氏の講談を拝聴した。懇親会は片岡会長のあいさつに始まり、間島常任理事、学員会山本副会長、藤沢市鈴木市長からあいさつをいただいた。横浜白門会の小田原支部長に乾杯のご発声をいた

だき歓談に入る。盛況のうちに会は進んだ。終了時間が近づき、恒例となっている校歌斉唱に続く本会の鉢嶺顧問のエール、続いて惜別の歌を全員輪になり肩を組んで合唱し、交流を深めた。最後に次回当番幹事となる茅ヶ崎白門会の藁科会長から次年度の合同白門会に向けた抱負が語られ、閉会となった。

- * 緑の歴史散歩サークルが都心キャンパスツアーを実施し、茗荷谷キャンパスと市ヶ谷田町キャンパスを見学する。(7月)
- * 会報に文芸・文化欄を新設する。

- 皇太子殿下が新天皇として即位され、元号が平成から令和となった。(5月)
- 消費税が10%に引き上げられた。(10月)
- 吉野彰氏がノーベル化学賞を受賞した。(12月)

第12回若手懇親ボウリング大会 & 懇親会開催

令和2年1月11日(土)、若手会主催によるボウリング大会&懇親会が、江の島ボウリングセンターで開催された。日頃からボウリングに親しんでいる人や、10数年ぶりにボウルに触る人など合計14名が参加し、盛況に行われた。各チーム3人ずつに分かれ、4レーンを使ってのゲームが午後2時半過ぎにスタート。和気あいあいとした雰囲気の中に、あっという間に3ゲームが終了し、順位を気にしつつ同センター内にある懇親会会場に移動。

懇親会は、西尾若手会会長のあいさつ、片岡会長の乾杯で始まり、大皿に盛られた食べきれないほどの料理と、飲み放題のアルコールも進み、歓談も大いに盛り上がった。そして参加者が気になっていた順位の発表となり、3位は高橋会員、2位は川崎会員、優勝は本間会員となり、優勝とハイスコア賞のダブルタイトルを獲得された。

社会福祉活動委員会

令和2年1月26日(日)に行われた新春のつどいでは、鈴木恒夫藤沢市長に車椅子2台を贈呈した。車椅子については、藤沢白門会の総会、新春のつどいをはじめとして、様々な行事の際に車椅子募金にご協力をいただき、毎年藤沢市に寄贈している。今後も地域貢献活動の一環として続けていきたい活動である。

さて男女共同参画社会や障害のあるなしに関わらず、共に生きることを目指した共生社会に向けて様々な取り組みがなされている。また少子高齢化社会や異文化交流などと相まって、これからの社会は、今までよりも人と人とのふれあいが大切になってくる。お互いの立場、考え方、生活習慣など相手のことについて理解が必要になってくると思われる。



コロナ禍

2月頃から大流行したコロナウイルスのため、世界中が深刻な状況になり、藤沢白門会の行事も中止や延期を余儀なくされた。

- * 藤沢白門会創立25周年記念式典を藤沢市民会館にて開催。(予定)
- * 会報を全ページカラー化し新装紙面となる。

- コロナウイルスが大流行して世界中が混乱状態になる。オリンピックの延期を含め、大きな行事が軒並み中止や延期となる。(2月～)

藤沢白門会『会報』総目次（創刊号～第二十四号）

●創刊号

祝辞	
中央大学理事長	内海 英男
中央大学学員会会長	大西 保
会長挨拶	
広がれ白門の輪 中央大学学員会「藤沢白門会」	橋本 篤治
会長メッセージ	
藤沢白門会の活動	
・初の会員親睦会開催	
・箱根駅伝総合優勝	
・設立総会（96 番目の地域支部で発足）	
藤沢白門会の規約、組織、役員など	

●第二号

会長あいさつ	橋本 篤治
会員随想	
学生競技者としての思い出	井上 治
サラブレッド血統分析	梅基 修
盛者必衰の理と人間としての心構	小川 晃
妻への「〇・三秒」の贈り物	杉浦 嘉昌
素顔の女優たち	田邊 豊
書票と鷹	服部 治
藤沢浮世絵ざんまい	番場 定孝
中央落語研究会のあれやこれや	深澤 宗一
藤沢白門会の活動	
藤沢白門会の規約、組織、役員など	
藤沢白門会会員名簿	

●第三号

会長あいさつ	橋本 篤治
会員随想	
棟方志功の魅力と出会い	今井 昭吉
日本語教師二十年 !!	北村 淳子
ビール雑感	杉森 淳
続・素顔の女優たち	田邊 豊
泣くな！日本代表選手	荻原 益三
菊にまつわる話	百瀬 茂
藤沢白門会の活動	
充実しつつある親睦行事とサークル・同好会活動	
第三回会員親睦会（新春のつどい）	
定例総会を盛大に開催	
レディス委員会活動スタート	
藤沢（湘南）地区内の大学同窓会が大集合	
第二回会員親睦バス旅行（中央大学ホームカミングデーに参加）	

箱根駅伝・力走するも及ばず（総合四位）
中央大学近況リポーター中央大学広報部
藤沢白門会の規約、組織、役員
藤沢白門会会員名簿

●第四号

会長あいさつ	橋本 篤治
<中央大学リポート>	
最近の大学事情	瀧野 秀雄
会員随想	
豊かな趣味は豊かな人生に通ずる	長谷川武夫
いざ帰りなん	寺下 富雄
流通業雑感	細田 實
書	大神田葉子
昨今の経営課題雑感	神沢 弘一
たかが甲子園 されど甲子園	谷 彭元
初めての海外旅行	林 孝靖
特別寄稿	
ボーイスカウト活動と国際交流	加藤 武
いま帰りました。吉太郎	名當 英臣
<総会講演抄録>	
北欧の街、ヘルシンキの雨	荻原 益三
皇后陛下の思い出「疎開の地・くげぬま」	番場 定孝
藤沢白門会の活動	
充実しつつある親睦行事と活発なサークル・同好会活動	
ゴルフ／旅行／囲碁／音楽鑑賞／テニス／写真／園芸／麻雀／白門サロン	
フラワーアレンジメント講習会で楽しく	
第七五回箱根駅伝回想	
第二回藤沢（湘南）地区大学同窓会親睦交流会盛大に開催される	
第三回会員親睦バス旅行を実施	
会員親睦会「新春のつどい」に一三〇名参加	
定例総会大いに盛り上がる	
藤沢白門会の規約、組織、役員	
藤沢白門会会員名簿	

●第五号

会長あいさつ	橋本 篤治
<最近の大学事情>	
21 世紀に向けての総合的な改革	濱田 惟道
会員随想	
ヘルシンキ・オリンピック大会の思い出	井上 治
私と保安と平和憲法と	幡場 正宏
田中角栄と田中土建工業	若林 貞行
モンゴル乗馬紀行	瀧野 秀雄

特別紙面

加藤武副会長 文部大臣表彰される
 ジョイント・コンサートが交流、親睦のステージに
 座間 毅
 共に生きる（社会福祉活動委員会の発足） 杉浦 嘉昌
 「創立五周年記念の行事の展開へ参加を」
 創立五周年記念品決まる！
 藤沢白門会の活動
 ますます活発化する親睦行事サークル同好会活動
 緑と歴史散歩／囲碁／ゴルフ／音楽鑑賞／旅行・
 サークル／写真／テニス／ドライブ／白門サロン
 秋晴れの親睦バス旅行
 第七六回箱根駅伝観戦記
 第三回藤沢（湘南）地区大学同窓会
 親睦交流会盛大に開催される
 二〇〇〇年「新春のつどい」
 フラワーアレンジメント（レディス会）
 「地引網のつどい」で盛り上がる（若手会）
 平成十二年定期総会
 藤沢白門会の規約、組織、役員
 藤沢白門会活動状況報告
 藤沢白門会会員名簿

●第六号

会長あいさつ 活動回数年間 130 回 橋本 篤治
 <創立五周年記念祝辞>
 母校の創立百二十五周年
 記念行事の推進にご支援を 阿部 三郎
 藤沢支部創立五周年を祝す 大西 保
 創立五周年記念行事
 創立五周年記念式典等盛大に開催
 海外旅行（シンガポールの旅）
 会員活動・作品展への熱き思い
 福祉活動する目線
 国内旅行（伊豆高原温泉親睦旅行）
 会員随想
 箱根駅伝と私 眞田 芳憲
 二十一世紀に伝えたいこと 保谷 秀樹
 ラオス食べある記 高島良太郎
 私のジョギングについて 城崎 芳彦
 藤沢白門会の活動
 サークル活動に延 374 名が参加
 テニス／白門サロン／音楽鑑賞／写真／麻雀／
 囲碁／緑と歴史／ゴルフ／ドライブ
 第四回藤沢（湘南）地区内大学同窓会
 神奈川県白門会連絡協議会が発足
 箱根駅伝（第 77 回）往路優勝なる
 「地引網のつどい」で活気
 ホームページ藤沢白門会の開設
 平成十三年度定期総会
 藤沢白門会の規約、組織、役員
 藤沢白門会会員名簿

●第七号

会長（支部長）就任にあたって 加藤 武
 会員随想
 学員会改革への提案 中津 靖夫
 『ホタル』と戦後の終わらぬ方々 小川 晃
 中央大学に学びボクシング部選手育成に
 かけた五十年 柳谷 力
 市議会新人議員いま奮戦中 三輪裕美子
 藤沢白門会の活動
 定着した親睦行事・楽しいサークル・同好会活動
 親睦行事並びにサークル（同好会）行事等計画表
 藤沢白門会親睦行事関係報告書
 サークル・同好会活動状況一覧表
 藤沢白門会のあしあと
 旅行サークル同好会／囲碁サークル同好会／音楽鑑
 賞サークル同好会／ゴルフサークル同好会／写真
 サークル同好会／緑と歴史散歩サークル同好会／ド
 ライブサークル同好会／麻雀サークル同好会／白門
 サロン同好会／テニスサークル同好会
 定期総会盛大に開催される
 第五回藤沢（湘南）地区大学同窓会
 第六回会員親睦バス旅行を実施
 会員親睦会「新春のつどい」
 第二回神奈川県合同白門会
 馬籠宿・妻籠宿 木曾路の一日旅行記
 箱根駅伝観戦（第 78 回）
 共生のフィールドを創るために
 ～社会福祉活動報告～
 障害者の壁を越えて 原 輝雄
 藤沢白門会の皆さんに感謝 藤原 勝雄
 三度目の祭りばやしが帰って来る 横山 孝
 パソコン教室の開催報告と今後の予定 井上 泰博
 藤沢白門会の規約
 藤沢白門会会員名簿

●第八号

橋本篤治名誉会長を偲び、その御意志である
 「仲良しクラブ的藤沢白門会」を！ 加藤 武
 追悼！ 橋本篤治名誉会長
 弔辞 山本 捷雄
 弔辞 あなたの教え子たちを代表して 又吉 一成
 弔辞 篤さんを偲ぶ 沼上 晃
 橋本名誉会長との思い出 西島 一光
 藤沢白門会に賭けた篤さん 佐藤 洋司
 追悼 橋本篤治氏を市長に！！
 市議若手が動いた思い出 番場 定孝
 橋本篤治名誉会長のご逝去を悼む 小田 正二
 篤さんとの思い出 田辺 豊
 感謝 池田 謙次
 橋本名誉会長を偲んで 片岡 久興

橋本名誉会長のモットーに一歩でも近づく

橋本先輩を偲ぶ
橋本監督を偲んで
橋本さんとバドワイザーのこと
橋本さんを偲んで
橋本名誉会長を偲ぶ
橋本篤治氏を悼む
橋本名誉会長の思い出
橋本さんとの思い出
橋本名誉会長を偲んで
追悼
謹んで御冥福をお祈り申し上げます
橋本前会長のご冥福を祈って
大きな人柄に敬服
追悼と御礼を込めて
追悼「涙の天皇杯！橋本監督・初優勝」

若林 貞行
時枝 誠
八巻 喜幸
斉藤 久
幡場 正宏
高見沢 浩
細田 實
深澤 宗一
関水 俊明
原 輝雄
武智 良三
石井 繁
澤田 英樹
筒井 博孝
服部 治

会員随想

“戦艦大和沖縄突入作戦”
片道燃料問題の真実
新聞編集制作の現場から
オシャレな湘南の海と選挙とのご縁
藤沢市議会議員活動に大きな期待！
藤沢市議会議員活動にあたって
議員活動のスタートラインから

西嶋 一光
下條 勝也
山崎 直美
保谷 秀樹
原 輝雄

藤沢白門会の活動

藤沢白門会のあしあと
緑と歴史散歩サークル同好会／旅行サークル同好会
／音楽鑑賞サークル同好会／写真サークル同好会／
囲碁サークル同好会／麻雀サークル同好会／ゴルフ
サークル同好会／テニスサークル同好会／白門サロ
ン同好会
定例総会でますますの発展を期す
中央大学創立百二十五周年記念事業募金へ
協力をお願い
新春のつどい盛大に開催
第3回神奈川県合同白門会
2003年箱根駅伝・総合5位

●第九号

グラビア 新春の集い／緑と歴史散歩サークル／
旅行サークル／ゴルフサークル／
音楽鑑賞サークル／定期総会／箱根駅伝応援
会長挨拶
創立十周年を迎えるにあたって
＜二十一世紀の幕開けに中央大学が目指すもの＞

会員随想

旅と私
近況雑感
孫と家族菜園
ニューヨークシティマラソン完走記

加藤 武
小島 清
豊田 松夫
三觜 喜郎
杉浦 嘉昌

藤沢白門会の活動

緑と歴史散歩サークル同好会／旅行サークル同好会／
音楽鑑賞サークル同好会／テニスサークル同好会／白
門サロン同好会／麻雀サークル同好会／ゴルフサーク
ル同好会／囲碁サークル同好会／写真サークル同好会

藤沢白門会の行事・10周年記念行事計画
創立10周年記念事業実行委員会組織図
最高潮の盛り上がり“新春のつどい”
定期総会・10周年プロジェクト始動
第7回湘南ユニバースティクラブ（SUC）懇親会
第80回箱根駅伝を顧みて
＜水の大者中大 十一連覇＞

藤沢白門会の規約・組織

＜参院選・千葉景子氏が四回目の当選＞
新会員の紹介

●第十号

〔藤沢白門会創立10周年記念号〕

グラビア（創立10周年記念を祝う）藤沢白門会創立
10周年を祝賀する来賓・会員・家族の表情／記念式
典で「更なる飛躍を」と挨拶する加藤武会長／母校の
大淵寛教授の記念講演／記念行事として藤沢市社会福
祉協議会へ車椅子三台を贈呈／豪快な中央大学スイ
ング・クリスタル・オーケストラ演奏／台湾旅行（10
周年記念）台北・故宮博物院の前で／江の島神社赤鳥
居にて（中信支部提携記念）

会長挨拶 加藤 武
祝辞 中央大学理事長 鈴木 敏文
祝辞 中央大学学生会会長 中山 正暉
祝辞 藤沢市長 山本 捷雄

《創立10周年記念行事》

創立10周年記念式典など盛大に開催される
長野県「中信支部」と姉妹支部提携
10年のあゆみ活動展
地引網大会おおいに盛り上がる
創立10周年記念行事に車イス3台を贈呈
ゴルフ記念大会“十周年記念コンペ”微風・快晴の中
海外記念旅行・台湾

《会員随想》

片瀬海岸・江の島は乃木希典と児玉源太郎ゆかりの地
高島良太郎
人生六十と趣味 長谷川武夫
カメラと共に 池田 健次
演劇を楽しむ 木水 民雄
故大森重男さんを偲ぶ 小島 清
戦後六十年を顧みて 長尾 英市
大森重男さんのこと 大森 晴郎
藤沢白門会と私 加藤 武
初めての園芸 原 輝雄
私のふる里「湘南・ふじさわ」 三觜 喜郎
私孝雑感 浅野 泰一
素晴らしきかな「我が藤沢白門会」 中津川 彰
偶感 幡場 正宏

思い出の地・満州を訪ねて
 そういえば私も会員歴六周年
 幻の鶴沼蘭は生きていた
 私の十五年先のモデル・
 土田敏雄さんとの出会い
 レストラン「セルブ湘南」私が学んだ新しい世界

我がゴルフ師友
 ふるさとの「芭蕉さん」

《藤沢白門会の活動・サークル同好会》
 第八十二回箱根駅伝・総合八位
 [八巻さんの逝去を悼む]
 当支部提唱の SUC 今年も盛大に

中央大学創立百二十五周年記念事業募金のお願い
 [サークル同好会]
 音楽鑑賞・中央大学音楽研究会の
 コンサートをメイン企画に

□十年その歩み
 麻雀・サークル十年を振り返って
 テニス・若手の新幹事誕生
 写真・サークル活動を通じた人との出会い

緑と歴史散歩・新春の「文学・歴史講座」も充実

□故大森重男氏を偲ぶ会の記録
 囲碁・囲碁って楽しいよ
 白門サロン・知的会話で交流を深める
 [藤沢白門会組織・名簿]
 《藤沢白門会十年のあゆみ》(藤沢白門会讃歌)
 『会報』総目次(創刊号—第十号)
 グラビア

●第十一号

グラビア 第 13 回定期総会/母校ホームカミングデー
 中信/松本支部との交流/第 10 回 SUC 親睦交流会/
 若手会主催の地曳き網大会/緑と歴史サークルの集い
 会長挨拶 翔き続ける藤沢白門会 加藤 武
 会員随想
 砂漠の大画廊・タッシリナジェール 高島良太郎
 定年退職後の人生を楽しく豊に 加藤 武
 つくづく思う今日この頃 一杉 経法
 還暦を迎え、ホノルル・マラソンに参加して
 城崎 芳彦
 遊びながら過ごす 横山 孝
 市民後見人 酒井 量三

藤沢白門会の行事活動
 <錦秋の信州松本支部交流と感動の旅>
 藤沢市長・山本捷雄氏メッセージ
 松本市長・菅谷昭氏メッセージ
 感動の思い出 松本・上高地バス旅行に参加して
 三背 喜郎
 上高地染紅葉秋 服部 治

同素の求心力と団結を感じさせた交流会 深澤 宗一
 中信松本支部より 深澤和歌子
 ひとつことメッセージ 石原昭憲 小崎誠士 若林貞行
 定期総会盛会に開催 片岡 久興
 新春の集い(讃えよう母校) 石原 昭憲
 第 83 回箱根大学駅伝 時枝 誠
 地域社会に貢献・車椅子 14 台を贈呈 杉浦 嘉昌
 大満足の第 9 回地引き網大会 小山 勝男
 SUC 節目第 10 回大会最高潮の盛り上がり
 石原 昭憲
 <中央大学創立 125 周年記念行事募金のお願い>
 杉森 淳

サークル同好会の活動
 緑と歴史サークル同好会 大木 樹雄
 麻雀サークル同好会 伏野 清朝
 音楽鑑賞サークル同好会 座間 毅
 囲碁サークル同好会 小島 清
 ゴルフサークル同好会 川俣 誠
 白門サークル同好会 林 孝靖
 写真サークル 駒井 登
 テニスサークル 清田 英仁

○加藤武会長、藤沢市長に
 「青少年対策の基本方針」を提言
 ○服部治副会長「日本労働ペンクラブ賞」受賞を祝う会
 下條 勝也

◇「学員時報」情報
 (御手洗キャノン会長、日本経団連会長に)
 (司法試験、24 年ぶりに首位奪還)
 藤沢白門会の会員状況 藤沢白門会讃歌

●第十二号

グラビア 第 30 回例会/古刹をめぐるアジサイを楽し
 む/第 18 回の母校のホームカミングディに出席した
 メンバー/第 13 回定期総会で挨拶する加藤武会長/
 親睦・交流を深めた第 11 回 SUC /伊豆旅行/盛況の
 新春のつどい/箱根駅伝・第 3 区を快走する上野選手
 会長挨拶 素晴らしきかな藤沢白門会 加藤 武
 会員随想
 わが心の駿河台と「惜別の歌」 大森 靖朗
 自転車は人と環境にやさしい乗り物 加藤 武
 「美しく老いること」ということ 齋藤 久
 境川探訪 諏訪間幸男

藤沢白門会の行事
 (第 18 回中央大学ホーム・カミングデー)
 ホーム・カミングデーに参加 若林 貞行
 センチメンタルジャーニー 下條 勝也
 思い出の駿河台から後楽園・多摩キャンパスへ
 吉原 和義
 第 13 回定期総会 片岡 久興
 明大の名演奏に酔った SUC 親睦交流会 石原 昭憲
 熱き心が寒さを吹き飛ばした「新春の集い」
 石原 昭憲

力走も及ばず総合7位(第84回箱根駅伝観戦記)	時枝 誠
台風の影響で海浜大宴会の開催	小山 勝男
藤沢白門会のサークル同好会	
緑と歴史散歩(サークル誕生10周年の多彩な活動)	大木 樹雄
旅行(楽しきかな伊豆半島バス日帰り旅行)	城崎 芳彦
囲碁(今からでも囲碁は覚えられます)	杉森 淳
写真(最近の活動状況写真雑感)	駒井 登
麻雀(破壊から建設へ)	伏野 清朝
白門サロン(会食しながら相互に交流)	林 孝靖
音楽鑑賞(久しぶりに藤沢でカントリーミュージック)	座間 毅
ゴルフ(小田原白門会との交流コンペ)	川俣 誠
《光友会30周年記念式典で感謝状を受ける》	会長 加藤 武
《私の15年先のモデル・土田教敏雄さんのこと》	杉浦 嘉昌
《白門会と私》	横山 孝
藤沢白門会組織図 藤沢白門会讃歌	

●第十三号

グラビア 第12回SUC交流親睦会/地引綱大会/ボウリング大会/中央大学ホームカミングデー/新春の集い/箱根駅伝/第8区の力走/旅行サークル同好会	
会長挨拶 第3代会長(支部長)就任に際して	片岡 久興
会員随想	
ドイツ旅行	西山 忠壬
会津若松白籠城戦・男装の戦士・山本八重子	高島良太郎
ダイヤモンド富士	池田 謙次
よき友は大きな財産、白門会に感謝	加藤 武
獺郷 なんと読みますか	小野 康夫
久しぶりの対面	横山 孝
先輩こんにちは(われら藤沢白門会ここに在り)	
長尾英市さん — 高き志を貫く熱き心	
榛葉敏行さん — 胸中にはCマークを	
新入会員紹介・挨拶(藤沢市副市長)	
白門会との出会い・藤沢白門会の入会にあたって	山田 秀一
大好きな藤沢の街を「より良い街にして行きましょう」	花上 誠一
藤沢白門会の行事	
定期総会盛大に開催される	若林 貞雄
晴天に恵まれた第11回地引綱大会	小山 勝男
ストライク 盛り上がったボウリング・パーティー	小山 勝男
駒大らしい演出が光ったSUC親睦交流会	石原 昭憲
中学生が車いす卓球を体験	杉浦 嘉昌
各ランナーが3秒早く走っていたら	
・第85回箱根駅伝観戦記	時枝 誠

新体制での「新春の集い」盛大	永井 譲
藤沢白門会の活動・サークル同好会	
旅行(寸又峡とSL列車の旅)	城崎 芳彦
囲碁(囲碁に挑んで脳を刺激し青春を取り戻しませんか)	中谷 哲夫
麻雀(同好会の活動)	伏野 清朝
緑と歴史散歩(春・秋は「東海道宿場」巡りを楽しむ)	大木 樹雄
写真(最近の活動)	駒井 登
音楽鑑賞(第50回記念定期演奏会の鑑賞)	座間 毅
白門会サロン(楽しい語らいの場で盛り上がる)	林 孝靖
ゴルフ(節目第20回コンペ開催)	川俣 誠
◇レディース(レディース会員募集)	富田 和子
母校の近況	
中央大学法科大学院・平成20年新司法試験合格者祝賀会	
全日本大学サッカー選手権大会	
・16年ぶりにインカレ優勝	
藤沢白門会組織図 藤沢白門会讃歌	

●第十四号

グラビア・新春の集い	
会長挨拶・創立15周年を迎えるにあたって	片岡 久興
会員随想	
芝居を楽しむ	木水 民雄
日露戦争跡を巡って 東鷄山・二百三高地	
・水師營	杉森 淳
青島太平洋マラソン・2009を走り終えて	杉浦 嘉昌
《藤沢白門会寄贈車イスの利用状況について》	
先輩こんにちは(われら藤沢白門会ここに在り)	
佐々木初男さん(箱根駅伝応援の熱き歳月)	
中津川彰さん(正義実現への不動の姿勢)	
会員紹介	
白門会の仲間とともに(法務大臣・参議院議員)	千葉 景子
私と藤沢白門会・ご縁に導かれて(衆議院議員)	橘 秀徳
藤沢白門会の行事	
定期総会盛大に開催される	若林 貞行
残念、雨天中止となった第12回地引綱大会	小山 勝男
ストライク、第2回若手懇親ボウリング	
・パーティー	小山 勝男
待望の「SUC内規定」定まる	石原 昭憲
第86回箱根駅伝観戦記	時枝 誠
和やかなムード「新春の集い」盛大に	永井 譲
藤沢白門会の活動・サークル同好会	
旅行(河口湖日帰り旅行)紀行文	城崎 芳彦
囲碁(囲碁は知識の宝庫)	中谷 哲夫
緑と歴史散歩(春・秋は街道・宿場巡りの散歩)	大木 樹雄

写真（撮影活動の報告） 駒井 登
 音楽鑑賞（柴ブリステン弦楽アンサンブル
 コンサート） 座間 毅
 白門サロン同好会 林 孝靖
 ゴルフ（雄大な富士山の麗でプレー） 川俣 誠
 レディースの活動報告 富田 和子

母校の近況
 中央大学の取り組み・将来ビジョンについて
 藤沢白門会組織図 藤沢白門会讃歌

●第十五号《藤沢白門会創立 15 周年記念号》———

グラビア（藤沢白門会創立 15 周年記念アルバム）
 「新春のつどい」（創立 15 周年記念）に出席した来賓、
 会員の華やかな表情（平成 23 年 1 月 29 日）／第 1
 回藤沢（湘南）地区の 8 大学同窓会が集合／発起人と
 して挨拶する橋本篤治会長（平成 9 年 9 月 6 日）／
 定期大会で力強く活動方針を表明する加藤武会長（平
 成 16 年 4 月 25 日）／〈錦秋の信州へ〉姉妹支部・
 長野県中信松本支部との交流（平成 18 年 10 月 14 日）
 ／母校ホーム・カミングディに出席した面々／横浜支
 部の方々とともに〈平成 19 年 10 月 28 日〉／箱根大
 学駅伝一大声援のなか第 3 区〈辻堂浜見山〉を快走す
 る上野選手の勇姿（平成 20 年 1 月 2 日）／創立 10
 周年記念「中央大学スイング・クリスタル・オーケス
 トラ・コンサートの演奏場面」（平成 17 年 11 月 26 日）
 ／創立 15 周年を聞記念する地引き網大会・鶴沼海岸
 （平成 22 年 9 月 4 日）

輝ける叙勲受章（平成 22 年）
 番場定孝氏・旭日中綬章（昭和 38 年法学部卒）
 幡場正宏氏・瑞寶中綬章（昭和 39 年法学部卒）

挨拶
 藤沢白門会 15 周年を迎えて
 中央大学学生会藤沢支部・藤沢白門会会長 片岡 久興
 記念祝辞
 創立 15 周年お祝い申し上げます
 中央大学理事長 中央大学学生会会長 久野 修慈
 中央大学学生会「藤沢白門会」創立 15 周年記念号
 発行に際して 中央大学総長・学長 永井 和之
 創立 15 周年によせて 藤沢市長 海老根靖典
 〈神奈川県下白門会・姉妹支部松本支部からの祝意〉

《創立 15 周年記念行事》
 地引き網家族大会 小山 勝男
 創立 15 周年記念式典兼新春の集い 大木 樹雄

《会員随想》
 大自然があって軍隊がないコスタリカ 高島良太郎
 カメラ新時代 池田 謙次
 藤沢白門会ここに在り 大森 靖朗
 ふるさとの山に雲の在り 服部 治
 創立 15 周年を祝うとともにさらなる飛躍を！
 奥深きかな！本格焼酎 加藤 武
 今は昔、鶴生園と江の島絵 石原 昭憲
 怪我をして知った体力の限界 番場 定孝
 保谷 秀樹

思ひつくままに 木水 民雄
 ドイツでのクリスマス百景 皆川 一敏
 7 年に一度の奇跡「御柱祭」を訪ねて 原 輝雄
 《藤沢白門会の活動・サークル同好会》
 藤沢白門会第 16 回定期総会 端山 幸雄
 第 87 回箱根駅伝 時枝 誠
 第 14 回 SUC 親睦交流会 ～天女の舞に魅了～
 澤田 英樹
 八城 義友

社会福祉活動
 [サークル同好会]
 ゴルフ 川俣 誠
 旅行 一杉 経法
 音楽鑑賞 座間 毅
 写真・撮影会他諸活動の報告 駒井 登
 緑と歴史散歩・旧から新へ
 ・伝統あるサークルを継承 澤田 英樹
 白門サロン「中央大学 VS 早稲田大学」野球観戦と
 懇親会 吉原 和義
 レディースサークル 富田 和子

[藤沢白門会組織図・名簿]
 《藤沢白門会 15 年の歩み》（藤沢白門会讃歌）
 『会報』総目次（創刊号～第 15 号）

●第十六号（2011 年度）———

グラビア 「新春の集い」藤沢市社会福祉協議会へ車い
 すの贈呈／SUC における中央大学グリークラブ OG 合
 唱／第 11 回神奈川合同白門会での硬式野球部の紹介
 ／緑と歴史散歩サークル・遊行寺散策、全日本学生ヨッ
 ト選手権大会の応援

会長挨拶 「絆」をより強く、より深く 片岡 久興
 中央大学創立 125 周年記念プロジェクト募金報告
 若林 貞行

会員随想
 思いつくままに 皆川 一敏
 世界遺産 平泉と岩手沿岸の被災地を見て 澤田 英樹
 感謝 協力 実践 永井 譲

藤沢白門会活動
 藤沢白門会第 17 回定期総会 端山 幸雄
 新春の集い・絆を深め、さらに前進を 澤田 英樹
 第 88 回箱根駅伝 城崎 芳彦
 第 15 回 SUC 交流親睦会 杉山 洋
 第 11 回神奈川県合同白門会開催 端山 幸雄
 第 14 回地引き網大会（台風により中止） 小山 勝男
 全日本学生ヨット選手権大会 中央大学ヨット部応援
 小山 勝男

社会福祉活動
 若手懇親会ボウリングパーティの開催 八城 義友
 サークル同好会 小山 勝男

ゴルフ 川俣 誠
 囲碁・囲碁を通じて人の輪を広げたい 杉森 淳
 音楽鑑賞 座間 毅
 写真サークルの計画及び活動状況 吉武 孝尚

緑と歴史散歩 旧から新へ—伝統あるサークルを継承

澤田 英樹

白門サロン会

林 孝靖

母校の近況—新総長・学長に福原紀彦氏が選任される

藤沢白門会組織図・新入会員・物故会員

藤沢白門会讃歌

中央大学校歌 応援歌 惜別の歌

●第十七号 (2012 年度)

グラビア 第 44 回例会 (生麦事件の碑前で) 大漁を期待してみんなで綱引き／ホームカミングに「中央の絆」企画に参加した藤沢白門会／旅行サークルの「梅まつり／水戸・偕楽園」白門サロン会 (ふぐ会席を味わう)／音楽鑑賞会コンサートの後、ロビーで「平成 25 年新春のつどい」での出席メンバー／SUC 交流会に出席したメンバー／交流会で講演する谷口浩美氏

会長挨拶 更なる飛躍のために

片岡 久興

会員随想

イギリス旅行

西山 忠壬

シャーロックホームズの楽しみ方

高島良太郎

クルーズ体験記

林 孝靖

航空宇宙博物館 (スミソニアン博物館)

畑 克海

藤沢白門会に参加して

伊東 史峰

藤沢白門会の活動

藤沢白門会第 18 回定期総会開催

小山 勝男

新春のつどい

川崎 隆之

第 89 回箱根駅伝

城崎 芳彦

第 16 回 SUC 交流・親睦会

澤田 英樹

第 12 回神奈川県合同白門会開催

吉原 和義

第 15 回地引き綱大会を開催

小山 勝男

第 21 回ホームカミングディ

吉原 和義

第 5 回若手懇親ボウリングパーティ開催

小山 勝男

社会福祉活動

八城 義友

サークル同好会活動

ゴルフサークル

川俣 誠

音楽鑑賞サークル

座間 毅

旅行サークル

城崎 芳彦

囲碁サークル

中谷 哲夫

写真サークル

吉武 孝尚

緑と歴史散歩サークル

澤田 英樹

白門会サロンサークル

林 孝靖

レディスサークル

小山 勝男

母校の近況

平成 24 年度文科省グローバル人材育成推進事業に採択

司法試験合格者祝賀会報告

コラム・辻堂東海岸に建つ「浜辺の歌」碑

藤沢白門会組織・新入会員・物故会員

新入会員プロフィール

藤沢白門会讃歌

中央大学校歌 応援歌 惜別の歌

●第十八号 (2013 年度)

グラビア 《加藤武名誉会長の輝けるご活躍のありし

日を偲ぶ》／高尾山で楽しんだ笑顔の面々 (1997・

10・19)／定期大会において活動方針を表明する加

藤武会長 (2007・4・17)／第 18 回ホーム・カミ

ングディに参加した会員メンバーとともに (1995・

10・28)／「平成 25 年新春のつどい」に参加された

加藤武名誉会長

◇ 2013 年度藤沢白門会の活動 盛り上がった第 17 回

SUC 懇親会／囲碁サークル会員の面々／ゴルフサー

クルスタート前の表情／平成 26 年新春のつどいに参加

した来賓、会員／緑と歴史散歩サークル 第 49 回

例会・横浜の老舗料亭「田中屋」で

会長挨拶

加藤武名誉会長を偲び来年の 20 周年をスマートに

片岡 久興

加藤武名誉会長の貢献活動

〈謹んで哀悼の意を表します〉

川崎白門会会長

金子 和夫

平塚白門会理事長

府川 勝

小田原白門会副会長

中村 恭博

川崎白門会幹事長

森山 功

横浜支部常任顧問

菊田 和行

横浜市役所元幹事

大久保正美

「藤沢白門会」相談役

杉森 淳

相談役

三觜 喜郎

相談役

服部 治

副会長総務担当

若林 貞行

副会長 SUC 担当

石原 昭憲

顧問

保谷 秀樹

副会長会報担当

川島 清憲

副会長兼事務局長

小山 勝男

藤沢市議会議員

永井 譲

藤沢市議会議員

原 輝雄

会員随想

今を楽しめ—現世讃美と来世否定—

拙訳「ルバイヤート」に触れて

斎藤 久

藤沢市を文化薫る街に

保谷 秀樹

“地域活動”雑感

諏訪間幸男

湘南 FRC に学んだ

ホップ・ステップ・ジャンプの人生

杉浦 嘉昌

藤沢白門会の活動

第 19 回定期総会開催

小山 勝男

新春のつどい

川崎 隆之

第 17 回 SUC (湘南ユニバーシティクラブ)

親睦交流会

端山 幸雄

第 90 回箱根駅伝

城崎 芳彦

第 6 回若手懇親ボウリングパーティ開催

小山 勝男

第 16 回地引き綱大会

井出 豊

社会福祉活動

八城 義友

サークル同好会

ゴルフサークル

川俣 誠

音楽鑑賞サークル

座間 毅

囲碁サークル
写真サークル
緑と歴史散歩サークル
白門サロン会

長谷川 勇
増田 隅雄
澤田 英樹
林 孝靖

母校近況

中央大学が推進するグローバル・パーソン育成
叙勲 西島一光氏が旭日単光章受章
藤沢白門会組織図・新入会員・物故会員
藤沢白門会讃歌
中央大学校歌 応援歌 惜別の歌

●第十九号 (2014 年度) —————

グラビア 平成 27 年「新春のつどい」に出席の記念撮影／車いす寄贈式で握手を交わす鈴木市長と片岡会長／第 20 回定期総会で挨拶する片岡久興会長／ホーム・カミングディ・舞台の中央に輝くわが藤沢白門会の旗／県下合同ゴルフコンペに参加した面々／緑と歴史散歩サークル第 52 回例会は川崎白門会ハイキング同好会との合同開催

会長挨拶 創立 20 周年を迎えるに際して 片岡 久興
会員随想

アスリートの心意気
文化振興に取り組む藤沢市
東田直樹さんにお会いしました
藤沢白門会に参加して

三觜 喜郎
中谷 哲夫
田中 紀子
中島 知慧

藤沢白門会の活動

藤沢白門会第 20 回定期総会開催
新春のつどい
第 91 回箱根駅伝
第 18 回 SUC 親睦交流会
第 14 回神奈川合同白門会開催
横浜山手跡地の見学と懇親会
第 23 回ホーム・カミングディ
第 7 回若手懇親ボウリングパーティ開催
社会福祉活動

井出 豊
川崎 隆之
城崎 芳彦
端山 幸雄
吉原 和義
吉原 和義
端山 幸雄
杉山 洋
八城 義友

サークル同好会活動

ゴルフサークル
囲碁サークル
音楽鑑賞サークル
旅行サークル
写真サークル
緑と歴史散歩サークル
白門サロンサークル
レディスサークル

川俣 誠
長谷川 勇
座間 毅
城崎 芳彦
増田 隅雄
澤田 英樹
林 孝靖
端山 徳子

母校の近況—中央大学が展開する社会連携と社会貢献

水泳部・インカレ総合優勝
藤沢白門会組織図・新入会員・物故会員
藤沢白門会讃歌
中央大学校歌 応援歌 惜別の歌

●第二十号《藤沢白門会創立 20 周年記念号》—————

グラビア 設立総会で議長を務める橋本会長 (平成 7 年 12 月 6 日) / 多数の会員が待ち望んだ創立総会 / 第 1 回 SUC 親睦交流会の模様 (平成 9 年 9 月) / 歴代会長が写る貴重な定期総会の一コマ (平成 11 年 5 月) / 創立 5 周年記念講演会に渥美東洋先生を迎えて (平成 12 年 11 月) / 第 1 回県下合同白門会が開催される (平成 12 年 11 月) / 創立 10 周年に際し、松本中信支部と姉妹提携 (平成 17 年 11 月) / 創立 10 周年祝賀会を祝う (平成 17 年 11 月) / 創立 15 周年に際し、蓮池薫氏の講演に傾聴 (平成 23 年 1 月) / 各白門会が集合する中、会場中央に藤沢白門会の幟 / 創立 20 周年記念式典の成功を祈念し、盛大に「新春のつどい」が催行される (平成 27 年 1 月) / 長野県中信支部総会にて (平成 27 年 6 月) / 野村修也先生を迎えて行われた学術講演会 (平成 27 年 11 月) / 学術講演会にて弁に熱のこもる野村修也先生 / 20 周年式典にて、片岡会長・大村常任理事・鈴木市長・高嶋副会長・西島顧問・野村教授 6 名による鏡割り (平成 27 年 11 月) / 20 周年を祝い、また藤沢白門会の発展を祈念して

会長挨拶 藤沢白門会創立 20 周年を迎えて
中央大学学員会藤沢白門会 会長 片岡 久興
祝辞 藤沢支部創立 20 周年を迎えて
中央大学学員会 会長 久野 修慈
中央大学学員会藤沢白門会創立 20 周年記念に際して
中央大学 総長・学長 酒井正三郎
中央大学学員会藤沢白門会創立 20 周年 祝辞
藤沢市長 鈴木 恒夫
神奈川県下白門会、姉妹支部長野県中信支部からの祝意
特別寄稿 中央大学法科大学院教授 野村 修也
会員感想「藤沢白門会創立 20 周年に思う」

藤沢白門会の活動

藤沢白門会第 21 回定期総会を開催 川崎 隆之
平成 27 年度中央大学学術講演会 澤田 英樹
平成 27 年創立 20 周年記念式典 川崎 隆之
第 92 回箱根駅伝について 城崎 芳彦
第 19 回 SUC 親睦交流会 澤田 英樹
第 15 回神奈川県合同白門会開催 吉原 和義
第 24 回ホームカミングデー 吉原 和義
第 8 回若手懇親会ボウリング大会&パーティ開催
杉山 洋
社会福祉活動委員会報告 八城 義友

サークル同好会

ゴルフサークル 川俣 誠
囲碁サークル 長谷川 勇
音楽鑑賞サークル 座間 毅
旅行サークル 城崎 芳彦
写真サークル 増田 隅雄
緑と歴史散歩サークル 澤田 英樹
白門サロン会 林 孝靖
レディスサークル 端山 徳子
新春・平和島周遊ツアー 澤田 英樹

母校の近況

藤沢白門会会員名簿・新入会員・物故者・組織図
藤沢白門会 20年のあゆみ
藤沢白門会讃歌 中央大学校歌 応援歌 惜別の歌・原詩

●第二十一号 (2016年度)

グラビア 第22回定期総会で力強く挨拶する片岡会長
(平成28年4月24日) / 川崎白門会の主宰した川崎
港海上クルージングとのコラボ(平成28年8月24日)
/ 多摩キャンパスの晴れ渡る空の下、ホームカミング
デー開催(平成28年10月23日) / 「中央の絆」の
中、クレセントホールに雄々しくはためく藤沢白門会
旗(平成28年10月23日) / 歓談する片岡会長はじ
め藤沢白門会の面々(平成28年10月23日) / 神奈
川県下合同白門会に集う(平成28年11月12日) /
名城松本城を背に、中信支部記念行事に参加したメン
バー(平成28年11月28日) / 思いを新たに、新春
のつどいに集合!(平成29年1月28日)
会長挨拶 『次のステップに向けて』
中央大学学生会藤沢白門会 会長 片岡 久興
特報 リオ五輪*陸上400mリレー
飯塚翔太選手(学員:平26法)銀メダル獲得!
会員随想
学生時代の思い出 白石 桃子
片山哲先生が愛読した「小公子」翻訳者
「若松賤子」日本最初の外国文学女性翻訳者
高島良太郎
日々時々詠む 服部 治
秋日雑感 鉢蠟 博
藤沢白門会の行事活動
第22回定期総会開催
- 25周年を見据えて新たな発展へ- 吉田 弘明
新たな出発を寿ぐ
~平成29年新春のつどい 井出 豊
中大箱根駅伝、連続出場87で止まる 城崎 芳彦
第20回SUC親睦交流会 澤田 英樹
第16回神奈川県合同白門会
箱根駅伝への熱き思い 是非復活を!! 吉原 和義
第25回 ホームカミングデー
中央を超える、中央へ はばたけ! 吉原 和義
第九回若手懇親会ボウリング大会&パーティー開催
杉山 洋
長野県中信支部創立65周年記念式典出席について
城崎 芳彦
平成28年度第1回役員会&暑気払い会 杉山 洋
社会福祉活動委員会報告 原 輝雄
サークル同好会活動
ゴルフサークル 川俣 誠
囲碁サークル 長谷川 勇
音楽鑑賞サークル 座間 毅
写真サークル 増田 隅雄
緑と歴史散歩サークル 澤田 英樹
白門サロン会 林 孝靖
レディスサークル 端山 徳子

母校の近況
藤沢白門会会員名簿・新入会員・物故者・組織図
藤沢白門会讃歌 中央大学校歌 応援歌 惜別の歌

●第二十二号 (2017年度)

グラビア 第23回定期総会での凛々しい会長の挨拶(平
成29年4月22日) / 2年ぶりの開催となった地引
綱(平成29年8月19日) 藤沢白門会所属、諏訪問
幸平さん(リングネーム:諏訪魔)による遊行寺プ
ロレス・チャリティーマッチの一幕(平成29年9月
24日) / 吉田茂像と広大な相模湾を背に(平成29年
10月7日) / 神奈川県合同白門会での、チアリーディ
ング部SPIRITSによる華麗な舞(平成29年11月11
日) / 2年越しに叶った箱根駅伝応援、往路3区を疾
走するエース中山(平成30年1月2日) / 新しい年
を祝う会員メンバーの明るい表情「新春のつどい」(平
成30年1月27日) / 「新春のつどい」にて、写真サー
クルによる展示会の準備風景(平成30年1月27日)
会長挨拶 『発想の転換で更なる前進を』
中央大学学生会藤沢白門会 会長 片岡 久興
会員随想
伊賀より伊勢への旅
父の出生地を訪ねて知る一族の絆 西島 一光
日々雑感 澤田 英樹
諏訪魔! 地元藤沢・遊行寺に凱旋だぞ! オイッ!!
諏訪問幸平
白門会について想う事 相原 妙美
グリーンライフ 鉢蠟 博
藤沢白門会の行事活動
第23回定期総会開催
~箱根に散った夢~ 川俣 誠
湘南の地から明るくいこう
~平成30年新春のつどい~ 井出 豊
第20回地引綱大会 原 輝雄
第21回SUC親睦交流会 岸本 寛之
第17回神奈川県合同白門会盛会に開催
箱根駅伝伝道で応援出来る喜びを語る 吉原 和義
第26回 ホームカミングデー
稀代のクリエイター
秋元 康氏が中央大学に帰ってきました 吉原 和義
第94回箱根駅伝予選会について
予選会3位通過、2年ぶりに箱根を疾走する
城崎 芳彦
第94回箱根駅伝について
悔しさをバネに、来年のシード権確保を目指す
城崎 芳彦
第十回若手懇親会ボウリング大会&パーティー開催
原 輝雄
社会福祉活動委員会 端山 幸雄
サークル同好会活動
緑と歴史散歩サークル 澤田 英樹
ゴルフサークル 川俣 誠

囲碁サークル
 写真サークル
 白門サロン会
 テニスサークル
 旅行サークル
 音楽鑑賞サークル
 釣りサークル
 レディース会
 グラウンドゴルフ体験会

母校の近況
 藤沢白門会組織図・新入会員・物故者
 藤沢白門会讃歌 中央大学校歌 応援歌 惜別の歌

杉森 淳
 高島良太郎
 林 孝靖
 遠藤 主計
 城崎 芳彦
 座間 毅
 大沼 敬正
 端山 徳子
 鉢蟻 博

第 95 回箱根駅伝予選会について
 予選会 8 位通過、本戦での巻き返しを誓う
 城崎 芳彦

第 18 回神奈川県下合同白門会開催
 新学部開設・箱根駅伝の話と華やかな応援団の演舞
 吉原 和義

第 95 回箱根駅伝について
 惜しくもシード権獲得はならずとも
 実りある 11 位完走
 城崎 芳彦

第 11 回若手懇親会ボウリング大会&パーティー開催
 大橋 賢也

社会福祉活動委員会
 端山 幸雄

サークル同好会活動
 ゴルフサークル 川俣 誠
 テニスサークル 重田 博章
 釣りサークル 大沼 敬正
 囲碁サークル 中谷 哲夫
 緑と歴史散歩サークル 澤田 英樹
 ワインサークル 西尾雄一郎
 音楽鑑賞サークル 座間 毅
 白門サロン会 林 孝靖

文芸・文化コーナー
 藤沢白門俳句 服部 治
 絵手紙を画く 石原 昭憲
 美術（色鉛筆画・書道について） 城崎 芳彦

母校の近況
 藤沢白門会組織図・新入会員・物故者
 藤沢白門会讃歌 中央大学校歌 応援歌 惜別の歌

●第二十三号（2018 年度）

グラビア 会員が一堂に会する中、第 24 回定期総会開催を宣言する片岡会長（平成 30 年 4 月 30 日）／第 22 回 SUC 親睦交流会、プロ歌手の山形雄子さんと好調にデュエットを披露する川俣事務局長（平成 30 年 10 月 6 日）／ホームカミングデーでのイベントの一つ「白門駅伝」にて、この真夏日の中を走り抜ける藤沢白門会の精鋭達（平成 30 年 10 月 7 日）／同日、セントラルプラザでは学生の演舞で盛り上がり大宴会を催す（平成 30 年 10 月 7 日）／じりじりと追い上げる復路後半、混戦の中の八区を激走する矢野郁人選手（右奥）今年最後まで目が離せませんでした（平成 31 年 1 月 3 日）／十区のラストゴールを目前にして強豪早稲田大学との競り合いに総立ちになって藤沢白門会の声援を送る（平成 31 年 1 月 3 日）／新春の集いでの、千葉景子顧問による乾杯 市民会館第 1 展示集会ホールで盛大に催されました（平成 31 年 1 月 16 日）／「平成最後の」新春の集い 全員で笑って、新しい時代へ踏み出しましょう！（平成 31 年 1 月 26 日）

会長挨拶 『新しい時代にチャレンジ』
 中央大学学生会藤沢白門会 会長 片岡 久興
 会員随想

文芸評論家 尾島政雄氏との出会い～その後（追想）
 大木 樹雄
 藤沢白門会と出逢い、学生時代を振り返ってみて

今できることを全力に
 伝統工芸を支える心
 岩寄有加里
 細谷 幸夫

藤沢白門会の行事活動
 第 24 回定期総会開催
 ～新役員の誕生～
 川俣 誠
 新時代も挑戦しよう
 ～平成 31 年新春のつどい～
 井出 豊

第 22 回 SUC 親睦交流会開催
 加盟校 14 校 オブザーバー上智大学が初参加
 杉山 洋

第 27 回 ホームカミングデー
 母校中央大学の力と誇りを語る
 吉原 和義
 第 3 回白門駅伝大会参加について
 城崎 芳彦

●第二十四号（2019 年度）

グラビア 片岡会長、節目を迎えた第 25 回総会で飛躍を目指す開会宣言（平成 31 年 4 月 28 日）／平成最後のエール、小山副会長が新たな元号へ続く貫緑の締めを決める（平成 31 年 4 月 28 日）／中信支部総会を訪ねた折、北アルプスの絶景を小林治雄中信支部長、渡辺紀久子名古屋支部長（当時）と（令和元年 6 月 2 日）／今年度は片岡会長のご厚意もあり、新人歓迎バーベキュー大会が会長宅で行われました（令和元年 6 月 22 日）／今年は穏やかな天候も幸いして 2 年振りの開催となる地引綱。1 年待った分の想いもあってか予想外の大漁でした！（令和元年 8 月 24 日）／県下合同白門会での目玉、田辺凌鶴氏の金栗四三を題材にした講談。会場を大いに沸かせる熱弁を振るってくれました（令和元年 11 月 2 日）／箱根駅伝本戦往路。3 区で 2 年生の三浦拓朗選手が、順天堂大学 4 年生の橋本龍一選手と果敢に並走する、手に汗握るシーン（令和 2 年 1 月 2 日）／復路 8 区。シード入りが危ぶまれる中、3 年生の矢野郁人選手が一步であれども前へと必死に食らいついていく（令和 2 年 1 月 3 日）／駅伝の結果は惜しくも総合 12 位。また翌年への再起を誓って、藤沢白門会の拠り所『花鳥風月』で一丁締め（令和 2 年 1 月 3 日）／令和初の新春の集い。創立 25 周年の記念すべき年にしたいですね（令和 2 年 1 月 26 日）

会長挨拶 『創立 25 周年を迎えて』

中央大学学生会藤沢白門会 会長 片岡 久興
特報 母校野球部、15 年ぶり優勝祝賀会盛り上がる
会員随想

「人を戀うる歌」の歌詞考 高島良太郎
中央大学空手部から学んだ人生の素晴らしさ

先生へ・・・ 土屋 恭之
東京モーターショー体験記 岸本 寛之
習い事のススめ 白石 桃子
塚本 博信

藤沢白門会の行事活動

第 25 回定期総会開催
～令和時代を迎えて更なる飛躍を～ 細谷 幸夫
令和 2 年新春のつどい
～盛大に開催される～ (編集部)

第 22 回若手会主催地引き綱大会開催 大橋 賢也
第 28 回 ホームカミングデー
後楽園キャンパスで初めて開催されました

吉原 和義
令和元年 第 23 回 SUC 親睦交流会開催 杉山 洋

第 19 回神奈川県下合同白門会開催
神奈川ブロック旗のもとに 川俣 誠

第 4 回白門駅伝大会参加について 城崎 芳彦
第 96 回箱根駅伝予選会について 城崎 芳彦

第 96 回箱根駅伝について
今年もシード権獲得ならず 城崎 芳彦

新入会員歓迎 BBQ 大会開催 大橋 賢也
第 12 回若手懇親会ボウリング大会 & 懇親会開催

大橋 賢也

長野県中信支部を訪問
～総会に出席して～ 遠藤 主計
社会福祉活動委員会 端山 幸雄

サークル同好会活動

囲碁サークル 中谷 哲夫
音楽鑑賞サークル 高橋 茂

白門サロン会 林 孝靖
緑と歴史散歩サークル 澤田 英樹

ワインサークル 相原 妙美
テニスサークル 重田 博章

釣りサークル 大沼 敬正
ゴルフサークル 川俣 誠

グラウンドゴルフサークル 川俣 誠
伝統芸能鑑賞サークル 川俣 誠

文芸・文化コーナー

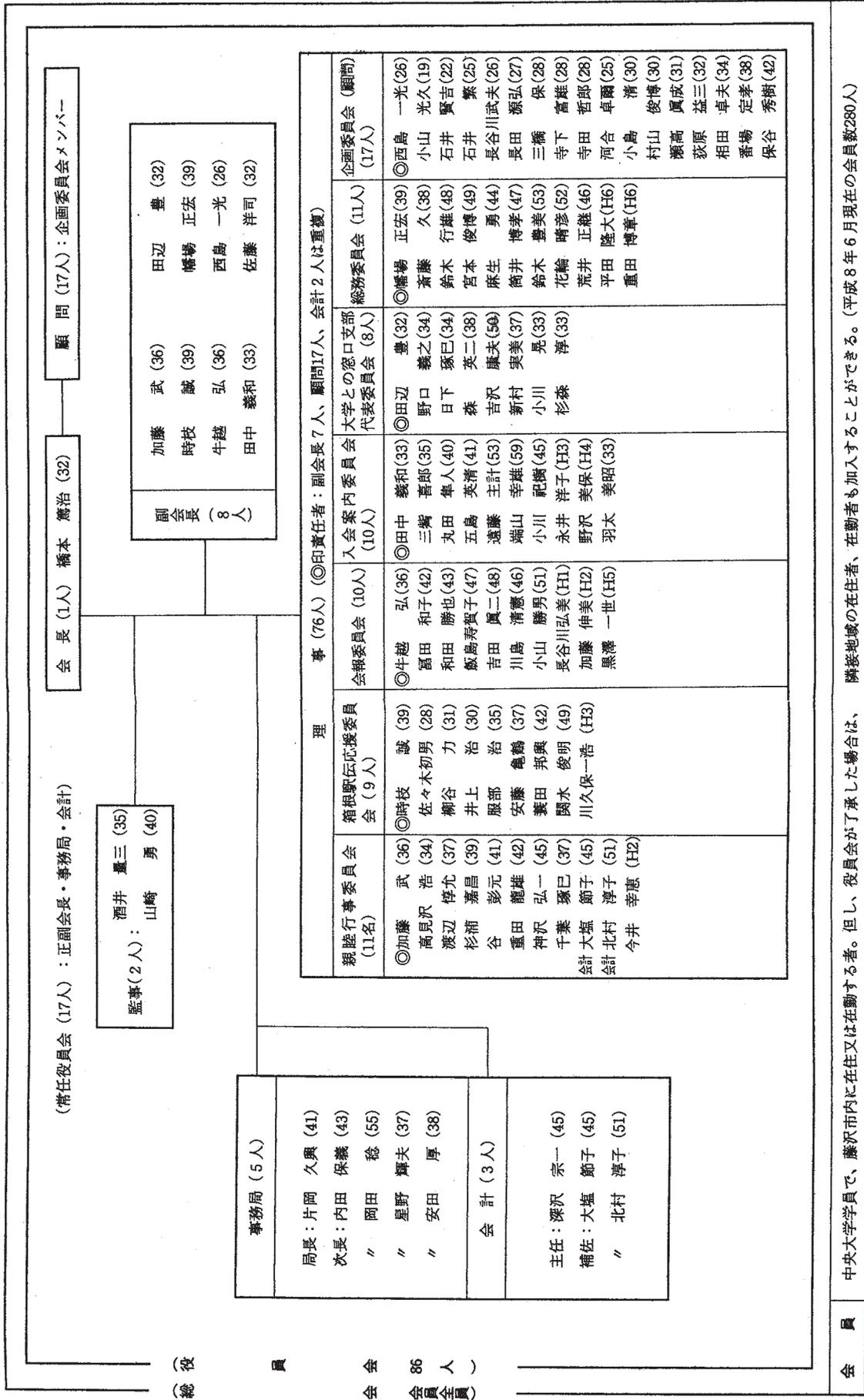
藤沢白門俳句 服部 治
地元藤沢の由緒ある「夏祭り」の情景 大木 樹雄

美術 (色鉛筆画・書道について) 城崎 芳彦
伝統工芸を支える心 (再掲) 細谷 幸夫

母校の近況

(中央大学入学企画課刊行「Cheer up!」より転載)
藤沢白門会組織図・新入会員・物故者・新人自己紹介
藤沢白門会讃歌 中央大学校歌 応援歌 惜別の歌

中央大学学生会「藤沢白門会」の組織図と役員名簿 (敬称略、カッコ内は卒業年次)
(任期：平成7年12月6日～平成10年3月末日)



中央大学学生会で、藤沢市内に在住又は在勤する者。但し、役員会が了承した場合は、隣接地域の在住者、在勤者も加入することができる。(平成8年6月現在の会員数280人)

会 員

会 員 86 人)
会 員 全 員)

員

総 務 員

中央大学学員会「藤沢白門会」組織図

(任期：平成16年4月1日～平成18年3月31日)

平成16年4月25日現在

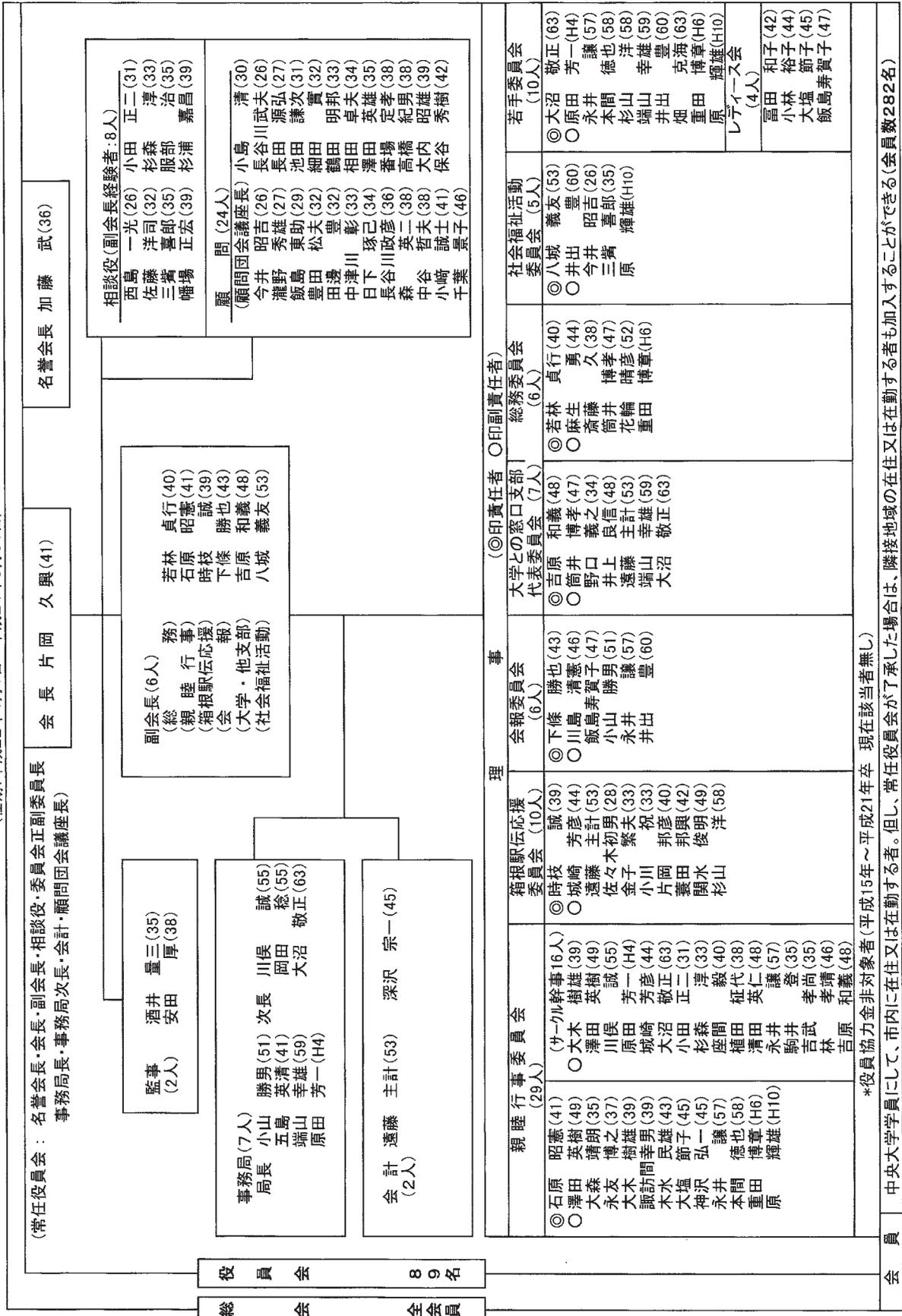
(常任役員会 (18人)：名誉・正副会長・事務局・会計) 会長 (1人) 加藤 武 (36)							
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;"> 局長 片岡 久興 (41) 次長 岡田 稔 (55) 次長 川俣 誠 (55) 次長 原田 芳一 (H4) (H) 次長 井上 泰博 (59) (H) 次長 五島 英清 (41) (H) 次長 速藤 主計 (53) (H) 次長 端山 幸男 (59) (H) </td> <td style="width: 50%; text-align: center;"> 副会長 西島 一光 (26) 三崎 淳 (33) 三崎 喜郎 (35) 時枝 誠 (39) 石原 昭憲 (41) </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> 監事 (2人) 酒井 量三 (35) 安田 厚 (38) </td> <td style="text-align: center;"> 副会長 (9人) 佐藤 洋司 (32) 服部 治 (35) 幡場 正宏 (39) 杉浦 嘉昌 (39) </td> </tr> </table>	局長 片岡 久興 (41) 次長 岡田 稔 (55) 次長 川俣 誠 (55) 次長 原田 芳一 (H4) (H) 次長 井上 泰博 (59) (H) 次長 五島 英清 (41) (H) 次長 速藤 主計 (53) (H) 次長 端山 幸男 (59) (H)	副会長 西島 一光 (26) 三崎 淳 (33) 三崎 喜郎 (35) 時枝 誠 (39) 石原 昭憲 (41)	監事 (2人) 酒井 量三 (35) 安田 厚 (38)	副会長 (9人) 佐藤 洋司 (32) 服部 治 (35) 幡場 正宏 (39) 杉浦 嘉昌 (39)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;"> 顧問 (26人) ◎小島 清 (30) ○西島 一光 (26) 石井 繁 (25) 今井 昭吉 (26) 長田 源弘 (27) 寺下 富雄 (28) 山口 清助 (29) 猪股 喜蔵 (29) 瀬高 真成 (31) 小田 正二 (32) 萩原 益三 (32) 細田 實 (32) 相田 卓夫 (34) 番場 定孝 (38) </td> <td style="width: 50%; text-align: center;"> 若手委員会 (8人) ◎小山 勝男 (51) ○岡田 稔 (55) 花輪 晴彦 (52) 川俣 誠 (55) 端山 幸男 (59) 大沼 敬正 (63) 重田 博章 (H6) 原 輝雄 (H10) レディース委員会 (6人) 大神田 葉子 (40) 富田 和子 (42) 小林 裕子 (44) 大塩 節子 (45) 飯島 寿賀子 (47) 北村 淳子 (51) </td> </tr> </table>	顧問 (26人) ◎小島 清 (30) ○西島 一光 (26) 石井 繁 (25) 今井 昭吉 (26) 長田 源弘 (27) 寺下 富雄 (28) 山口 清助 (29) 猪股 喜蔵 (29) 瀬高 真成 (31) 小田 正二 (32) 萩原 益三 (32) 細田 實 (32) 相田 卓夫 (34) 番場 定孝 (38)	若手委員会 (8人) ◎小山 勝男 (51) ○岡田 稔 (55) 花輪 晴彦 (52) 川俣 誠 (55) 端山 幸男 (59) 大沼 敬正 (63) 重田 博章 (H6) 原 輝雄 (H10) レディース委員会 (6人) 大神田 葉子 (40) 富田 和子 (42) 小林 裕子 (44) 大塩 節子 (45) 飯島 寿賀子 (47) 北村 淳子 (51)
局長 片岡 久興 (41) 次長 岡田 稔 (55) 次長 川俣 誠 (55) 次長 原田 芳一 (H4) (H) 次長 井上 泰博 (59) (H) 次長 五島 英清 (41) (H) 次長 速藤 主計 (53) (H) 次長 端山 幸男 (59) (H)	副会長 西島 一光 (26) 三崎 淳 (33) 三崎 喜郎 (35) 時枝 誠 (39) 石原 昭憲 (41)						
監事 (2人) 酒井 量三 (35) 安田 厚 (38)	副会長 (9人) 佐藤 洋司 (32) 服部 治 (35) 幡場 正宏 (39) 杉浦 嘉昌 (39)						
顧問 (26人) ◎小島 清 (30) ○西島 一光 (26) 石井 繁 (25) 今井 昭吉 (26) 長田 源弘 (27) 寺下 富雄 (28) 山口 清助 (29) 猪股 喜蔵 (29) 瀬高 真成 (31) 小田 正二 (32) 萩原 益三 (32) 細田 實 (32) 相田 卓夫 (34) 番場 定孝 (38)	若手委員会 (8人) ◎小山 勝男 (51) ○岡田 稔 (55) 花輪 晴彦 (52) 川俣 誠 (55) 端山 幸男 (59) 大沼 敬正 (63) 重田 博章 (H6) 原 輝雄 (H10) レディース委員会 (6人) 大神田 葉子 (40) 富田 和子 (42) 小林 裕子 (44) 大塩 節子 (45) 飯島 寿賀子 (47) 北村 淳子 (51)						
役員会 一〇五名							
会 員 全 員 ◎小島 清 (30) ○西島 一光 (26) ◎小島 清 (30) ○西島 一光 (26) 石井 繁 (25) 今井 昭吉 (26) 長田 源弘 (27) 寺下 富雄 (28) 山口 清助 (29) 猪股 喜蔵 (29) 小田 正二 (32) 細田 實 (32) 瀬高 真成 (31) 小田 正二 (32) 萩原 益三 (32) 細田 實 (32) 相田 卓夫 (34) 番場 定孝 (38) ◎小島 清 (30) ○西島 一光 (26) 石井 繁 (25) 今井 昭吉 (26) 長田 源弘 (27) 寺下 富雄 (28) 山口 清助 (29) 猪股 喜蔵 (29) 小田 正二 (32) 細田 實 (32) 瀬高 真成 (31) 小田 正二 (32) 萩原 益三 (32) 細田 實 (32) 相田 卓夫 (34) 番場 定孝 (38) ◎小島 清 (30) ○西島 一光 (26)							
親睦行事委員会 (17人) ◎石原 昭憲 (41) ◎池田 謙次 (31) ◎小島 清 (30) ○西島 一光 (26) ○大森 靖朗 (35) 小田 正二 (31) 若林 貞行 (40) ○小崎 誠士 (41) 駒井 貞行 (40) 座間 毅 (40) 高見沢 浩 (34) 若林 貞行 (40) 小田切弘之 (43) 三浦 敬宏 (35) 座間 毅 (40) 長谷川 勇 (46) 千葉 琢己 (37) 小田切弘之 (43) 井上 良信 (48) 杉浦 嘉昌 (39) 小田切弘之 (43) 井上 隆 (54) 大木 樹雄 (39) 長谷川 勇 (46) 川俣 誠 (55) 諏訪間 幸男 (39) 井上 隆 (54) 川俣 誠 (55) 重田 龍雄 (42) 中川 敬正 (63) 大沼 敬正 (63) 木水 民雄 (43) 大沼 敬正 (63) 原田 芳一 (H4) 大塩 節子 (45) 神沢 英樹 (49) 北村 淳子 (51) 神沢 英樹 (49) 北村 淳子 (51) 原 輝雄 (H10) 澤田 淳子 (47) 飯島 寿賀子 (47) 安田 厚 (38) 北村 淳子 (51) 原 輝雄 (H10) 永井 謙 (57)							
箱根駅伝応援委員会 (13人) ◎時枝 誠 (39) ○八巻 善幸 (40) ○城崎 芳彦 (44) ○服部 治 (35) 大森 善幸 (40) 佐々木 初男 (28) 大森 清朗 (35) 下条 勝也 (43) 金子 繁夫 (33) 川島 清憲 (46) 川島 清憲 (46) 木村 國男 (33) 飯島 寿賀子 (47) 飯島 寿賀子 (47) 真田 芳憲 (34) 小山 勝男 (51) 山田 道子 (H 7) 鈴木 貞夫 (36) 井出 豊 (60) 井出 豊 (60) 安藤 亀鶴 (37)							
会報委員会 (8人) ◎服部 治 (35) 大森 清朗 (35) 川島 清憲 (46) 大森 清朗 (35) 下条 勝也 (43) 川島 清憲 (46)							
大学の窓口支部 代表委員会 (8人) ◎杉森 淳 (33) ○野口 義之 (43) 吉原 和義 (48)							
総務委員会 (8人) ◎幡場 正宏 (39) ○斎藤 久 勇 (44) 若林 貞行 (40)							
社会福祉活動委員会 (10人) ◎杉浦 嘉昌 (39) ○座間 重男 (32) 今井 昭吉 (26)							
若手委員会 (8人) ◎小山 勝男 (51) ○岡田 稔 (55) 花輪 晴彦 (52)							
理事 (◎印責任者 ○印副責任者) ◎小島 清 (30) ○西島 一光 (26) ◎小島 清 (30) ○西島 一光 (26)							
会 員 全 員 ◎小島 清 (30) ○西島 一光 (26) ◎小島 清 (30) ○西島 一光 (26)							
会 員 全 員 ◎小島 清 (30) ○西島 一光 (26) ◎小島 清 (30) ○西島 一光 (26)							

会 員 中央大学学員にして、市内に在住又はは在勤する者。但し、役員会が了承した場合は、隣接地域の在住、在勤も加入することができる。(会員数 371名)

中央大学学員会藤沢支部「藤沢白門会」組織図

平成22年11月15日現在

(任期:平成22年4月1日～平成24年3月31日)



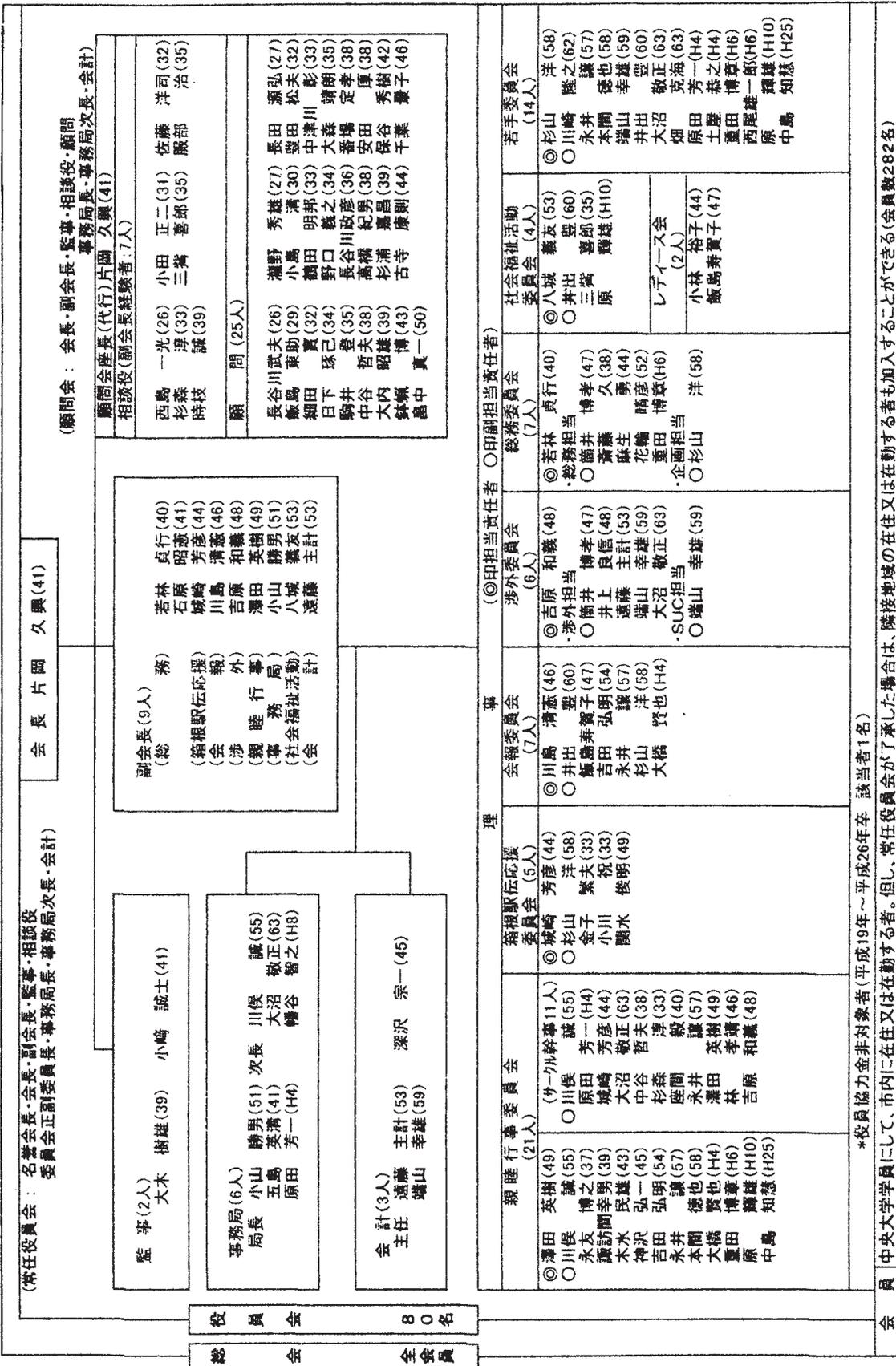
*役員協力金非対象者(平成15年～平成21年卒 現在該当者無し)

中央大学学員にして、市内に在住又は在勤する者。但し、常任役員会が了承した場合は、隣接地域の在住又は在勤する者も加入することができる(会員数282名)

中央大学学員会 藤沢白門会組織図

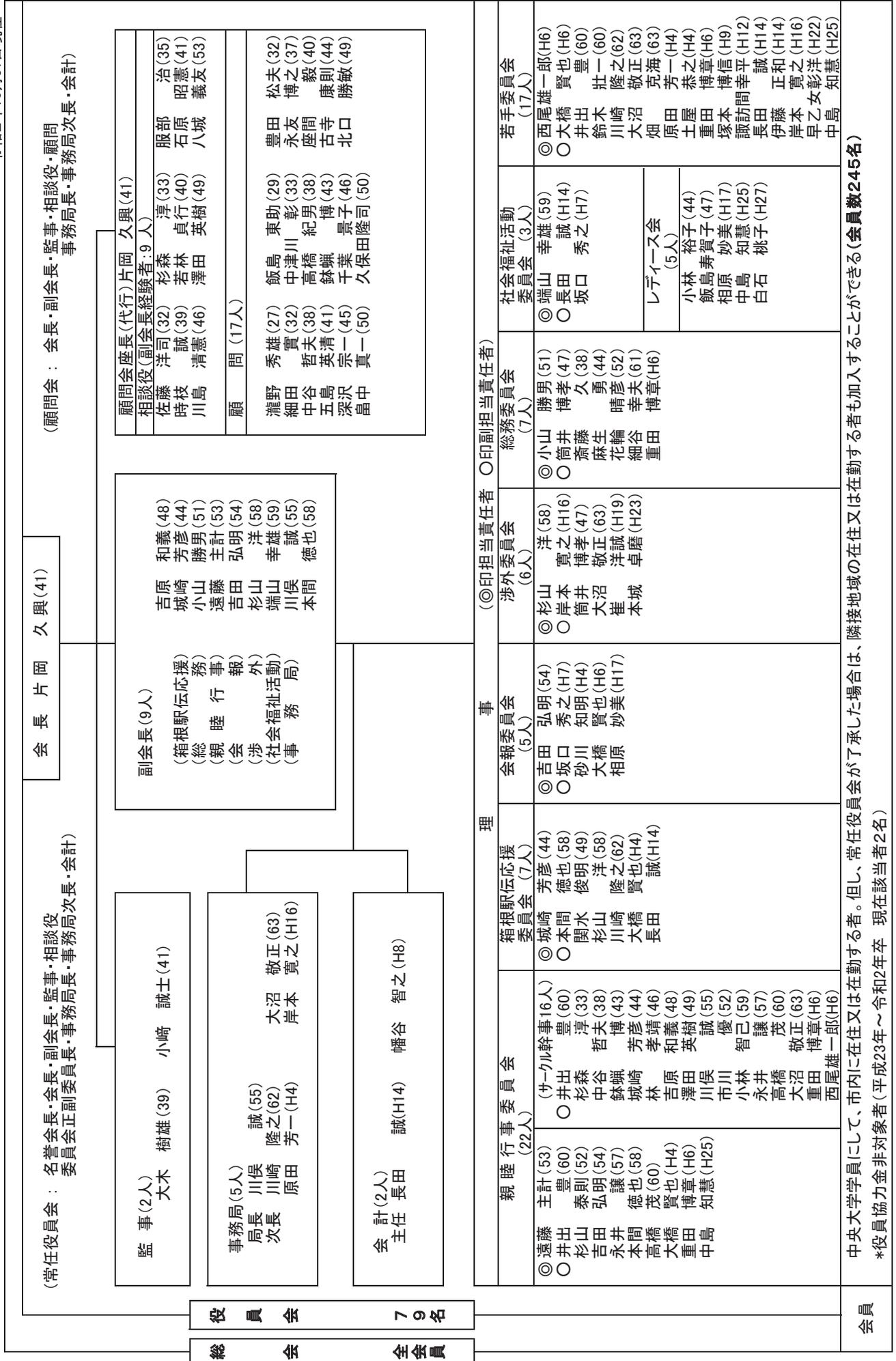
(任期：平成27年5月2日～平成28年開催の定期総会終結時まで)

平成27年8月15日現在



中央大学学員会藤沢白門会組織図

令和2年10月31日現在



〈会報誌面から見る歴代会長の挨拶〉

□『会報・第1号』 橋本 篤治 会長挨拶（平成8年9月） 〈抜粋〉

広がれ白門の輪

この会の特色は、①藤沢市規模の地域支部としては、トップクラスの会員数であること ②会の安定した運営を図るため多くの役員〈86名うち女性10名〉の賛同を得たこと ③しかも役員が卒業が昭和年代から平成年代まで各年代のバランスのとれた構成であること ④会の活動を活発かつ円滑に推進するため、各委員会を設けたこと一等が挙げられます。

会員の皆様とともに「藤沢白門会」をすばらしい会に育てて参る所存ですので、今後ともご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。そして、この会報が会員皆様の情報源となり、地域の白門の幅が広がり、親しさ、楽しさにつながることを祈念しております。

□『会報・第10号』 加藤 武 会長挨拶（平成18年3月） 〈抜粋〉

祝！創立10周年 更なる飛躍を

当会は、故橋本篤治、西島一光、佐藤洋司、番場定孝等の諸氏が中心となり、設立準備のご尽力により平成7年12月6日に藤沢産業センターで280名の会員により設立総会を開催し、スタートを切ったわけです。

そして、この10年間の活動のなかで、まず第1に会員同士が仲良くすること、第2に活発な活動をすること、第3に創立125周年を迎える母校の発展に寄与すること、第4に地域文化や福祉に寄与すること、第5に藤沢・湘南地域の他大学同窓会ならびに県下の学会と親睦を深めること等が確立してきました。このことは、わが藤沢白門会の5大特色として自負できることではないでしょうか。

10周年は、次への10周年へのスタートだと思っておりますので、さらなる飛躍を期して、従前に増して役員の方々のご尽力ならびに会員の皆様方のご協力をお願いしたいと考えております。

藤沢市社会福祉協議会から表彰される

平成12年以降、多年にわたり車椅子を寄贈したことにより、平成30年11月16日に藤沢市社会福祉協議会から表彰状をいただきました。令和2年度に2台寄贈し、車椅子の通算台数は35台となりました。これも偏に会員皆さまの厚いボランティア精神によるものであり、感謝申し上げるとともに、これを通過点として藤沢市の福祉向上に貢献できるよう更なるご協力をお願いいたします。



表彰状を手に晴れやかな笑顔
左：片岡会長 右：端山社会福祉担当副会長

|| 令和2年度の活動状況について ||

令和元年12月、中国の武漢で原因不明の肺炎患者が確認され、令和2年1月にWHOが調査した結果、新型コロナウイルスによる感染であることが判明しました。その後瞬く間に全世界に感染が拡大し、社会・経済に大きな打撃を与え、人類を脅かし続けている新型コロナウイルスについて、2020年というこの特異な時期の状況を後世に伝えるためにも、その主な出来事を時系列で掲載しておきます。

- 令和2年1月 ●中国武漢で発生した原因不明の肺炎について厚労省が注意喚起
- WHOが新型コロナウイルスであることを報告
 - 15日に国内初の感染者確認
- 2月 ●3日にクルーズ船「ダイヤモンドプリンセス号」横浜に入港
- 結果的に乗員・乗客合わせて3,600人のうち、712人が感染
- 3月 ●専門家会議「密閉・密集・密接」の3密避けるよう呼びかけ
- 東京オリ・パラ1年延期をIOCに要請し承諾
 - 29日、志村けんさんコロナ肺炎で死亡
- 4月 ●7日、1回目の緊急事態宣言を7都府県に発出
- 16日、宣言を全国に拡大
- 5月 ●4日、宣言を5月末日まで延長
- 14日、感染者数の減少により39県で宣言解除
 - 20日、夏の甲子園戦後初の中止決定
 - 21日、東京・千葉・埼玉・神奈川・北海道を除き宣言解除
 - 25日、全国の感染者数1桁となり全国で宣言解除
- 6月 ●2日、再び感染者数2桁となり東京アラート発出
- 28日、世界の感染者数1,000万人超える
 - 29日、世界の死者50万人超える
- 7月 ●全国の感染者数徐々に増加し、月末には1日1,500人超
- 22日、GoToトラベル開始観光需要喚起
 - 28日、国内死者1,000人超える
- 8月 ●10日、アメリカの感染者数500万人超える
- 11日、世界の感染者数2,000万人こえる
 - 20日、第2派の流行ピーク
- 9月 ●13日、英国内でアストロゼネカがワクチン臨床試験開始
- 10月 ●12日、仏・伊・西で1日1万人超の感染者
- 14日、フランスで夜間外出禁止などの非常事態宣言
- 11月 ●10日、政府分科会が冬に向けて感染拡大を緊急提言
- 10日、ファイザー社開発ワクチン9割以上の予防効果と発表
 - 18日、国内感染者数1日で初の2,000人を超える
 - 18日、日本医師会は感染拡大の要因にGoTo関与と発言

- 20日、ファイザー社が米国規制局にワクチン緊急使用申請
- 20日、政府分科会 GoTo 見直しなど政府に提言
- 24日、米国厚生長官 12月10日にもワクチン接種開始言及
- 12月 ● 2日、英国政府ファイザー社ワクチン承認し翌週に接種開始
- 7日、大阪府は看護師不足を補うため自衛隊に看護師派遣要請
- 8日、英国でファイザー社ワクチン接種始まる
- 11日、米国政府ファイザー社ワクチン緊急使用承認
- 感染拡大により医療供給体制逼迫し、深刻なステージ4に
- 14日、米国でファイザー社ワクチン接種開始
- 15日、全国でGoToトラベル一時停止
- 18日、ファイザー社ワクチン日本で承認申請、早ければ2月に承認
- 18日、WHO コロナ発生源調査で1月上旬中国訪問発表
- 20日、英国で感染力が強い変異ウイルスが感染拡大
- 26日、令和3年1月末まで全世界から新規外国人入国禁止
- 31日、東京1,337人、全国4,520人と過去最高の感染者数
- 令和3年1月 ● 2日、1都3県が緊急事態宣言発出を国に要請
- 7日、1月8日から2月7日まで緊急事態宣言再発出
- 14日、自宅療養中に死亡事例相次ぐ
- 19日、全国の重症者初の1,000人超える
- 23日、国内死者5,000人超える
- 27日、世界の感染者1億人を超える
- 2月 ● 1日、10都府県は3月7日まで宣言延長
- 14日、ファイザー社ワクチン承認

以上のニュースを見てもわかるとおり、毎日毎日、コロナのニュースが途絶えることはありませんでした。本会の活動も世の中のほぼすべての活動と同様、コロナ感染拡大防止のため、ほとんど中止にせざるを得ませんでした。その中でも最低限必要な以下の活動を行いました。

- 令和2年4月 ● 幹部会を書面により開催し、総会の開催方法、令和2年度の行事について意見聴取
- 6月 ● 28日、幹部会を開催し、総会議案を書面決議することを決定
- 7月 ● 10日、会員に向けて書面による総会議案を発送し賛否を問う
- 8月 ● すべての議案が賛成多数で可決
- 若手会主催地引網大会11月に延期
- 9月 ● 6日、常任役員会を書面により開催し、総会議案可決確認及び今後の行事計画について意見聴取
- 22日、幹部会を開催し、11月予定の地引網大会、創立25周年記念レセプション開催について両事業とも中止決定
- 10月 ● 14日、会報委員会を開催し、令和2年度の会報は内容不足のため発行を見合わせ、代わりに25周年記念誌を発行することに決定

- 11月 ● 19日、幹部会を開催し、記念誌の進行状況確認及び1月23日予定の新年会開催を検討
- 12月 ● 12日、箱根駅伝沿道観戦自粛要請、新年会の中止案内文、会費未納者督促状などの発送作業実施
 - 創立25周年記念誌初稿を入稿
- 令和3年1月 ● 15日、車椅子2台を藤沢市に寄贈し、藤沢市から実際に使用する藤沢市社会福祉協議会に移譲された



右：藤沢市社会福祉協議会 加藤会長

左：藤沢白門会 川俣事務局長

- 23日、幹部会を書面により開催し、箱根駅伝の総括、記念誌の編成進捗状況、令和3年度の行事計画について意見聴取

以上が令和2年度の活動状況となります。また、今後の主な行事予定は次のとおりとなっています。

令和3年4月 ● 25日、定期総会 会場 藤沢市民会館第1展示集会ホール

8月 ● 21日、若手会主催地引綱大会

令和4年1月 ● 23日、新春のつどい 会場 藤沢市民会館第2展示集会ホール

筆者 事務局長 川俣 誠

● ● 藤沢白門会前史の一齣

今日の藤沢白門会の旺盛な活動には、その前史ともいべき先輩の方々の昭和 20 年代半ばの結成・活動に向けた熱い思いと行動があったことを想起しておきたい。終戦の余韻をとどめていた頃、当時の中央大学在大学生を中心にした仲間の集いは、やがて藤沢白門会の結成へと動き出した。「箱根駅伝の応援を通じて親睦を図る」との目的は、脈々と受け継がれている。仲間をどう集めるか、大学事務局に聞いてもわからない状況で、たいへん苦勞した模様。当時の活動のメンバーで、いまなお「箱根駅伝の福ちゃん」と呼ばれて毎年、辻堂浜見山で元氣溢れる応援勇姿を見せる佐々木初男先輩（昭和 28 年卒、現箱根駅伝応援委員会）に、昭和 25 年の結成時の様子をうかがった。初代会長に堀内一郎先輩（28 年卒）、2 代目に齊藤富士夫先輩（29 年卒）が就いて、佐々木先輩はじめ小島順三先輩（平塚）や長谷川武夫先輩（26 年卒、現顧問）等ががんばった由。当時、相鉄白門会の会長であった片岡茂氏（昭和 11 年法卒、片岡久興会長の父上）のご尽力も藤沢白門会活動にとって大きな支援となった。活動としては、まず箱根駅伝の応援、またダンスパーティや野球大会も楽しい思い出。その後、白門会活動は時代環境の変動のなかで次第に停滞し、休眠状態となっていた。なんとか再生を、という思いは、昭和 51 年の夏の〔バレー祭り〕〈8 月 15 日、秩父宮記念体育館での中央大学バレー部 30 周年記念大会〉をきっかけに大きく実現の運びとなった。当時、佐々木先輩は、橋本篤治・中央大学バレー部監督からバレー祭りの後援を依頼され、有力者に伝え了承を得た。この話を堀内先輩から聞いた片岡大先輩はたいへん喜ばれ、バレー祭り当日は相鉄白門会員とともに観戦され、藤沢白門会員と懇談された。

このバレー祭りは、大学、実業団、高校、ママさんバレーが登場する一大イベントとなって成功を収めた。「最大の功労者は橋本君であり、それを支えられたのは、片岡茂大先輩であった。片岡大先輩は、「校是の『質実剛健』を後輩のわれわれに説示し激励された。風格のあるダンディな方でした。これを機に、藤沢白門会は甦ったと思う。橋本君がいなければ、今の白門会はない。」と佐々木先輩は述懐する。バレー祭りで花を開いた新生・藤沢白門会結成への気運は、やがて時を経て平成 7 年 12 月の設立総会開催へと推移し、見事な実を結ぶ。

改めて、藤沢白門会前史としての昭和 20 年代後半、また 50 年代の再生の契機となったバレー祭り開催での先輩諸氏のご苦勞とご貢献に思いを馳せ、敬意と感謝を表すところである。

（脚注・本稿は佐々木初男先輩の取材談話と佐藤洋司「藤沢白門会に賭けた篤さん」『会報・第 8 号』を参考にしてまとめたもの）



藤沢白門会讃歌（新曲）

中央大学学生会藤沢支部

作詞：服部 治

作曲：藤沢 健児

1 いま湘南に ひかり溢れて
前へ 集い会う
心豊かに 人生の季節を映し
意気を新たに 肩寄せて
讃えよう 中央 讃えよう 中央 中央
われら 藤沢白門会 ここに在り

2 この街に愛 響かせて広く
前へ 目を開き
心静かに ふるさとの山川思う
時は流れて 歳月を
讃えよう 中央 讃えよう 中央 中央
われら 藤沢白門会 ここに見る

3 あの松風も さわやかに吹く
前へ 友と手を
心昂めて 潮騒を遠くに聴けば
若き日近く 想い来る
讃えよう 中央 讃えよう 中央 中央
われら 藤沢白門会 ここに立つ

藤沢白門会讃歌

(いま湘南に)

作詞：服部 治

作曲：藤沢 健児

行進曲風に

(1) い ま

♩ - 80

しょう ー なん に ひか り あ ふ ー れ て ま え
 まち に あ い ひび か せ ひ ー ろ く ま え
 ま つ か ぜ も さ わ や か に ー ふ く ま え

へ つ ど い あ う こ ー こ ろ ゆ た か に
 へ め を ひ ら き こ ー こ ろ し ず か に
 へ と も と 手 を こ ー こ ろ た か め て

じん せい の き せ つ を う つ し い き を あ ら た に か た よ せ て た た
 ふ る さ と の や ま か わ お も う と き は な が れ て と し つ き を た た
 し お さ い を と お く に き け ば わ か き 日 ち か く お も い 来 る た た

え よ う 中 一 央 た た え よ う 中 一 央 中 央 わ れ
 え よ う 中 一 央 た た え よ う 中 一 央 中 央 わ れ
 え よ う 中 一 央 た た え よ う 中 一 央 中 央 わ れ

(1)・(2)
 ら ふ じ さ わ は く も ん かい こ 一 こ 一 に あ り (2) こ の
 ら ふ じ さ わ は く も ん かい こ 一 こ 一 に み る (3) あ の
 ら ふ じ さ わ は く も ん かい こ 一 こ 一 に 立

(3) *Fine*
 っ
rit

中央大学校歌

石川道雄 作詞
坂本良隆 作曲

一、草のみどりに風薫る

丘に目映き白門を

慕い集える若人が

真理の道にはげみつゝ

栄ある歴史を承け伝う

ああ中央 我等が中央

中央の名よ光あれ

二、よしや嵐は荒ぶとも

揺がぬ意気ぞいや昂く

春の驕奢の花ならで

みのりの秋やめざすらむ

学びの園こそ豊かなれ

ああ中央 我等が中央

中央の名よ誉あれ

三、いざ起て友よ時は今

新しき世のあさばらけ

胸に血潮の高鳴りや

湧く歌声も晴れやかに

自由の天地ぞ展けゆく

ああ中央 我等が中央

中央の名よ栄あれ

藤沢市の花



フジ

藤沢市の木



クロマツ

中央大学応援歌

中央大学学生会選定
古閑祐而 作曲

あ、中央の若き日に

一、憧れ高く空ひろく

理想の光あやなせる

あ、中央の若き日に

伝統誇る白門の

闘い挑むはた仰げ

力、力、中央、中央

二、情熱と力の若人が

精鋭こそりふるいたつ

あ、中央の若き日に

雄叫ぶ血汐 紅は

闘魂たぎる火と燃える

力、力、中央、中央

三、我等が誇り覇者の歌

さんたり栄光我が生命

あ、中央の若き日に

今ぞ座らん覇者の座に

いざ勝どきを揚げんかな

力、力、中央、中央

藤沢市の鳥



カワセミ

惜別の歌

作詞 島崎藤村
作曲 藤江英輔

一、遠き別れに耐えかけて

この高樓たかどのにのぼるかな

悲しむなかれわが友よ

旅の衣を整えよ

二、別れとといえば昔より

この人の世の常なるを

流るる水を眺むれば

夢はずかしき涙かな

三、君さやけき目の色も

君くれないの唇も

君がみどりの黒髪も

またいつか見んこの別れ

編集後記

令和2年は、人類の歴史上もっとも大変な年であったと記録されるでしょう。コロナウイルスという恐ろしい菌が、世界中のすべての人たちの生活を激変させてしまったのですから。去年の1月頃、そろそろコロナウイルスの流行の兆しがあると言われ出したとき、今のこんな酷い状況になるとは誰も予測していませんでした。暖かくなる頃には収束するだろうと楽観的な見方もありました。それが…。そして2020の東京オリンピックの1年延期も前代未聞のことでした。

そのため藤沢白門会の活動は、令和2年度はほとんど活動ができませんでした。定期総会も、地引き綱も、その他のイベントも。そしてもっとも大きく盛り上がったであろう25周年記念式典もなくなってしまいました。なにより会員のみなさまにお会いする機会が、限りなく少なくなったことが残念でなりません。

そんな中でも、みなさまのご協力もあり「25周年記念誌」を発行できたことはせめてもの喜びです。25周年記念メッセージは、多くの方に書いていただきました。白門会への思いがあり過ぎて、長文になるメッセージもございました。どのメッセージからも会員のみなさまの熱い思いが伝わってきます。本当にありがとうございました。

なお、編集作業に携わりました事務局並びに会報委員会のメンバーからのメッセージを最後にさせていただきましたことをご了承ください。

これから迎える令和3年度は、みんなが笑って酒を酌み交わすことのできる年になって欲しいと切実に思います。いろいろイベントで睦み合ってこそ白門会ではないですか。大変な時だからこそ、気持ちを前向きにもって行きたいものです。

本誌の発行にあたり、原稿を投稿して頂いた会員のみなさま方をはじめ、多大なご協力を頂きました多くの方々に対し、末筆ながらこの場を借りて、心より御礼申し上げます。

(ヨッシー)

編集進行	吉田弘明 (昭和54年卒・副会長 会報委員長)
表紙デザイン	小山勝男 (昭和51年卒・副会長)
表紙1写真	大木樹雄 (昭和39年卒・写真サークル同好会)
表紙4写真	池田謙次 (昭和31年卒・写真サークル同好会)
誌面構成	服部 治 (昭和35年卒・相談役)



中央大学

中央大学学員会藤沢白門会

●発行 中央大学学員会藤沢支部
藤沢白門会 会長 片岡久興
〒251-0032 藤沢市片瀬4-4-15
電話・FAX 0466-26-8402

●編集 会報委員会

●印刷 社会福祉法人光友会
神奈川ワークショップ
〒252-0825 藤沢市獺郷1008
電話 0466-48-1503
FAX 0466-48-1504